

東海豪雨災害第二次調査

1．調査対象

2000年9月に発生した東海豪雨災害の被災地域住民(4,000世帯)を対象とした。名古屋市西区(2,000世帯)新川町(1,000世帯)西枇杷島町(1,000世帯)において、郵送配布・訪問回収(未記入者・不在者郵送返送依頼)で行った。西区と新川町では、一部の地域のみで浸水が発生したため、浸水地域の世帯を住宅地図から無作為抽出した。また、西枇杷島町ではほぼ全域で浸水が発生したため、住民基本台帳から2段階無作為抽出した。

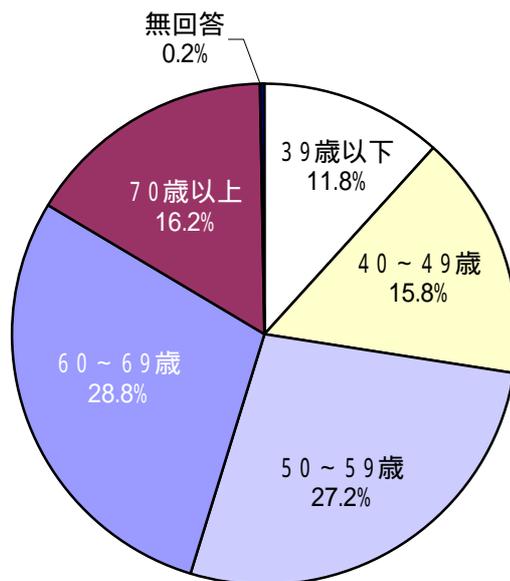
2．調査時期

東海豪雨水害から約17ヵ月後に行われた。アンケート調査票の発送は、2002年1月30日に実施し、回収は同年2月1日から同月19日に実施した。郵送返送回収の打ち切りは、同年2月28日だった。全4,000世帯中3,036票が回収された(回収率75.9%)。

問1 あなたの年齢、性別とお宅の世帯人数についてお答えください。

(1) 年齢

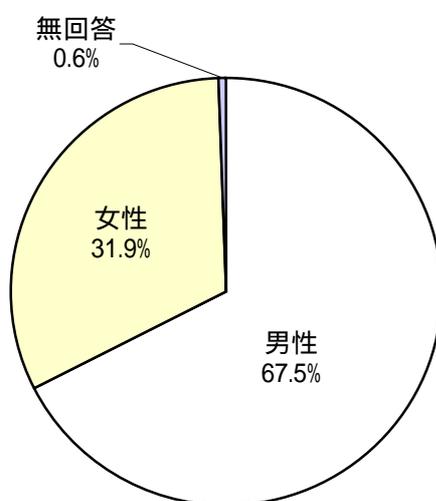
	度数	構成比(%)
39歳以下	357	11.8
40～49歳	479	15.8
50～59歳	827	27.2
60～69歳	875	28.8
70歳以上	493	16.2
無回答	5	0.2
合計	3,036	100



世帯主を対象としたため、50歳代以上が中心となっている。

(2) 性別

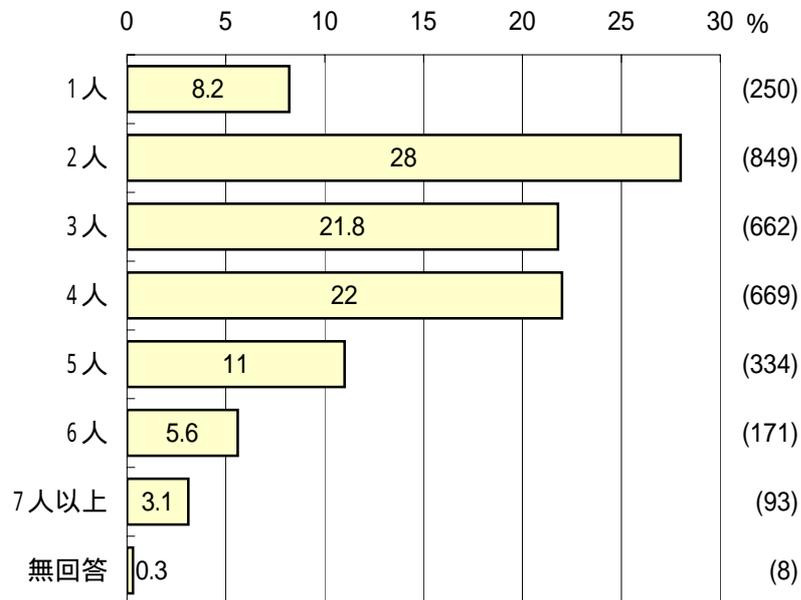
	度数	構成比(%)
男性	2,048	67.5
女性	970	31.9
無回答	18	0.6
合計	3,036	100



世帯主を対象としたことを反映してか、約68%が男性だった。

(3) 世帯人数

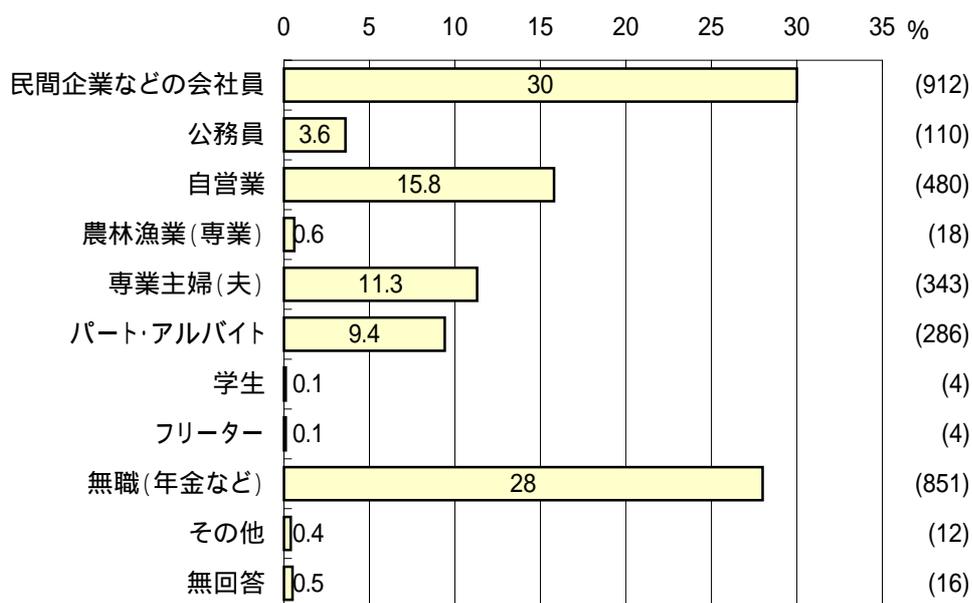
	度数	構成比(%)
1人	250	8.2
2人	849	28.0
3人	662	21.8
4人	669	22.0
5人	334	11.0
6人	171	5.6
7人以上	93	3.1
無回答	8	0.3
合計	3,036	100



2人が28%と割合として最も高く、ついで3人（約22%）と4人（22%）がほぼ同率だった。

問2 あなたのご職業についてお答えください。

	度数	構成比(%)
民間企業などの会社員	912	30.0
公務員	110	3.6
自営業	480	15.8
農林漁業(専業)	18	0.6
専業主婦(夫)	343	11.3
パート・アルバイト	286	9.4
学生	4	0.1
フリーター	4	0.1
無職(年金など)	851	28.0
その他	12	0.4
無回答	16	0.5
合計	3,036	100

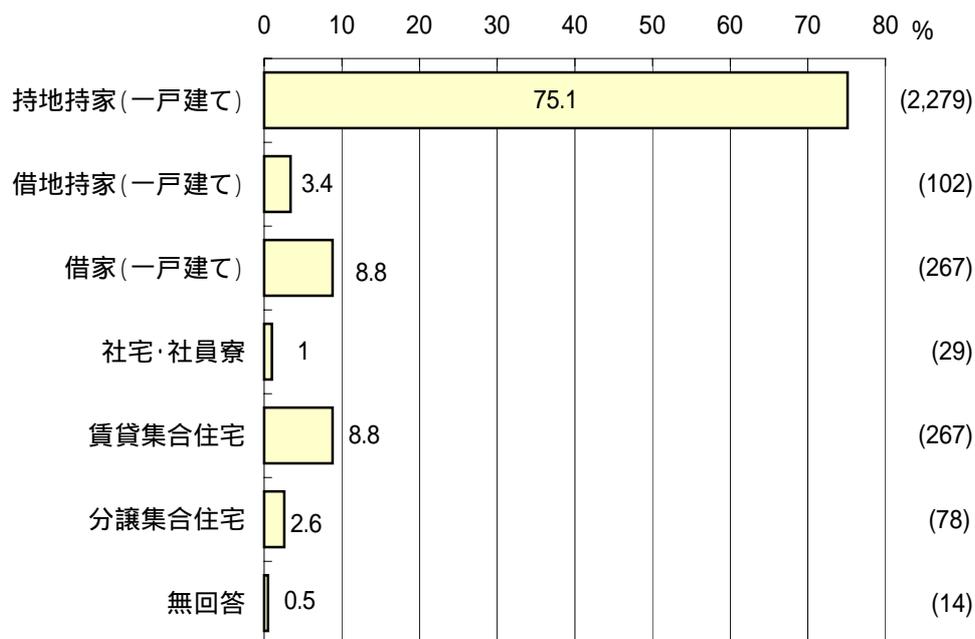


民間企業などの会社員（30%）、無職（年金等）（28%）、自営業（約16%）が中心となっていた。

問3 あなたの住まいについてお聞きます。

(1) あなたのお住まいは……。

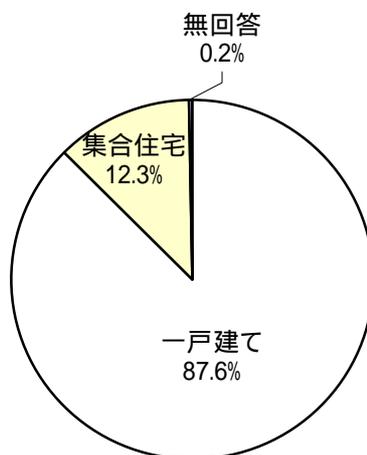
	度数	構成比(%)
持地持家(一戸建て)	2,279	75.1
借地持家(一戸建て)	102	3.4
借家(一戸建て)	267	8.8
社宅・社員寮	29	1.0
賃貸集合住宅	267	8.8
分譲集合住宅	78	2.6
無回答	14	0.5
合計	3,036	100



一戸建て(土地及び家屋を所有)が約75%で、最も高い割合を示していた。

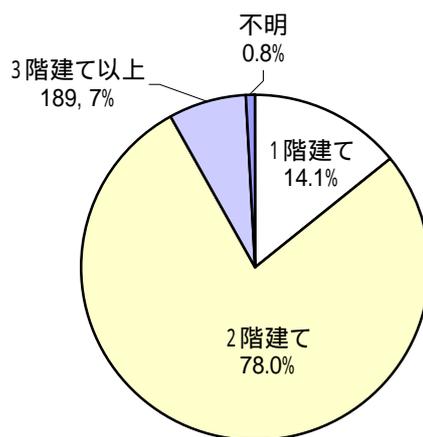
(2) あなたのお住まいの構造について。

	度数	構成比(%)
一戸建て	2,659	87.6
集合住宅	372	12.3
無回答	5	0.2
合計	3,036	100



一戸建ての場合

	度数	構成比(%)
1階建て	375	14.1
2階建て	2073	78.0
3階建て以上	189	7.1
無回答	22	0.8
合計	2,659	100

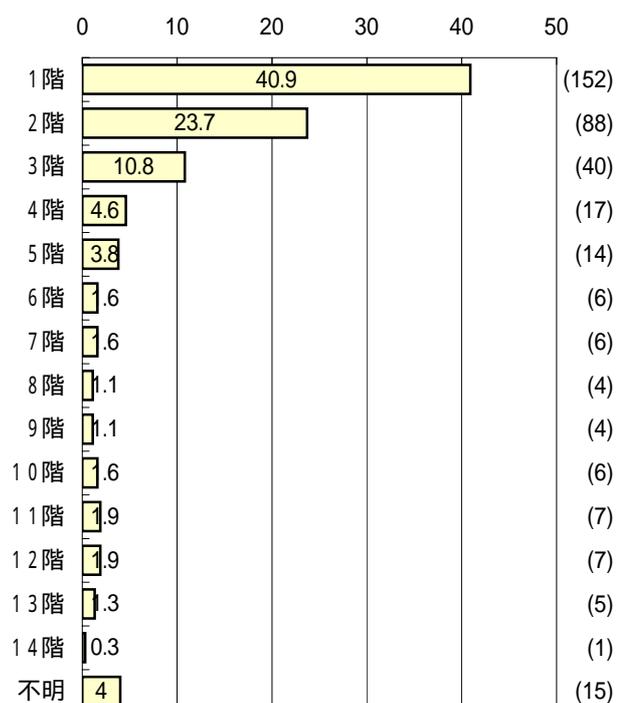
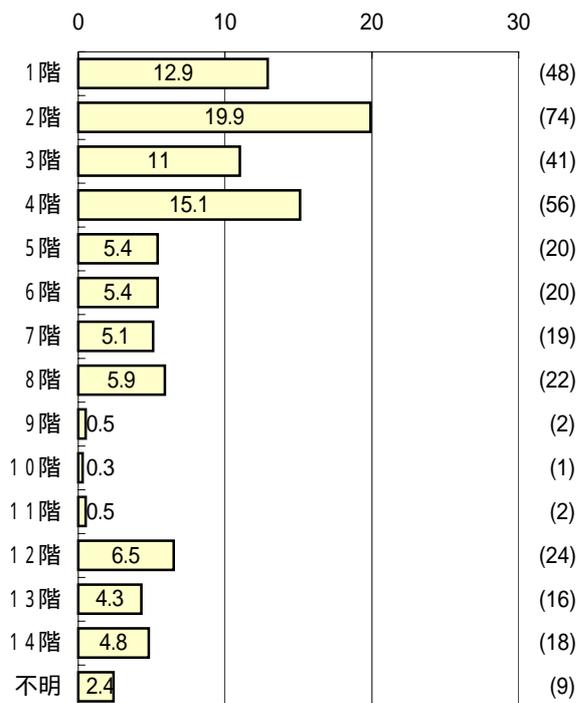


一戸建て住宅が約88%と大半を占めており、家屋構造は2階建てが78%と最も割合として高かった。

集合住宅の場合

【構造】	度数	構成比(%)
1階建て	48	12.9
2階建て	74	19.9
3階建て	41	11.0
4階建て	56	15.1
5階建て	20	5.4
6階建て	20	5.4
7階建て	19	5.1
8階建て	22	5.9
9階建て	2	0.5
10階建て	1	0.3
11階建て	2	0.5
12階建て	24	6.5
13階建て	16	4.3
14階建て	18	4.8
無回答	9	2.4
合計	372	100

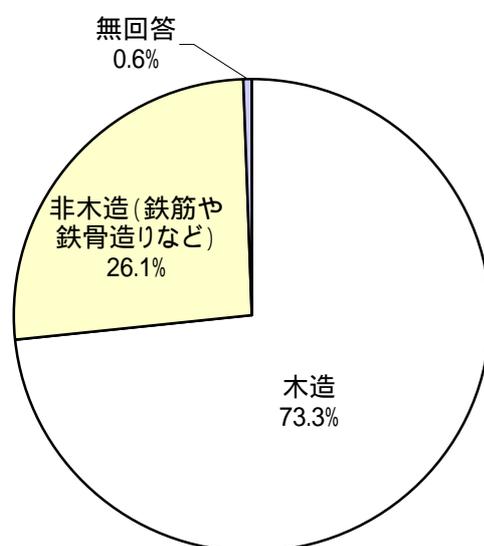
【居住階数】	度数	構成比(%)
1階	152	40.9
2階	88	23.7
3階	40	10.8
4階	17	4.6
5階	14	3.8
6階	6	1.6
7階	6	1.6
8階	4	1.1
9階	4	1.1
10階	6	1.6
11階	7	1.9
12階	7	1.9
13階	5	1.3
14階	1	0.3
無回答	15	4.0
合計	372	100



2階建てが約20%で割合として最も高く、ついで4階建て（約15%）、1階建て（約13%）の順に割合として高いことが分かった。

(3) あなたのお住まいの構造は…。

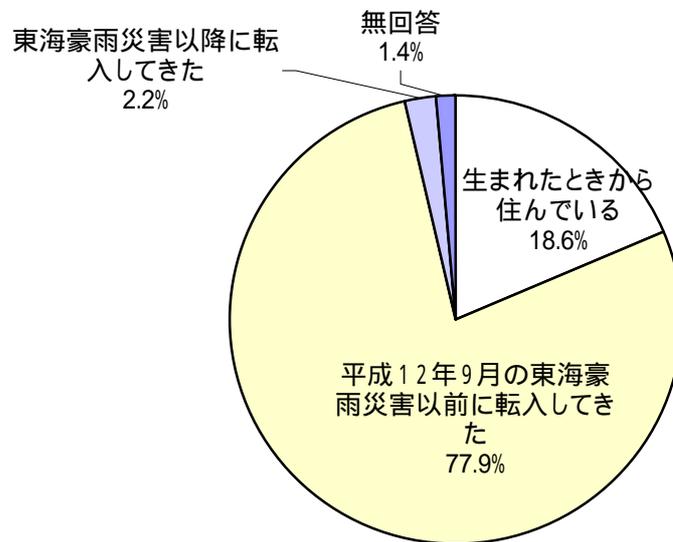
	度数	構成比(%)
木造	2,227	73.4
非木造(鉄筋や鉄骨造りなど)	791	26.1
無回答	18	0.6
合計	3,036	100



木造が約73%、非木造は約26%だった。

(4) あなたは現在の場所に…。

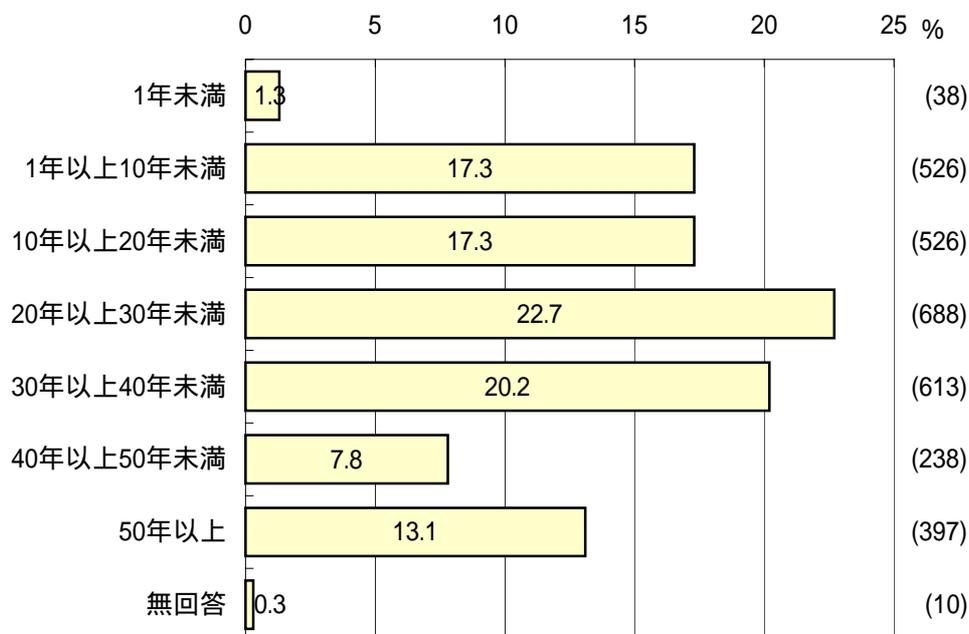
	度数	構成比(%)
生まれたときから住んでいる	564	18.6
平成12年9月の東海豪雨災害以前に転入してきた	2,365	77.9
東海豪雨災害以降に転入してきた	66	2.2
無回答	41	1.4
合計	3,036	100



「平成12年9月の東海豪雨災害以前に転入してきた」が約78%、「生まれた時から住んでいる」が約19%と、東海豪雨災害前から住んでいる回答者が95%以上を占めていた。

(5) あなたは現在の場所に…。

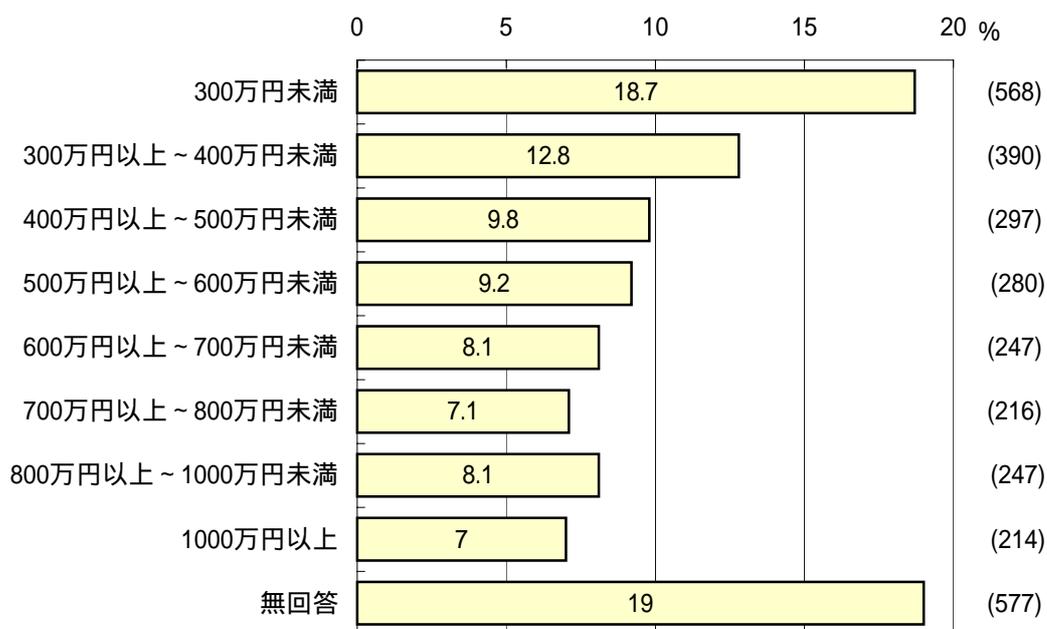
	度数	構成比(%)
1年未満	38	1.3
1年以上10年未満	526	17.3
10年以上20年未満	526	17.3
20年以上30年未満	688	22.7
30年以上40年未満	613	20.2
40年以上50年未満	238	7.8
50年以上	397	13.1
無回答	10	0.3
合計	3,036	100



「20年以上30年未満」が約23%、「30年以上40年未満」が約20%、「1年以上10年未満」と「10年以上20年未満」が約17%だった。

問4 おさしつかえなければ、昨年一年間のおよその世帯収入についてお答えください。

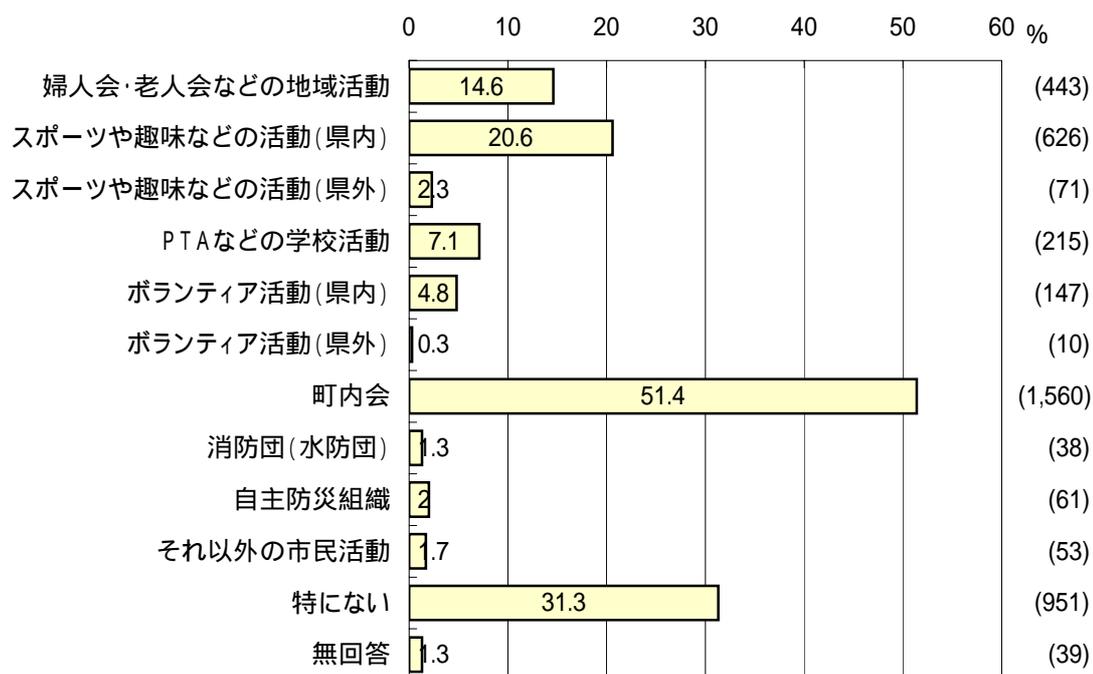
	度数	構成比(%)
300万円未満	568	18.7
300万円以上～400万円未満	390	12.8
400万円以上～500万円未満	297	9.8
500万円以上～600万円未満	280	9.2
600万円以上～700万円未満	247	8.1
700万円以上～800万円未満	216	7.1
800万円以上～1000万円未満	247	8.1
1000万円以上	214	7.0
無回答	577	19.0
合計	3,036	100



「300万円未満」が約19%、「300万円以上～400万円未満」が約13%、「400万円以上～500万円未満」が約10%だった。

問5 あなたは、ご近所やご友人の方々とどのような交流をしていますか。
以下の1～11で、あてはまる番号すべてに をつけてください。

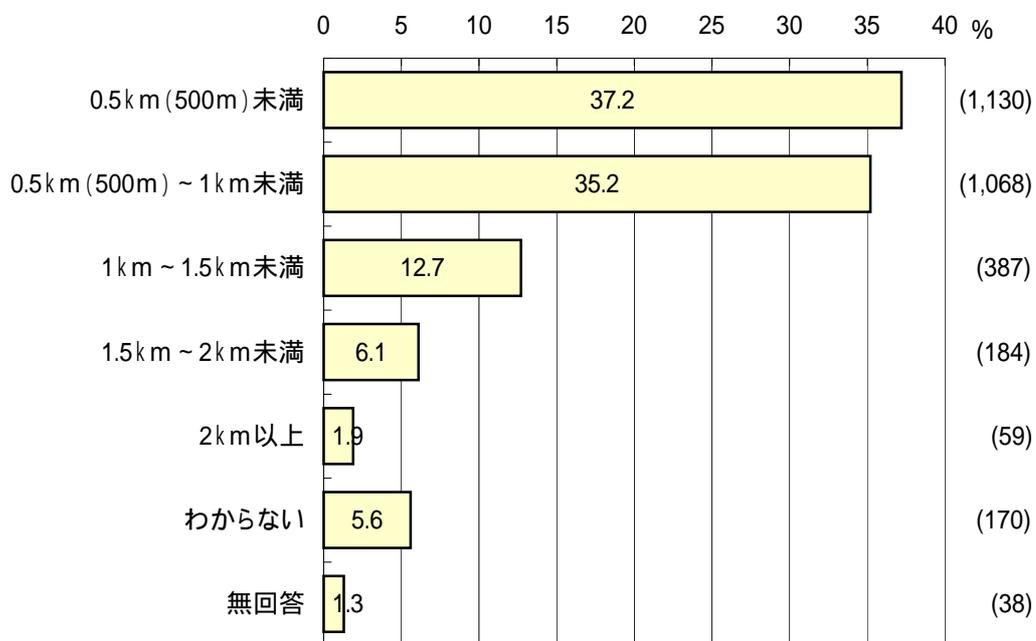
	度数	構成比(%)
婦人会・老人会などの地域活動	443	14.6
スポーツや趣味などの活動(県内)	626	20.6
スポーツや趣味などの活動(県外)	71	2.3
PTAなどの学校活動	215	7.1
ボランティア活動(県内)	147	4.8
ボランティア活動(県外)	10	0.3
町内会	1,560	51.4
消防団(水防団)	38	1.3
自主防災組織	61	2.0
それ以外の市民活動	53	1.7
特にない	951	31.3
無回答	39	1.3



町内会が約51%と割合として最も高かった。その他、スポーツや趣味などの活動(県内)(約21%)、婦人会・老人会などの地域活動(約15%)といった交流活動への参加が認められた。

問6 災害時の指定された避難所までの距離は、どのくらいですか。

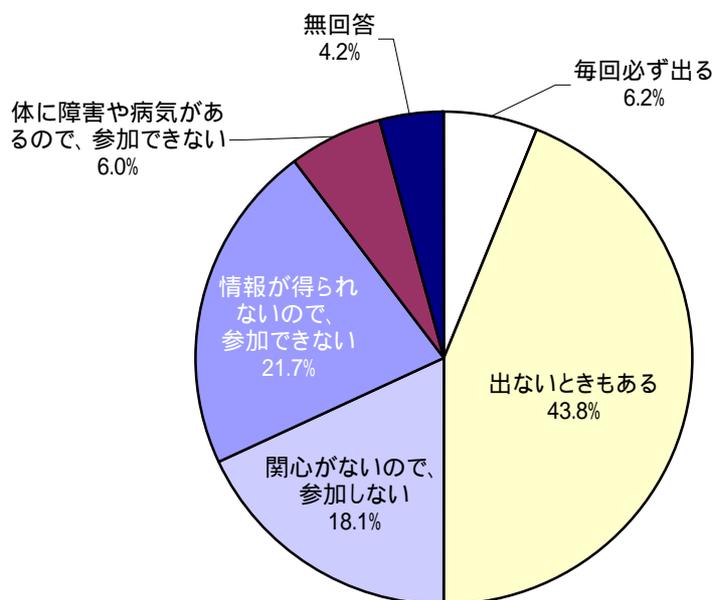
	度数	構成比(%)
0.5km(500m)未満	1,130	37.2
0.5km(500m)～1km未満	1,068	35.2
1km～1.5km未満	387	12.7
1.5km～2km未満	184	6.1
2km以上	59	1.9
わからない	170	5.6
無回答	38	1.3
合計	3,036	100



「500m未満」が約37%と最も割合として高かった。その他、「500m～1km未満」が約35%、「1km～1.5km未満」が約13%だった。

問7 防災講習会や避難訓練に、どの程度参加していますか。

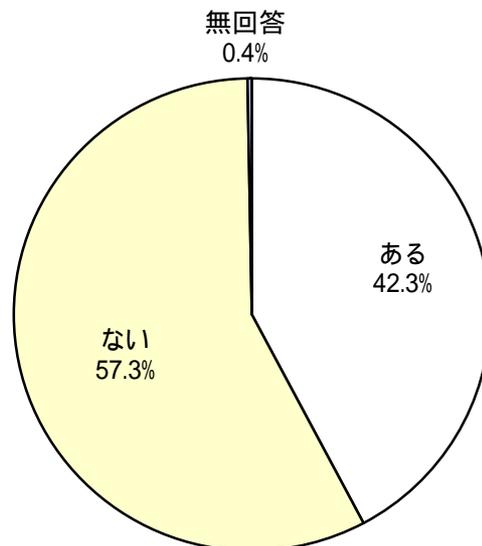
	度数	構成比(%)
毎回必ず出る	188	6.2
出ないときもある	1,330	43.8
関心がないので、参加しない	550	18.1
情報が得られないので、参加できない	658	21.7
体に障害や病気があるので、参加できない	183	6.0
無回答	127	4.2
合計	3,036	100



「防災講習会及び避難訓練に出ないときもある」が、約44%で最も高い割合を示していた。その他、「情報が得られないので参加できない」が約22%、「関心がないので参加しない」が約18%の順に割合として高かった。

問8 あなたは、平成12年9月の東海豪雨災害以前に水害の経験がありますか。

	度数	構成比(%)
ある	1,283	42.3
ない	1,742	57.4
無回答	11	0.4
合計	3,036	100

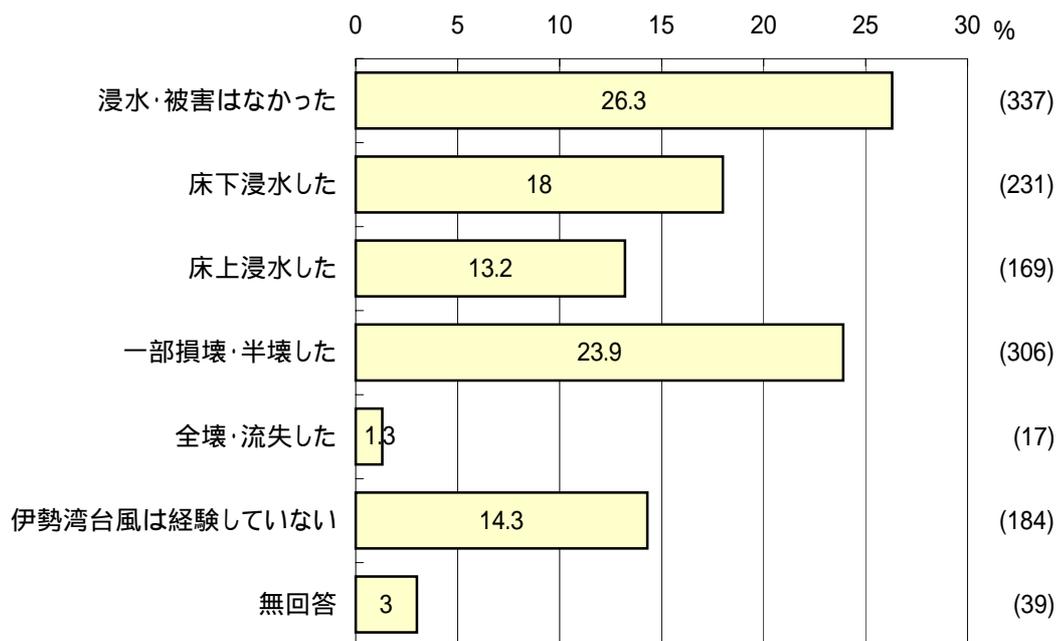


東海豪雨災害以前に水害の被災経験がある人は約42%で、それ以前に水害の被災経験を有さない人が約57%と半数以上を占めていた。

問8 - 1 東海豪雨災害以前に水害の経験がある方にお聞きます。

(1) あなたは、昭和34年(1959年)の伊勢湾台風で、水害による被害を経験しましたか。

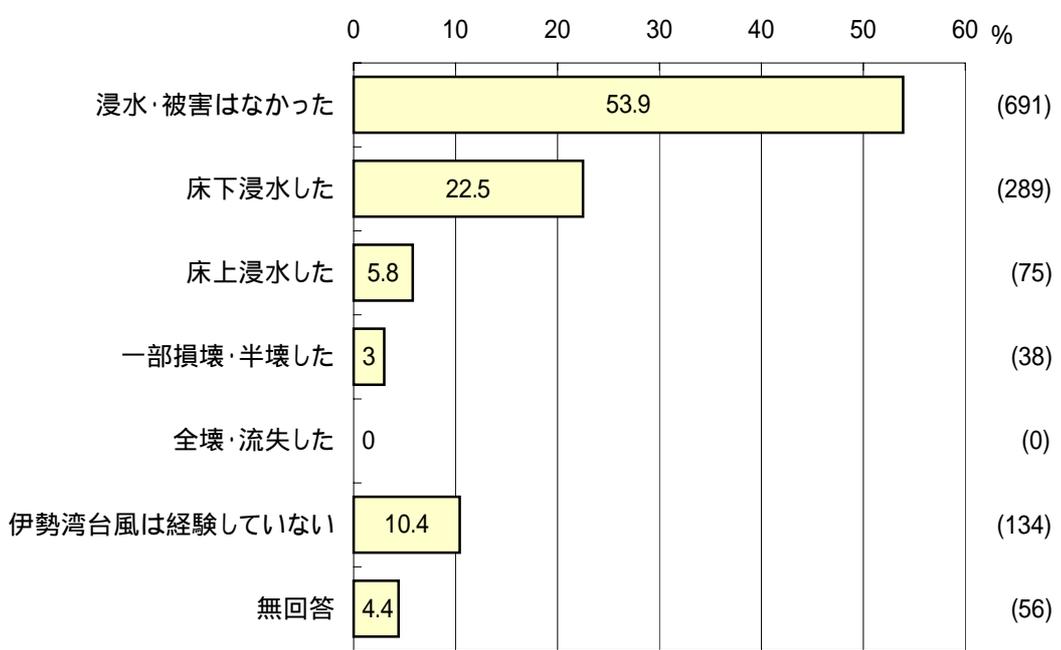
	度数	構成比(%)
浸水・被害はなかった	337	26.3
床下浸水した	231	18.0
床上浸水した	169	13.2
一部損壊・半壊した	306	23.9
全壊・流失した	17	1.3
伊勢湾台風は経験していない	184	14.3
無回答	39	3.0
合計	1,283	100



「浸水・被害はなかった」が約26%、「一部損壊・半壊」が約24%、「床下浸水」が18%だった。「伊勢湾台風は経験していない」は、約14%だった。

(2) あなたは、昭和51年(1976年)の台風17号で、水害による被害を経験しましたか。

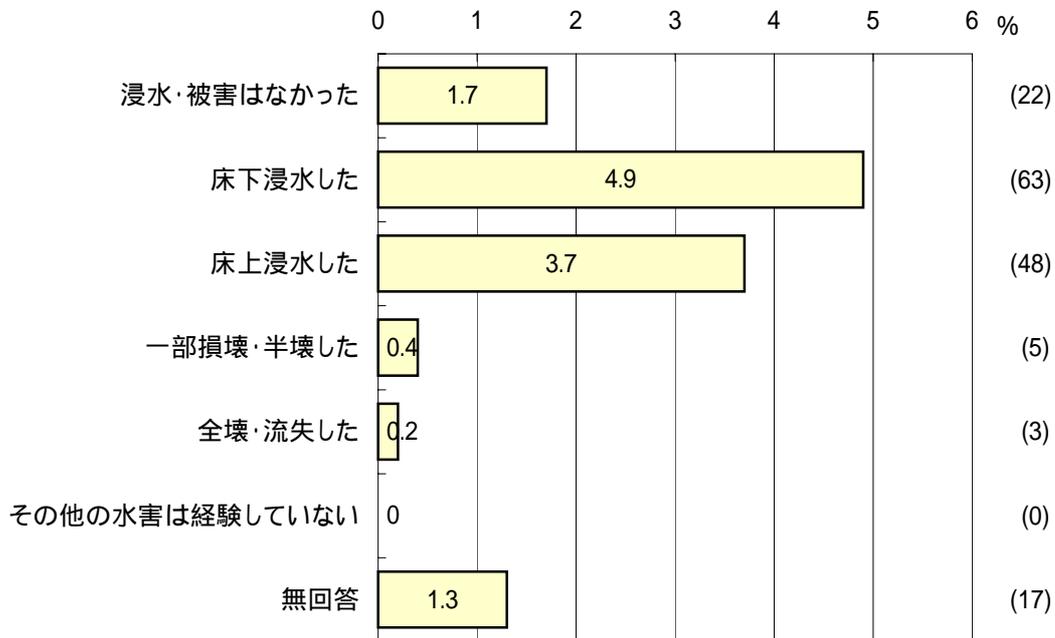
	度数	構成比(%)
浸水・被害はなかった	691	53.9
床下浸水した	289	22.5
床上浸水した	75	5.8
一部損壊・半壊した	38	3.0
全壊・流失した	0	0.0
台風17号は経験していない	134	10.4
無回答	56	4.4
合計	1,283	100



「浸水・被害はなかった」が約54%と最も高い割合を示していた。「床上浸水した」が約6%、「床下浸水した」は約23%だった。

(3) あなたは、上記の災害のほかに、水害の経験がありますか。
もっとも大きかったものの被害状況についてお答えください。

	度数	構成比(%)
浸水・被害はなかった	22	1.7
床下浸水した	63	4.9
床上浸水した	48	3.7
一部損壊・半壊した	5	0.4
全壊・流失した	3	0.2
その他の水害は経験していない	0	0.0
無回答	1,142	89.0
合計	1,283	100

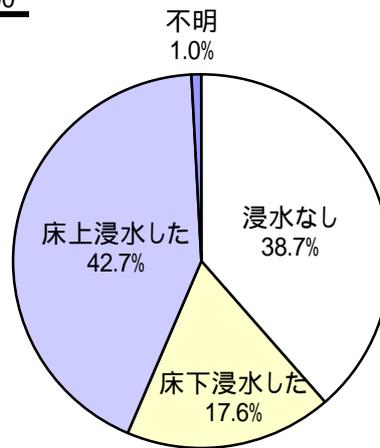


その他水害による被害では、「床下浸水した」が約5%、「床上浸水した」が約4%、「浸水・被害なし」が約2%だった。

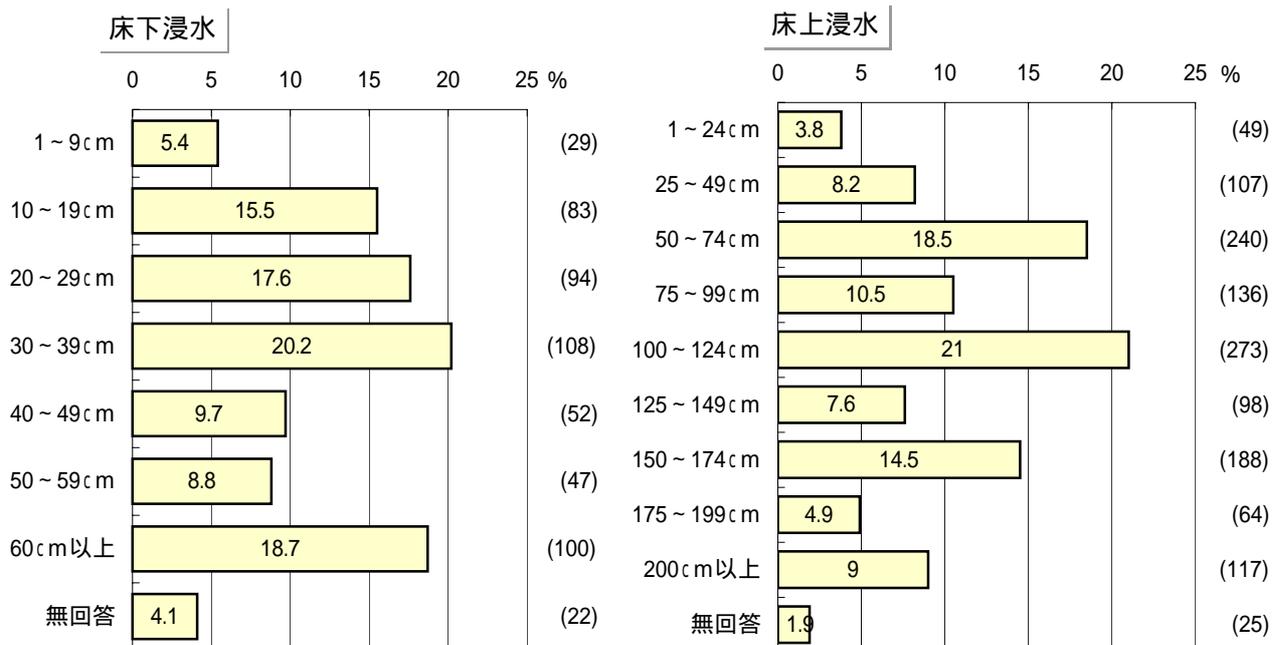
問8 - 2 では、平成12年9月の東海豪雨災害での被害状況についてお聞きします。

(1) 自宅家屋の浸水状況についてお答えください。

	度数	構成比(%)
浸水なし	1175	38.7
床下浸水した	535	17.6
床上浸水した	1297	42.7
無回答	29	1.0
合計	3036	100



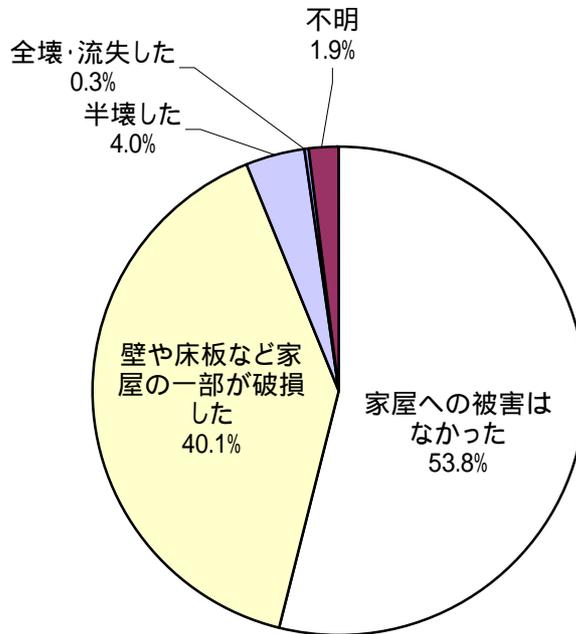
玄関前の地面からの高さ



「床上浸水した」が約43%、「床下浸水した」が約18%、「浸水・被害なし」が約39%だった。床下浸水は、30cm~39cm(約20%)、60cm以上(約19%)、床上浸水は100cm~124cm(21%)、50cm~74cm(約19%)の割合がそれぞれ高かった。

(2) 家屋の被害状況についてお答えください

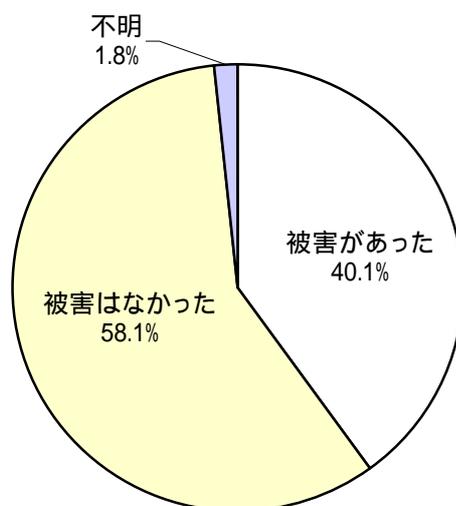
	度数	構成比(%)
家屋への被害はなかった	1,632	53.8
壁や床板など家屋の一部が破損した	1,216	40.1
半壊した	120	4.0
全壊・流失した	10	0.3
不明	58	1.9
合計	3,036	100



「家屋への被害はなかった」が約54%と、およそ5割強の回答者が被害を受けていなかったことが分かった。被害を受けた回答者のうち、「壁や床板など家屋の一部が破損した」が約40%と最も高い割合であり、「半壊した」が4%、「全壊・流出した」は0.3%だった。

(3) あなたの世帯ではテレビや冷蔵庫などの家財に被害がありましたか。

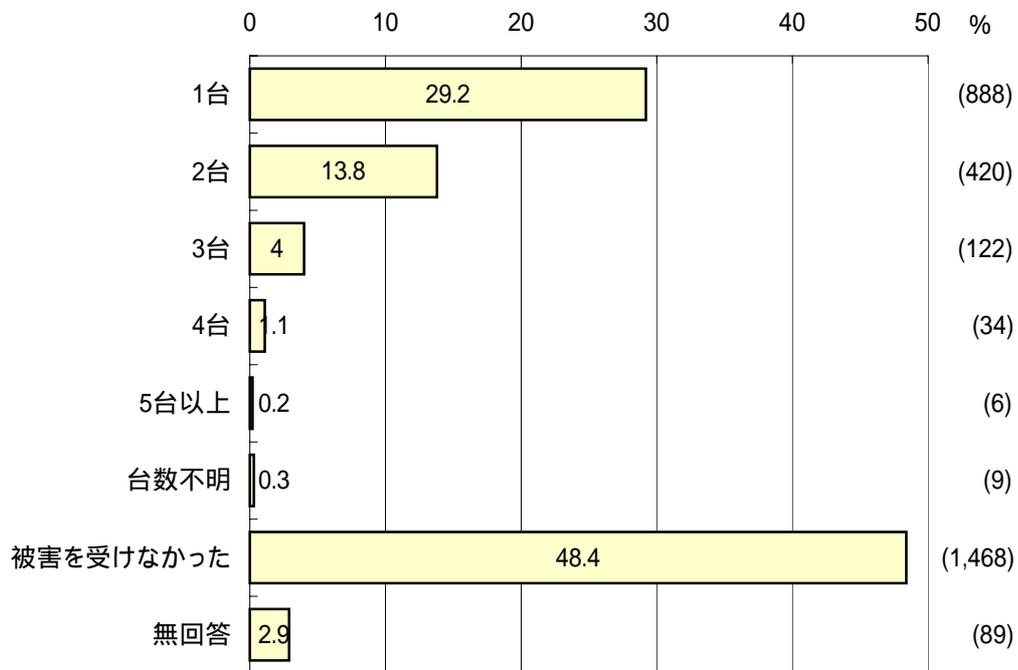
	度数	構成比(%)
被害があった	1,217	40.1
被害はなかった	1,765	58.1
無回答	54	1.8
合計	3,036	100



「被害はなかった」が約58%で、「被害があった」が約40%だった。

(4) あなたの世帯の自動車には被害がありましたか。

	度数	構成比(%)
1台	888	29.2
2台	420	13.8
3台	122	4.0
4台	34	1.1
5台以上	6	0.2
台数不明	9	0.3
被害を受けなかった	1,468	48.4
無回答	89	2.9
合計	3,036	100

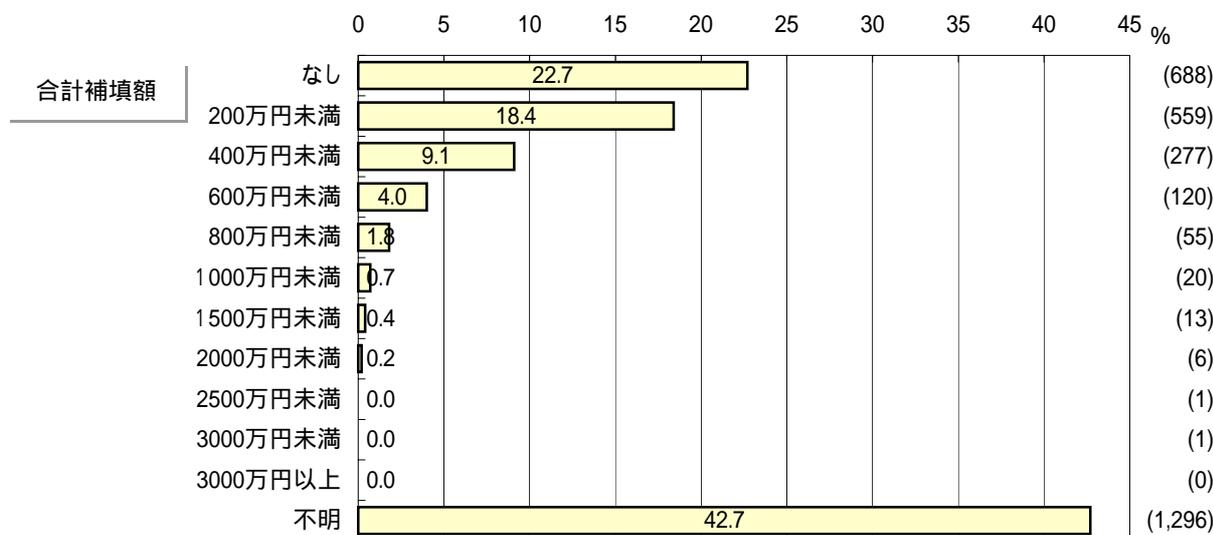
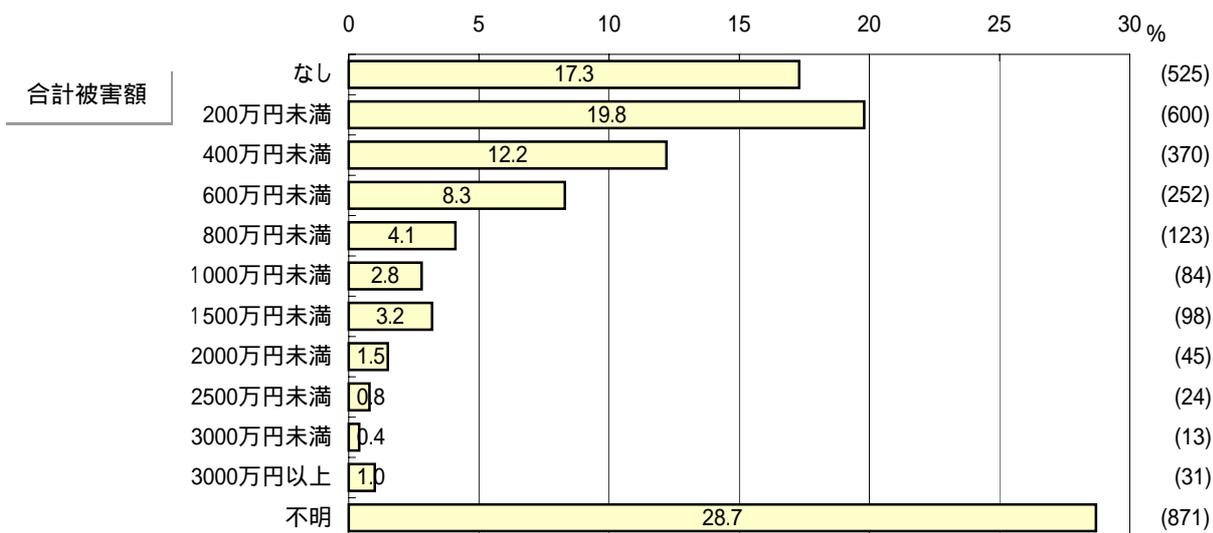


「被害を受けなかった」が約48%、「1台」が約29%、「2台」が約14%だった。

(5) あなたの水害被害額と、それに対する保険の支払額(補填額)をお答えください。
被害額:被害物を補修、買い換えなどのために支払った金額(ローンなどの予定も含む)

総額

総額	被害額		補填額	
	度数	構成比(%)	度数	構成比(%)
なし	525	17.3	688	22.7
200万円未満	600	19.8	559	18.4
400万円未満	370	12.2	277	9.1
600万円未満	252	8.3	120	4.0
800万円未満	123	4.1	55	1.8
1000万円未満	84	2.8	20	0.7
1500万円未満	98	3.2	13	0.4
2000万円未満	45	1.5	6	0.2
2500万円未満	24	0.8	1	0.0
3000万円未満	13	0.4	1	0.0
3000万円以上	31	1.0	0	0.0
無回答	871	28.7	1,296	42.7
合計	3,036	100	3,036	100

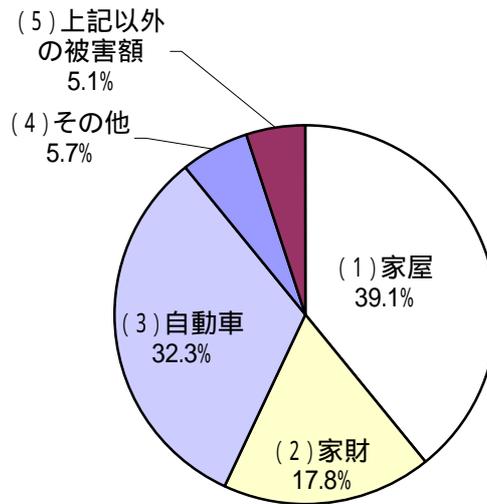


合計被害額は、「200万円未満」が約20%、「なし」が約17%、「200万円以上400万円未満」が約12%だった。合計補てん額は、「なし」が約23%、「200万円未満」が約18%だった。

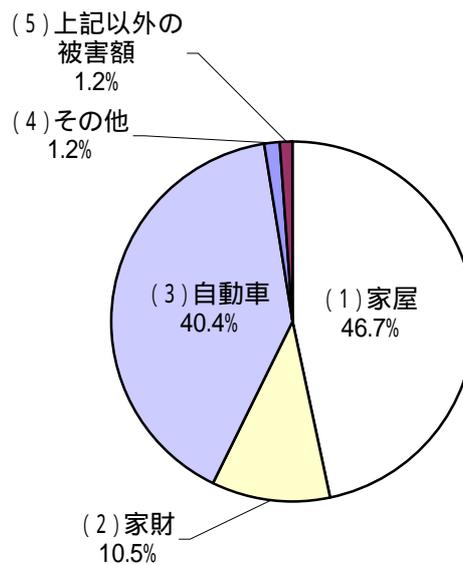
割合

	被害額(万円)		補填額	
	被害総額	構成比(%)	補填総額	構成比(%)
(1)家屋	327,416	39.1	123,600	46.7
(2)家財	148,507	17.8	27,924	10.5
(3)自動車	270,319	32.3	106,887	40.4
(4)その他	47,695	5.7	3,235	1.3
(5)上記以外の被害額	42,461	5.1	3,067	1.2
総数	836,398	100	264,713	100

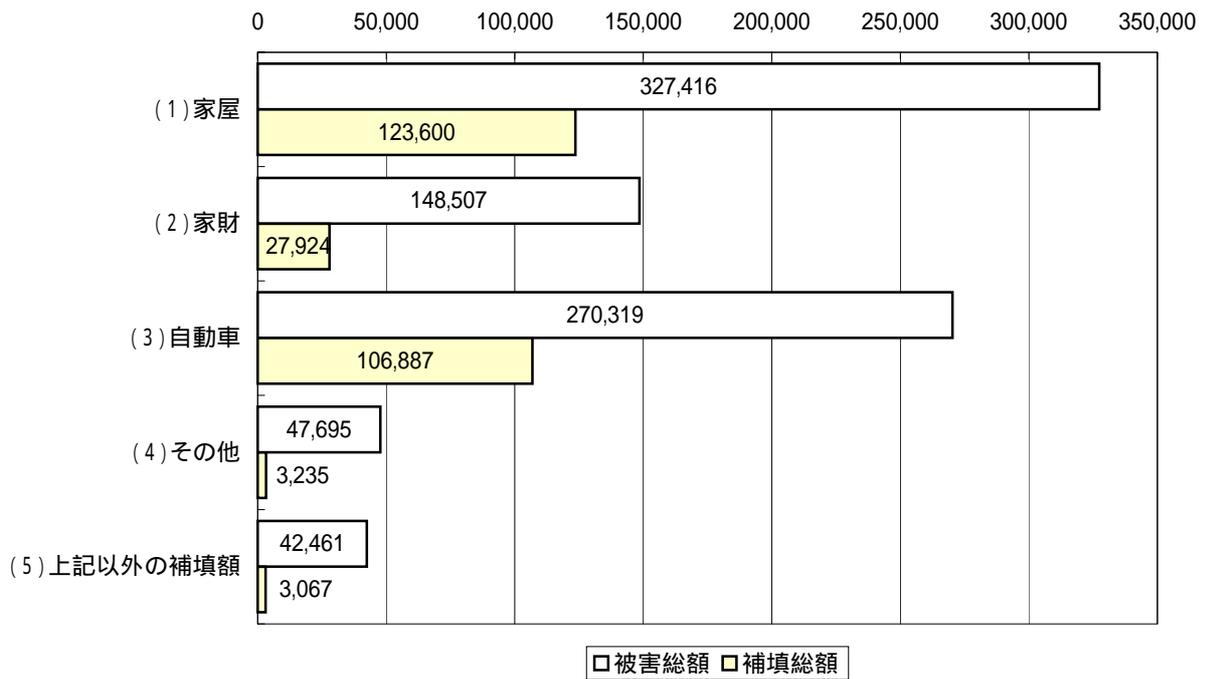
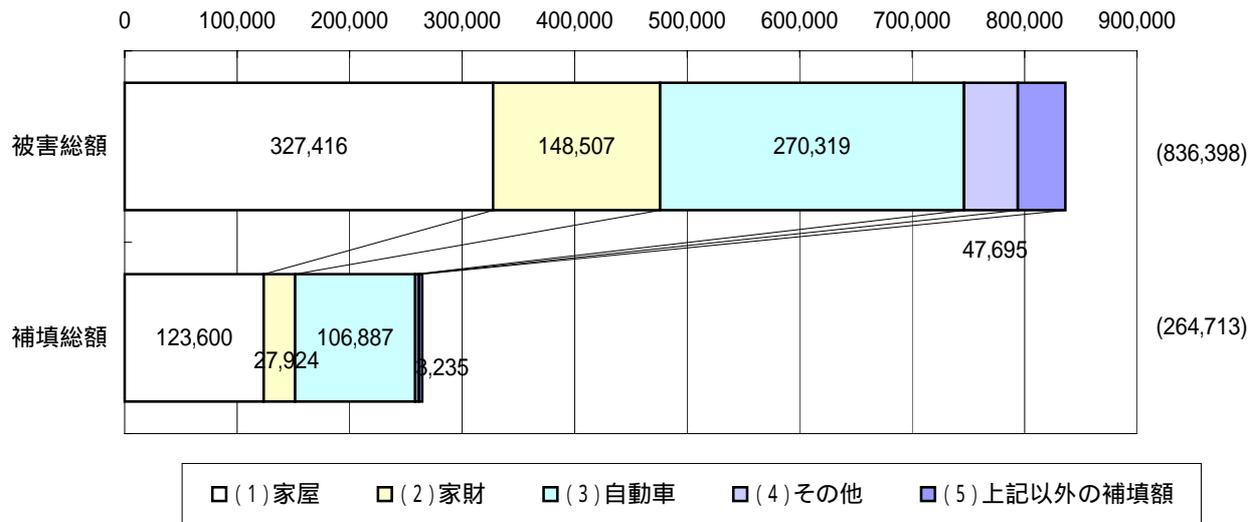
被害割合



補填割合



被害割合では、家屋が約39%、自動車が約32%、家財が約18%だった。補てん割合は、家屋が約47%、自動車が約40%、家財が約11%だった。

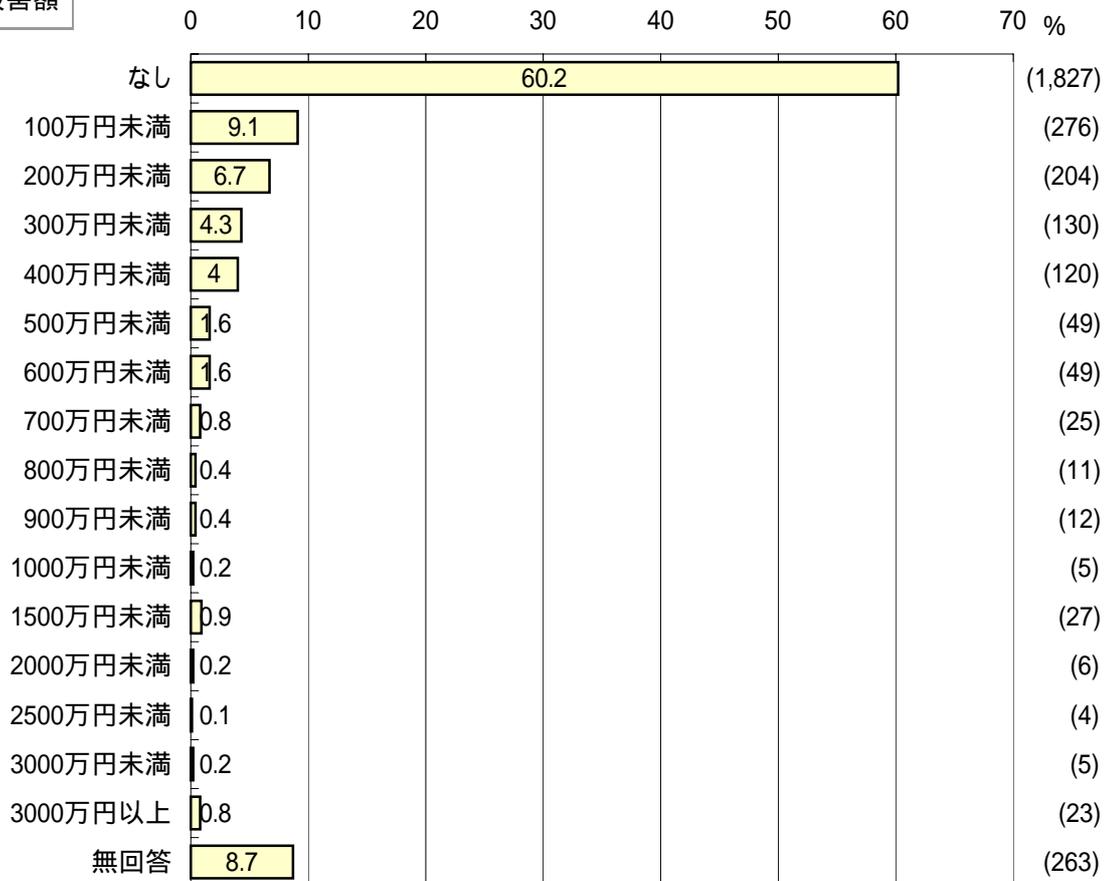


被害総額の割合と補てん総額の割合は、ほぼ比例することが確認された。

家屋

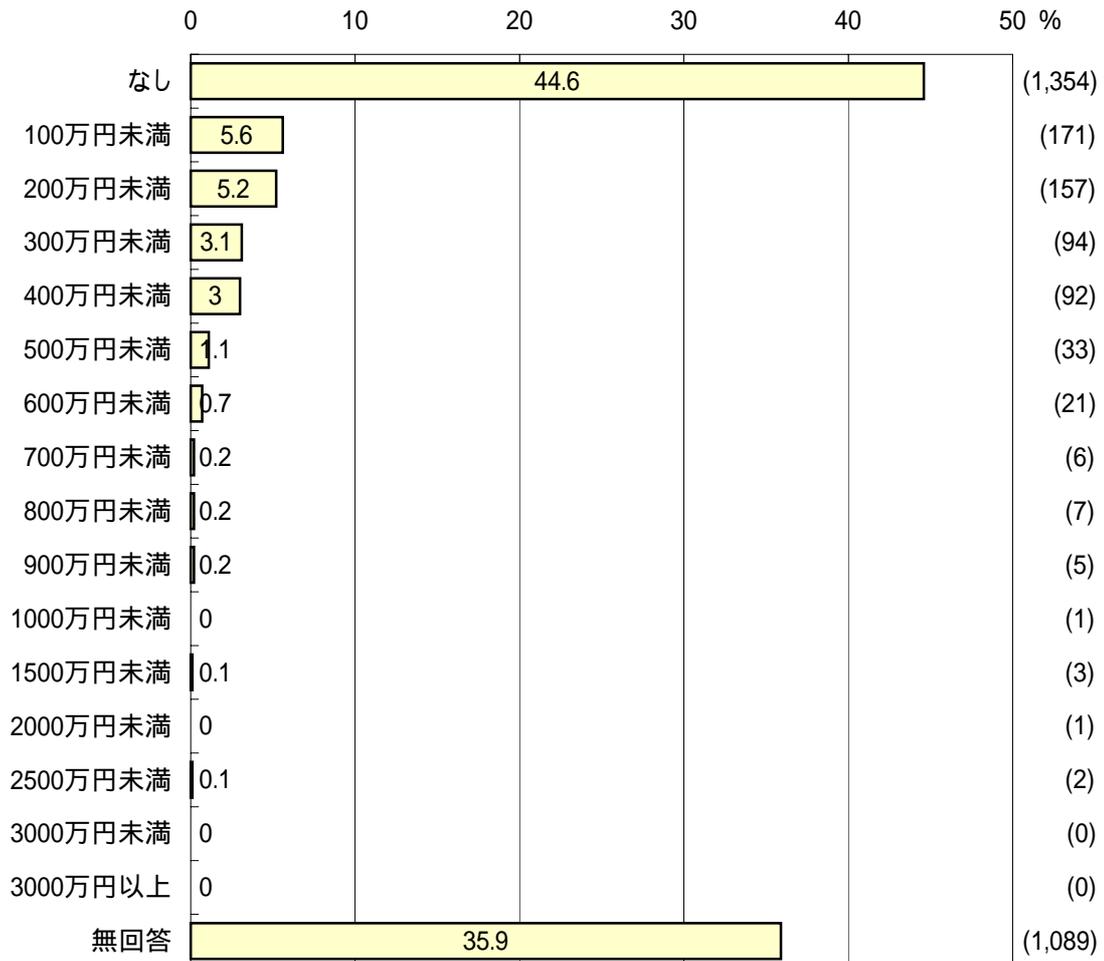
総額	被害額		補填額	
	度数	構成比(%)	度数	構成比(%)
なし	1,827	60.2	1,354	44.6
100万円未満	276	9.1	171	5.6
200万円未満	204	6.7	157	5.2
300万円未満	130	4.3	94	3.1
400万円未満	120	4.0	92	3.0
500万円未満	49	1.6	33	1.1
600万円未満	49	1.6	21	0.7
700万円未満	25	0.8	6	0.2
800万円未満	11	0.4	7	0.2
900万円未満	12	0.4	5	0.2
1000万円未満	5	0.2	1	0.0
1500万円未満	27	0.9	3	0.1
2000万円未満	6	0.2	1	0.0
2500万円未満	4	0.1	2	0.1
3000万円未満	5	0.2	0	0.0
3000万円以上	23	0.8	0	0.0
無回答	263	8.7	1,089	35.9
合計	3,036	100	3,036	100

家屋 被害額



「なし」が約60%で最も高い割合を示していた。被害を受けた回答者の被害額の内訳は、「100万円未満」が約9%、「100万円以上200万円未満」が約7%だった。

家屋 補填額

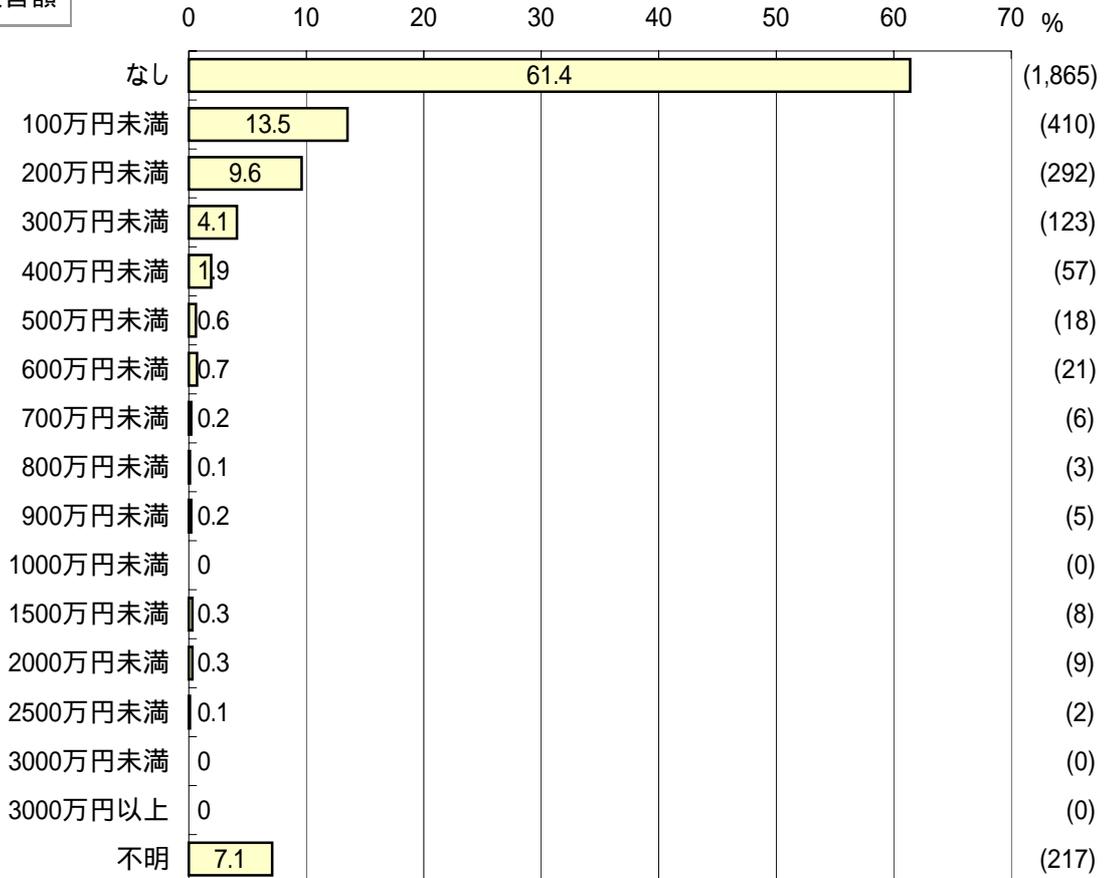


「なし」が約45%で最も高い割合を示していた。被害を受けた回答者の補てん額の内訳は、「100万円未満」が約6%、「100万円以上200万円未満」が約5%、「200万円以上300万円未満」が約3%だった。

家財

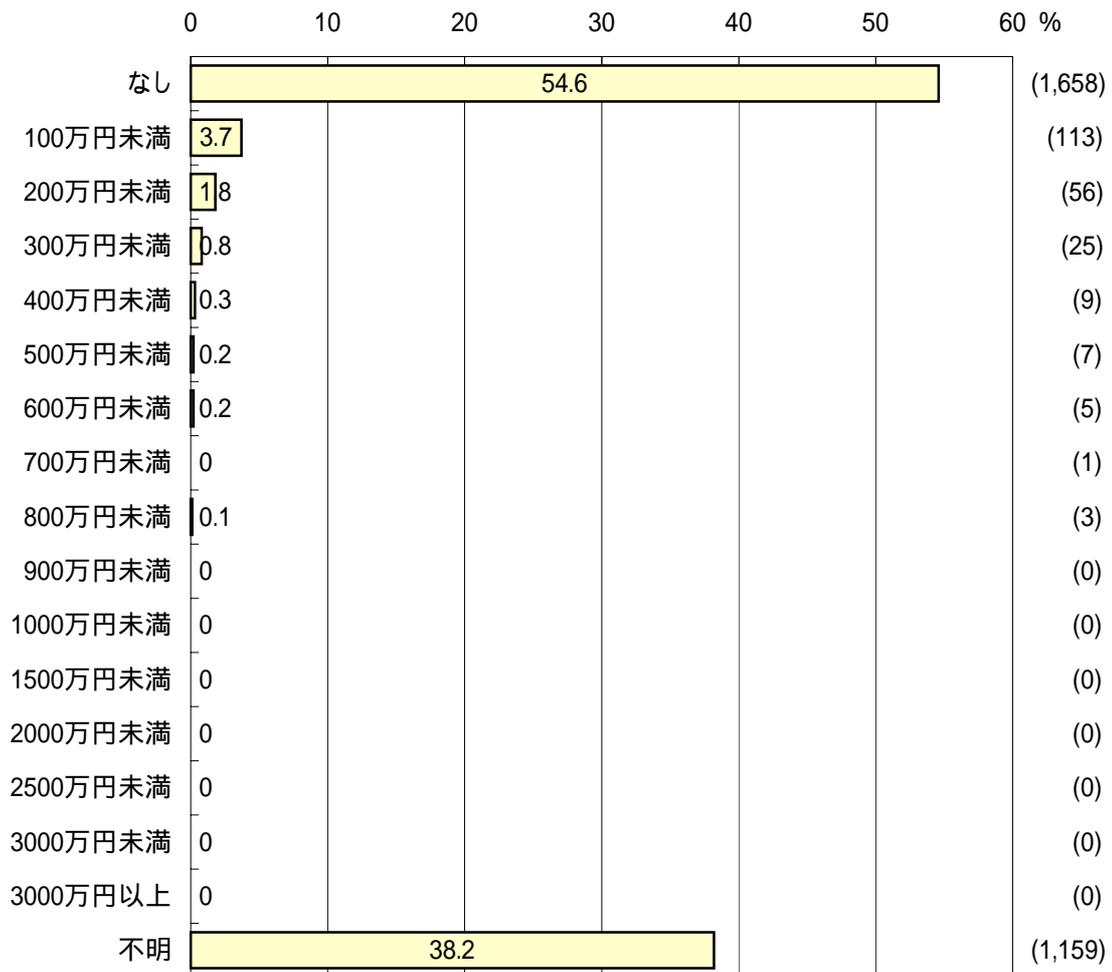
総額	被害額		補填額	
	度数	構成比(%)	度数	構成比(%)
なし	1,865	61.4	1,658	54.6
100万円未満	410	13.5	113	3.7
200万円未満	292	9.6	56	1.8
300万円未満	123	4.1	25	0.8
400万円未満	57	1.9	9	0.3
500万円未満	18	0.6	7	0.2
600万円未満	21	0.7	5	0.2
700万円未満	6	0.2	1	0.0
800万円未満	3	0.1	3	0.1
900万円未満	5	0.2	0	0.0
1000万円未満	0	0.0	0	0.0
1500万円未満	8	0.3	0	0.0
2000万円未満	9	0.3	0	0.0
2500万円未満	2	0.1	0	0.0
3000万円未満	0	0.0	0	0.0
3000万円以上	0	0.0	0	0.0
無回答	217	7.1	1,159	38.2
合計	3,036	100	3,036	100

家財 被害額



「なし」が約61%で最も高い割合を示していた。被害を受けた回答者の被害額の内訳は、「100万円未満」が約14%、「100万円以上200万円未満」が約10%、「200万円以上300万円未満」が約4%だった。

家財 補填額

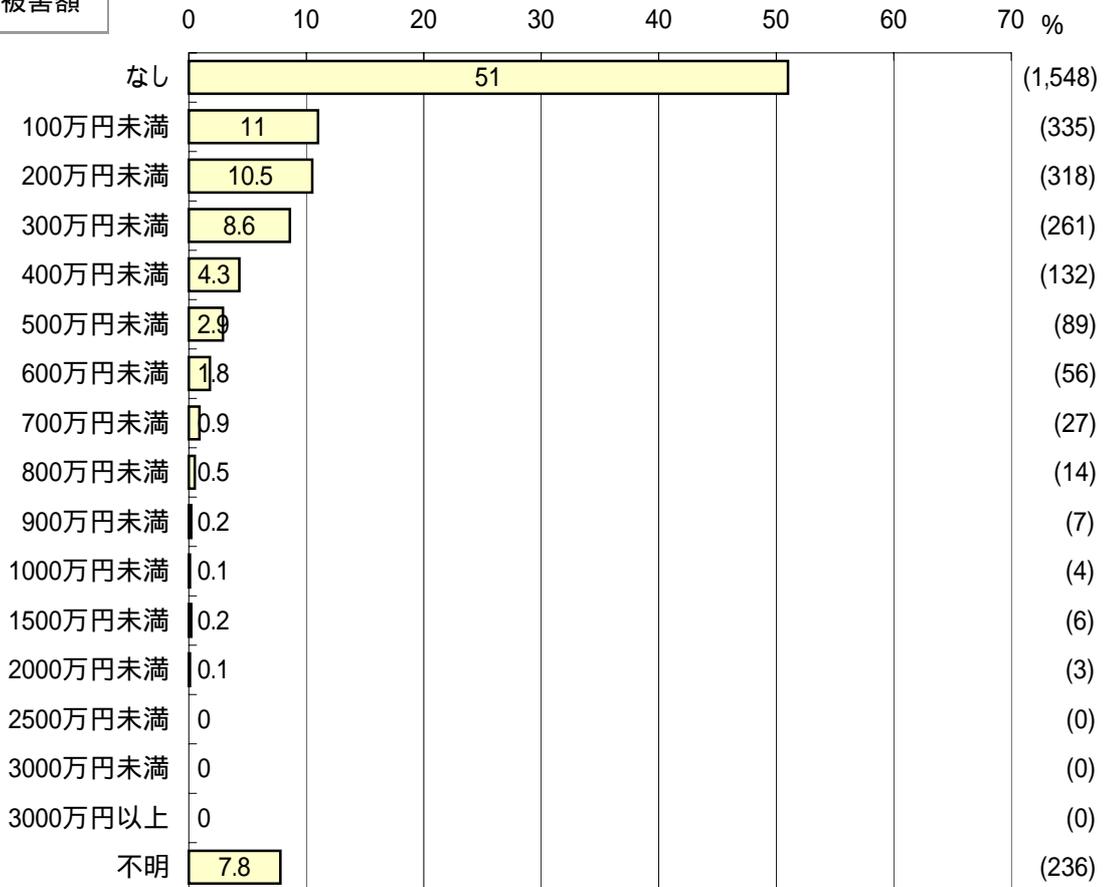


「なし」が約55%と最も高い割合を示していた。被害を受けた回答者の補てん額の内訳は、「100万円未満」が約4%、「100万円以上200万円未満」が約2%だった。

自動車

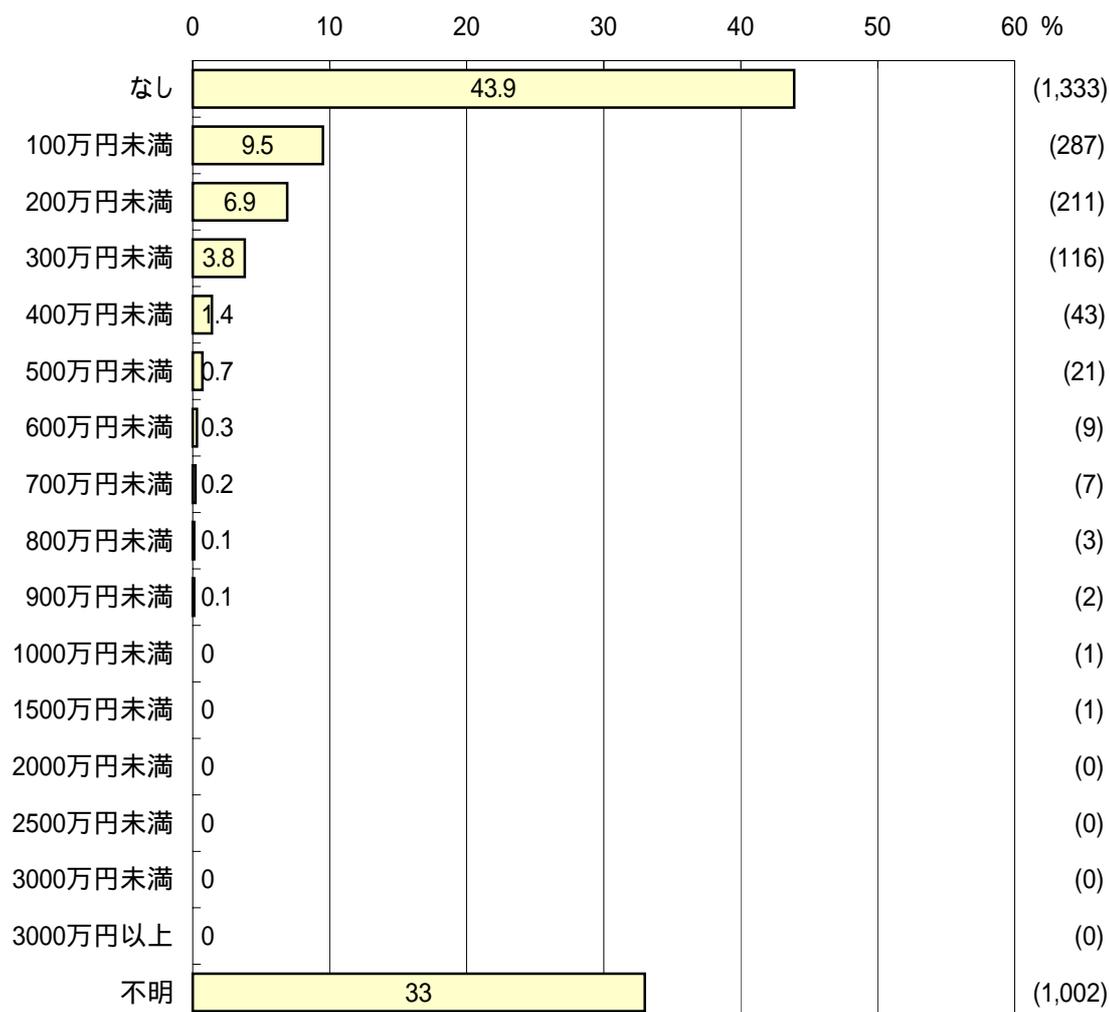
総額	被害額		補填額	
	度数	構成比(%)	度数	構成比(%)
なし	1,548	51.0	1,333	43.9
100万円未満	335	11.0	287	9.5
200万円未満	318	10.5	211	6.9
300万円未満	261	8.6	116	3.8
400万円未満	132	4.3	43	1.4
500万円未満	89	2.9	21	0.7
600万円未満	56	1.8	9	0.3
700万円未満	27	0.9	7	0.2
800万円未満	14	0.5	3	0.1
900万円未満	7	0.2	2	0.1
1000万円未満	4	0.1	1	0.0
1500万円未満	6	0.2	1	0.0
2000万円未満	3	0.1	0	0.0
2500万円未満	0	0.0	0	0.0
3000万円未満	0	0.0	0	0.0
3000万円以上	0	0.0	0	0.0
無回答	236	7.8	1,002	33.0
合計	3,036	100	3,036	100

自動車 被害額



「なし」が51%で最も高い割合を示していた。被害を受けた回答者の被害額の内訳は、「100万円未満」と「100万円以上200万円未満」がそれぞれ約11%、「200万円以上300万円未満」が約9%だった。

自動車 補填額

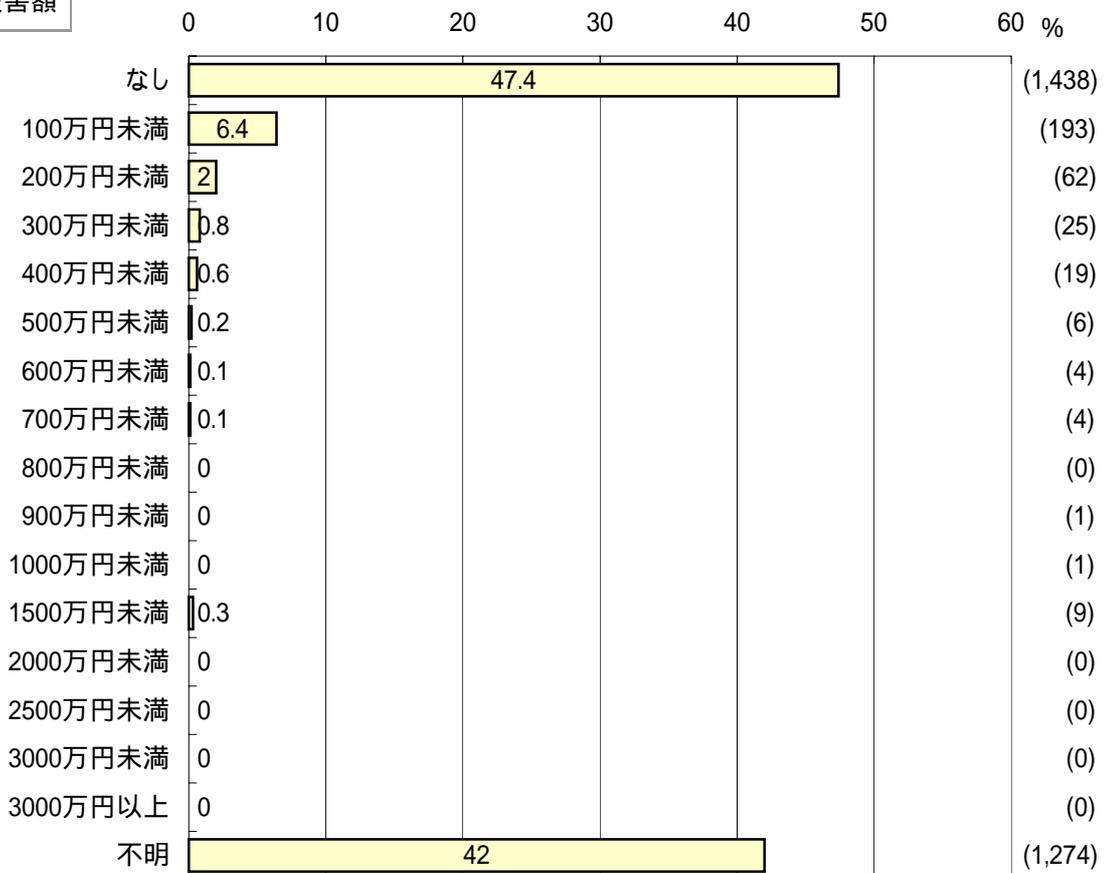


「なし」が約44%で最も高い割合を示していた。補てんを受けた回答者の補てん額の内訳は、「100万円未満」が約10%、「100万円以上200万円未満」が約7%だった。

上記以外の被害額
破棄処分後、買い換え、補修をしなかったも

総額	被害額		補填額	
	度数	構成比(%)	度数	構成比(%)
なし	1,438	47.4	1,293	42.6
100万円未満	193	6.4	13	0.4
200万円未満	62	2.0	3	0.1
300万円未満	25	0.8	0	0.0
400万円未満	19	0.6	2	0.1
500万円未満	6	0.2	0	0.0
600万円未満	4	0.1	0	0.0
700万円未満	4	0.1	1	0.0
800万円未満	0	0.0	0	0.0
900万円未満	1	0.0	0	0.0
1000万円未満	1	0.0	1	0.0
1500万円未満	9	0.3	0	0.0
2000万円未満	0	0.0	0	0.0
2500万円未満	0	0.0	0	0.0
3000万円未満	0	0.0	0	0.0
3000万円以上	0	0.0	0	0.0
無回答	1,274	42.0	1,723	56.8
合計	3,036	100	3,036	100

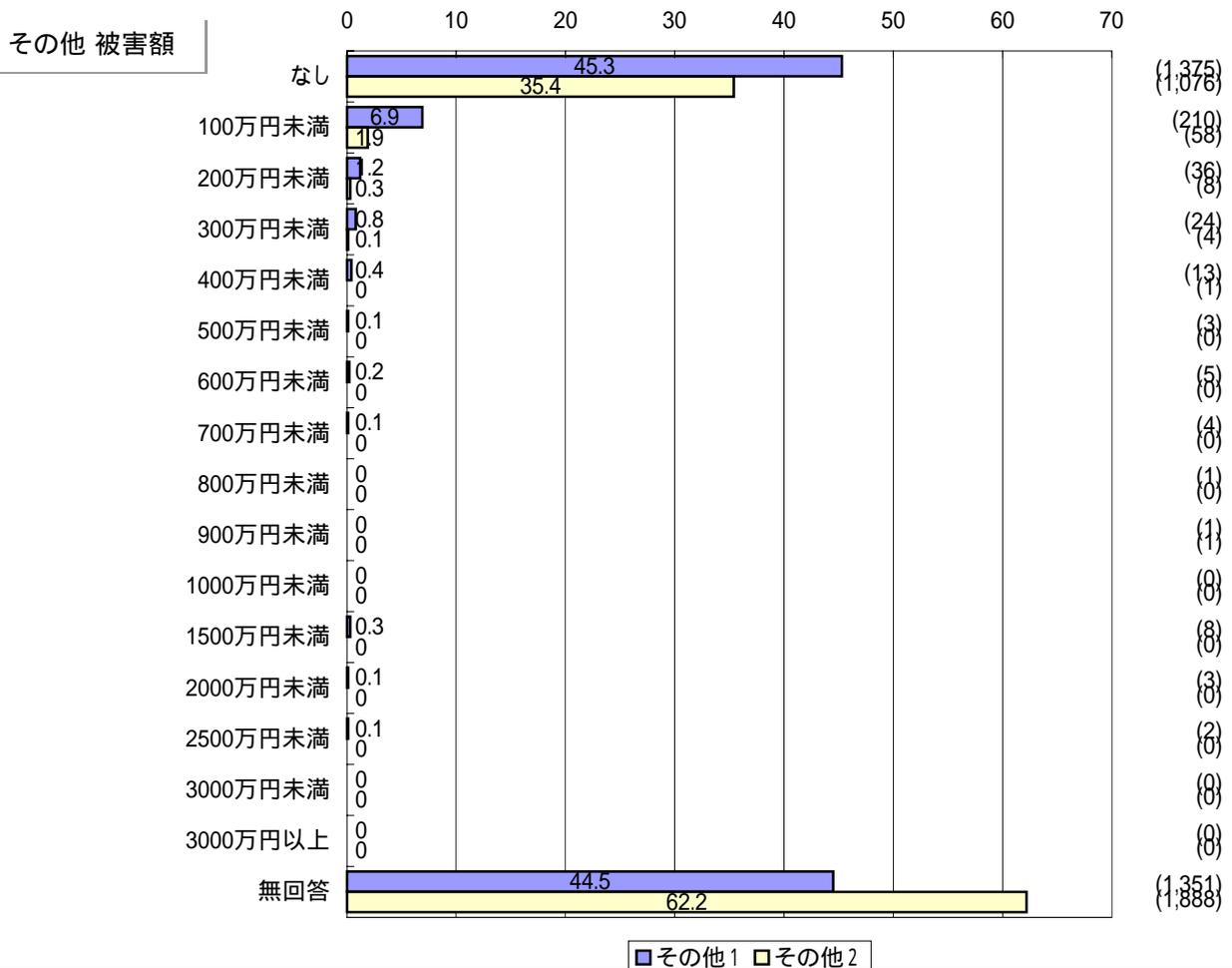
家財 被害額



「なし」が約47%で最も高い割合を占めていた。被害を受けた回答者の被害額の内訳をみると、「1円以上100万円未満」が約6%、「100万円以上200万円未満」が約2%だった

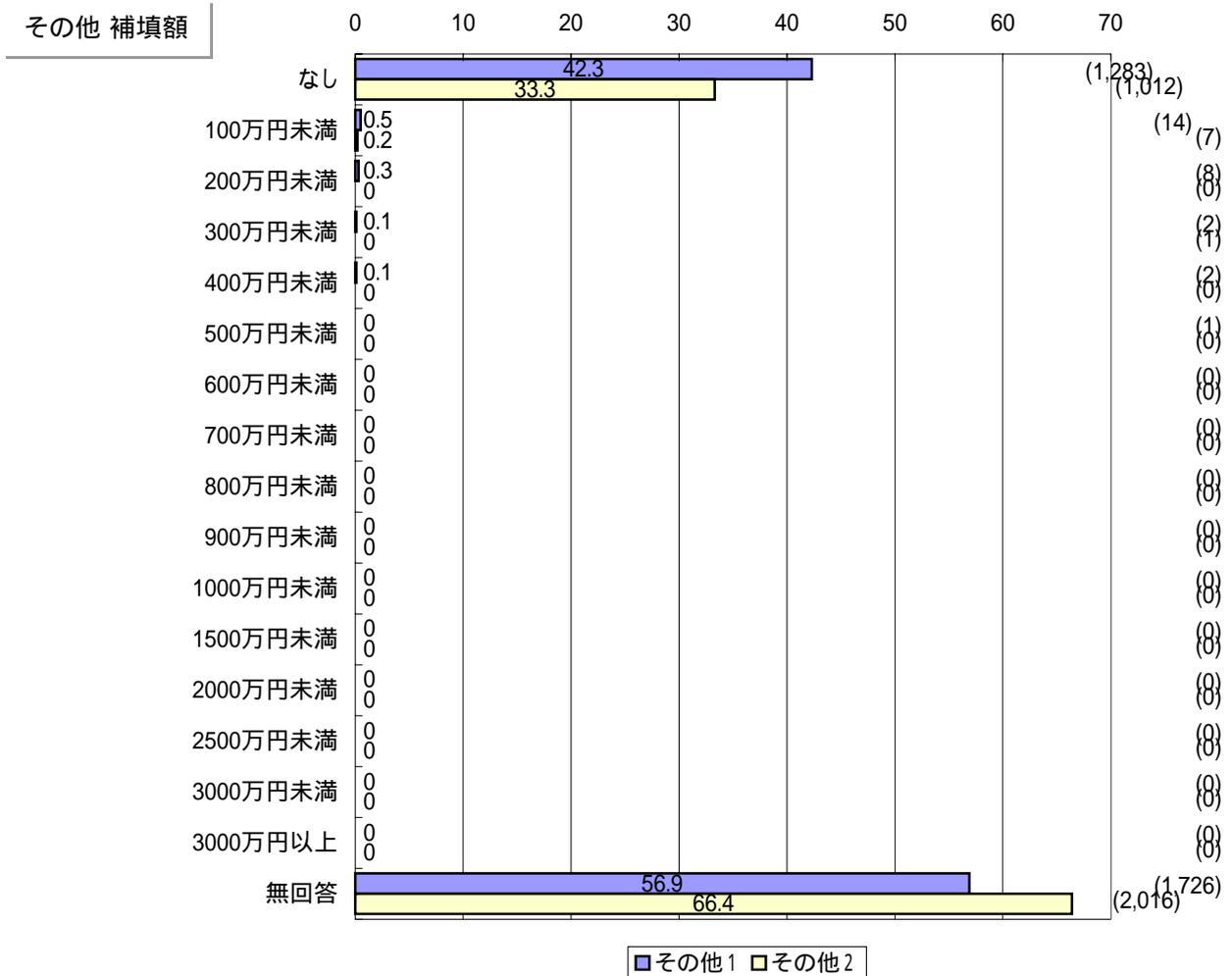
その他

総額	被害額		補填額		被害額		補填額	
	度数	構成比(%)	度数	構成比(%)	度数	構成比(%)	度数	構成比(%)
なし	1,375	45.3	1,283	42.3	1,076	35.4	1,012	33.3
100万円未満	210	6.9	14	0.5	58	1.9	7	0.2
200万円未満	36	1.2	8	0.3	8	0.3	0	0.0
300万円未満	24	0.8	2	0.1	4	0.1	1	0.0
400万円未満	13	0.4	2	0.1	1	0.0	0	0.0
500万円未満	3	0.1	1	0.0	0	0.0	0	0.0
600万円未満	5	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
700万円未満	4	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
800万円未満	1	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
900万円未満	1	0.0	0	0.0	1	0.0	0	0.0
1000万円未満	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
1500万円未満	8	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2000万円未満	3	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2500万円未満	2	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3000万円未満	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3000万円以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
無回答	1,351	44.5	1,726	56.9	1,888	62.2	2,016	66.4
合計	3,036	100	3,036	100	3,036	100	3,036	100



その他1 「なし」が約45%で最も高い割合を占めていた。被害を受けた回答者の被害額の内訳は、「1円以上100万円未満」が約7%だった。

その他2 「なし」が約35%で最も高い割合を占めていた。被害を受けた回答者の被害額の内訳は、「1円以上100万円未満」が約2%だった。



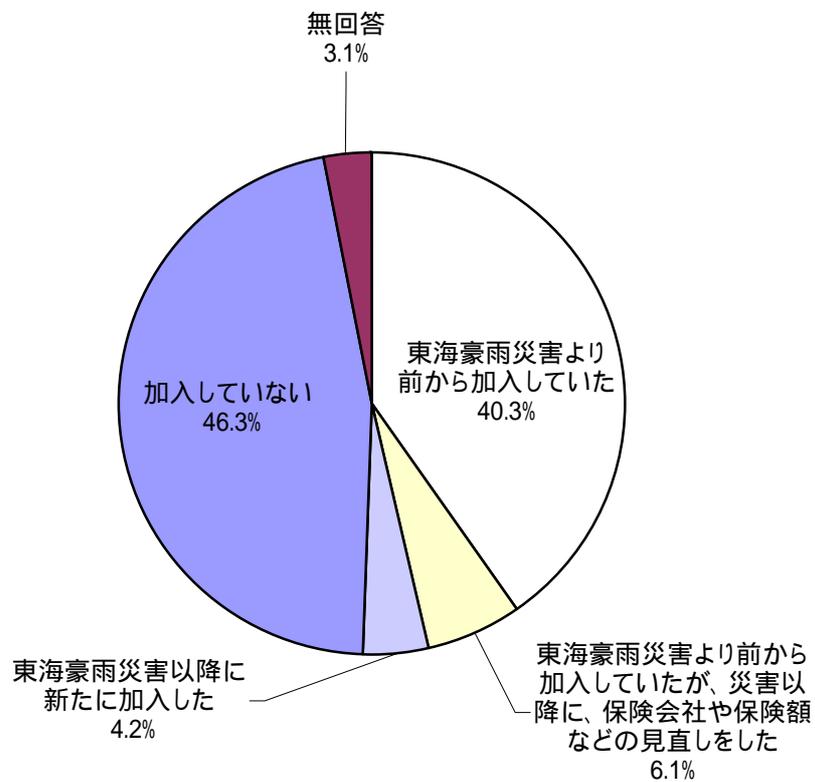
その1 「なし」が約42%で最も高い割合を占めていた。補てんを受けた回答者の補てん額の内訳は、「1円以上100万円未満」が0.5%、「100万円以上200万円未満」が0.3%だった。

その他2 「なし」が約33%で最も高い割合を占めていた。補てんを受けた回答者の補てん額の内訳は、「1円以上100万円未満」が0.2%だった。

(6) あなたの世帯では、水害に備えて何か保険に入っていますか。

家屋に関する保険

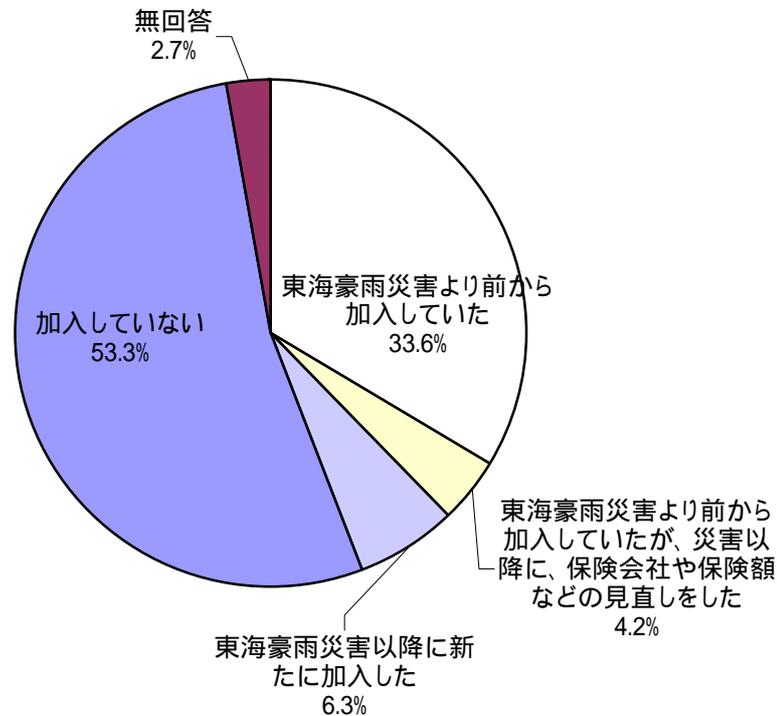
	度数	構成比(%)
東海豪雨災害より前から加入していた	1,225	40.3
東海豪雨災害より前から加入していたが、災害以降に、 保険会社や保険額などの見直しをした	185	6.1
東海豪雨災害以降に新たに加入した	128	4.2
加入していない	1,405	46.3
無回答	93	3.1
合計	3,036	100



「東海豪雨災害より前から加入していた」が、約40%を占めていた。「東海豪雨災害より前から加入していたが、災害以後に保険会社や保険額などの見直しをした」は約6%だった。「東海豪雨災害後に新たに加入した」は約4%で、「加入していない」が約46%に達していた。

家財に関する保険(住宅総合保険などを含む)

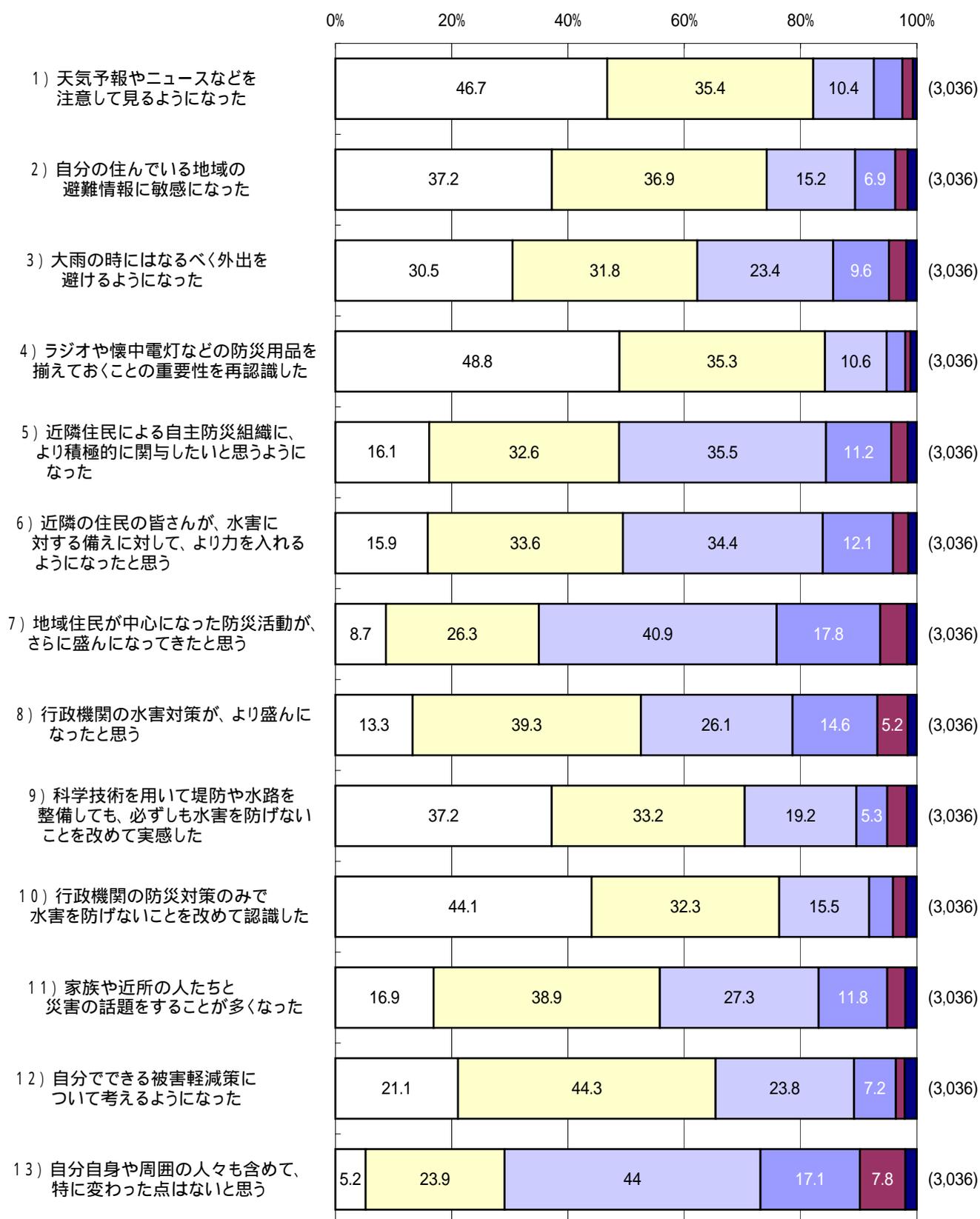
	度数	構成比(%)
東海豪雨災害より前から加入していた	1,019	40.3
東海豪雨災害より前から加入していたが、災害以降に、 保険会社や保険額などの見直しをした	129	6.1
東海豪雨災害以降に新たに加入した	190	4.2
加入していない	1,617	46.3
無回答	81	2.7
合計	3,036	100



「東海豪雨災害より前から加入していた」は、約34%だった。「東海豪雨災害より前から加入していたが、災害以後に保険会社や保険額などの見直しをした」が約4%、「東海豪雨災害以降に新たに加入した」が約6%だった。「加入していない」は、約53%と半数以上に達していた。

問9. 東海豪雨震災以降、あなたが「あなた自身」や「周囲」が変化したと感じる点はどのようなことでしょうか。以下 1) から 13) までの項目それぞれに、「非常にそう思う」から「まったくそう思わない」まで、あてはまる番号に をつけてください。

		非常に そう思う	やや そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	まったく そう 思わない	無回答	総数
1) 天気予報やニュースなどを注意して見るようになった	度数	1,418	1,075	317	150	55	21	3,036
	(%)	46.7	35.4	10.4	4.9	1.8	0.7	100
2) 自分の住んでいる地域の避難情報に敏感になった	度数	1,130	1,121	462	210	65	48	3,036
	(%)	37.2	36.9	15.2	6.9	2.1	1.6	100
3) 大雨の時にはなるべく外出を避けるようになった	度数	926	964	711	291	90	54	3,036
	(%)	30.5	31.8	23.4	9.6	3.0	1.8	100
4) ラジオや懐中電灯などの防災用品を揃えておくことの重要性を再認識した	度数	1,481	1,073	323	97	28	34	3,036
	(%)	48.8	35.3	10.6	3.2	0.9	1.1	100
5) 近隣住民による自主防災組織に、より積極的に関与したいと思うようになった	度数	490	990	1,079	341	86	50	3,036
	(%)	16.1	32.6	35.5	11.2	2.8	1.6	100
6) 近隣の住民の皆さんが、水害に対する備えに対して、より力を入れるようになったと思う	度数	482	1,020	1,044	366	78	46	3,036
	(%)	15.9	33.6	34.4	12.1	2.6	1.5	100
7) 地域住民が中心になった防災活動が、さらに盛んになってきたと思う	度数	263	798	1,242	541	141	51	3,036
	(%)	8.7	26.3	40.9	17.8	4.6	1.7	100
8) 行政機関の水害対策が、より盛んになったと思う	度数	403	1,192	791	444	157	49	3,036
	(%)	13.3	39.3	26.1	14.6	5.2	1.6	100
9) 科学技術を用いて堤防や水路を整備しても、必ずしも水害を防げないことを改めて実感した	度数	1,128	1,009	583	160	103	53	3,036
	(%)	37.2	33.2	19.2	5.3	3.4	1.7	100
10) 行政機関の防災対策のみで水害を防げないことを改めて認識した	度数	1,338	980	470	123	71	54	3,036
	(%)	44.1	32.3	15.5	4.1	2.3	1.8	100
11) 家族や近所の人たちと災害の話題をすることが多くなった	度数	514	1,180	828	359	93	62	3,036
	(%)	16.9	38.9	27.3	11.8	3.1	2.0	100
12) 自分でできる被害軽減策について考えるようになった	度数	640	1,344	724	220	45	63	3,036
	(%)	21.1	44.3	23.8	7.2	1.5	2.1	100
13) 自分自身や周囲の人々も含めて、特に変わった点はないと思う	度数	158	726	1,336	518	236	62	3,036
	(%)	5.2	23.9	44.0	17.1	7.8	2.0	100



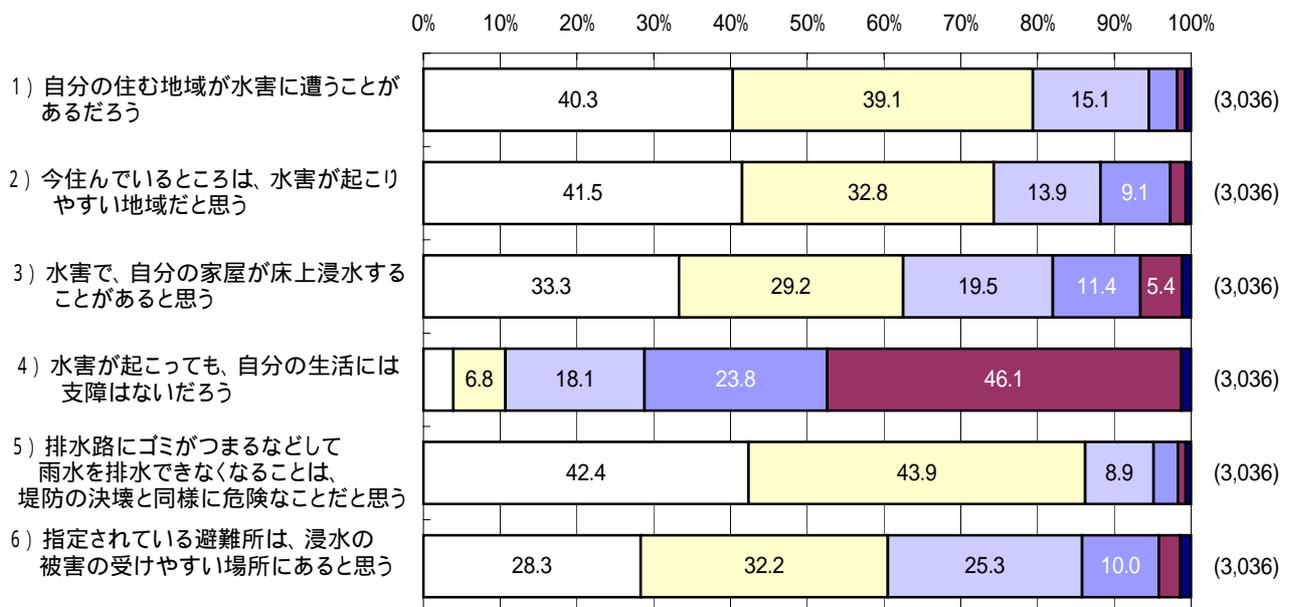
非常にそう思う
 ややそう思う
 どちらともいえない
 あまりそう思わない
 まったくそう思わない
 不明

「天気予報やニュースなどを注意して見るようになった」に対して、「非常にそう思う」の割合が約47%と高い割合を示していた。「ラジオや懐中電灯などの防災用品を揃えておくことの重要性を再認識した」に対して、「非常にそう思う」の割合が約49%とおよそ5割に達していた。

問10. 水害についてのあなたの考えをお聞きます。あまり深く考え込まないで、感じたままをお答えください。以下 1) から 56) までの項目それぞれに、「非常にそう思う」から「まったくそう思わない」まで、あてはまる番号に をつけてください。

水害リスク認知

	非常に そう思う	やや そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	まったく そう 思わない	無回答	総数
1) 自分の住む地域が水害に遭うことがあるだろう	度数 1,224 (%) 40.3	1,187 39.1	457 15.1	113 3.7	31 1.0	24 0.8	3,036 100
2) 今住んでいるところは、水害が起こりやすい地域だと思う	度数 1,260 (%) 41.5	996 32.8	421 13.9	276 9.1	62 2.0	21 0.7	3,036 100
3) 水害で、自分の家屋が床上浸水することがあると思う	度数 1,010 (%) 33.3	887 29.2	592 19.5	347 11.4	164 5.4	36 1.2	3,036 100
4) 水害が起こっても、自分の生活には支障はないだろう	度数 119 (%) 3.9	206 6.8	550 18.1	722 23.8	1,399 46.1	40 1.3	3,036 100
5) 排水路にゴミがつまるなどして雨水を排水できなくなることは、堤防の決壊と同様に危険なことだと思う	度数 1,288 (%) 42.4	1,333 43.9	270 8.9	96 3.2	29 1.0	20 0.7	3,036 100
6) 指定されている避難所は、浸水の被害の受けやすい場所にあると思う	度数 859 (%) 28.3	978 32.2	768 25.3	304 10.0	86 2.8	41 1.4	3,036 100

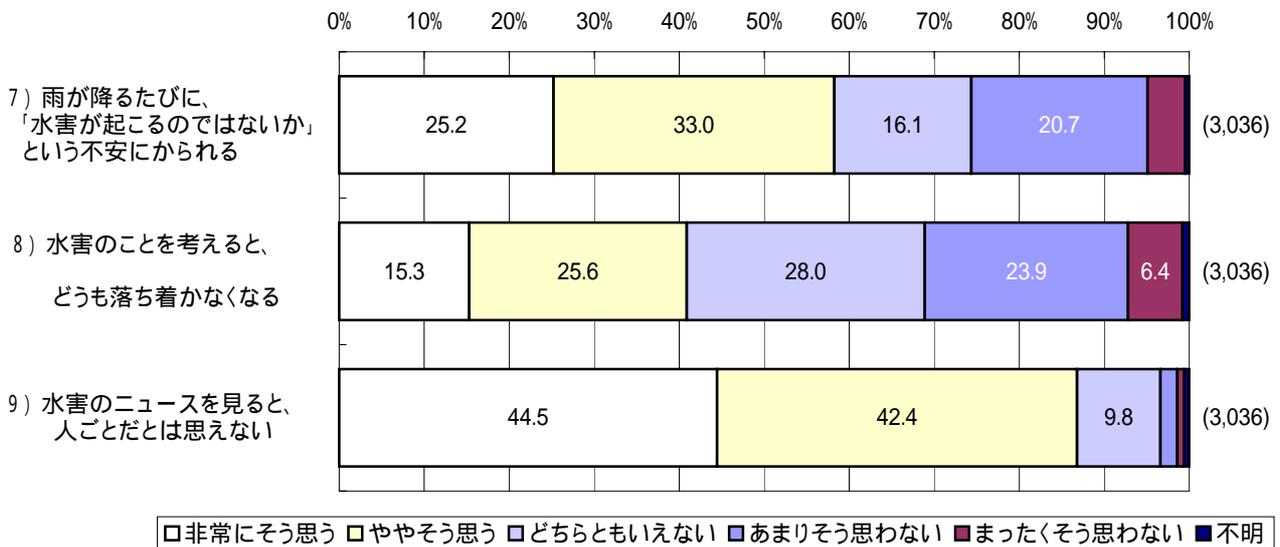


□非常にそう思う □ややそう思う □どちらともいえない □あまりそう思わない ■まったくそう思わない ■不明

「自分の住む地域が水害に遭うことがあるだろう」に対して、「非常にそう思う」の割合が約40%、「今住んでいるところは、水害が起こりやすい地域だと思う」及び「排水路にゴミがつまるなどして雨水を排水できなくなることは、堤防の決壊と同様に危険なことだと思う」に対しては、「非常にそう思う」が約42%を占めていた。また、「水害が起こっても、自分の生活には支障はないだろう」に対して、「まったくそう思わない」が約46%を占めていた。

水害に対する不安感

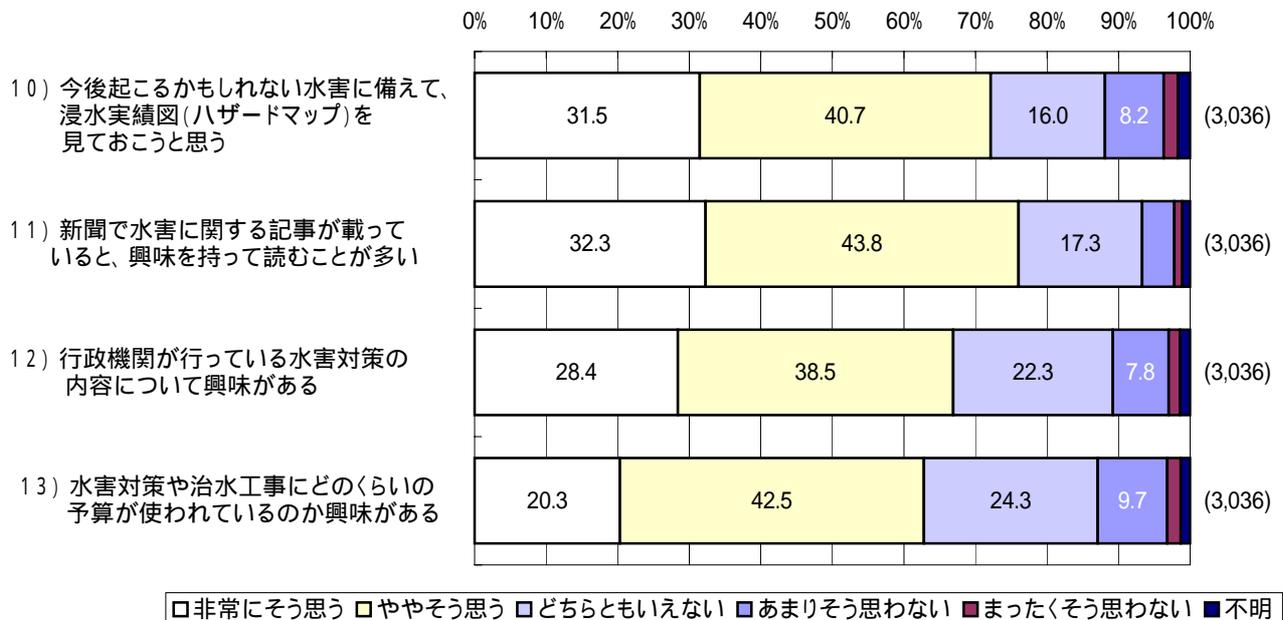
		非常に そう思う	やや そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	まったく そう 思わない	無回答	総数
7) 雨が降るたびに、「水害が起こるのではないか」という不安にかられる	度数	766	1,002	490	629	133	16	3,036
	(%)	25.2	33.0	16.1	20.7	4.4	0.5	100
8) 水害のことを考えると、どうも落ち着かなくなる	度数	463	778	851	727	193	24	3,036
	(%)	15.3	25.6	28.0	23.9	6.4	0.8	100
9) 水害のニュースを見ると、人ごとだとは思えない	度数	1,350	1,286	297	61	24	18	3,036
	(%)	44.5	42.4	9.8	2.0	0.8	0.6	100



「水害のニュースを見ると、ひとごとだとは思えない」に対して、「非常にそう思う」の割合は約45%で「ややそう思う」の割合は約42%と、水害情報に対して回答者が敏感に反応していることが確認できた。同様に、「雨が降るたびに『水害が起こるのではないか』という不安にかられる」に対して、「非常にそう思う」の割合は約25%、「ややそう思う」の割合は約33%と、回答者の間で不安感が高まっていることが示唆された。

水害に対する興味・関心

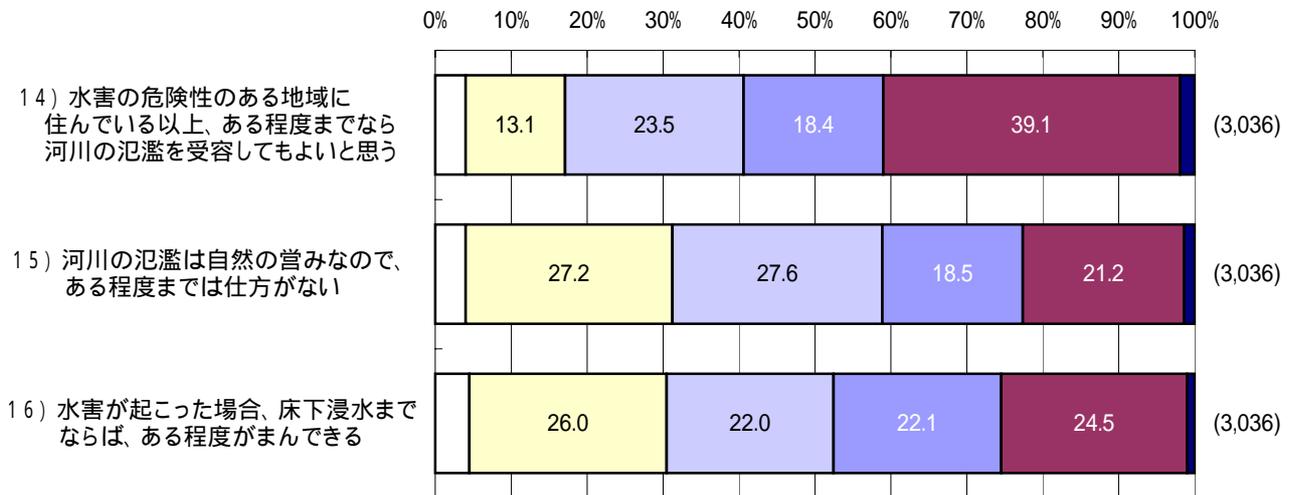
		非常に そう思う	やや そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	まったく そう 思わない	無回答	総数
10) 今後起こるかもしれない水害に備えて、浸水実績図(ハザードマップ)を見ておこうと思う	度数	957	1,235	485	248	60	51	3,036
	(%)	31.5	40.7	16.0	8.2	2.0	1.7	100
11) 新聞で水害に関する記事が載っていると、興味を持って読むことが多い	度数	981	1,329	525	136	32	33	3,036
	(%)	32.3	43.8	17.3	4.5	1.1	1.1	100
12) 行政機関が行っている水害対策の内容について興味がある	度数	861	1,169	676	236	50	44	3,036
	(%)	28.4	38.5	22.3	7.8	1.6	1.4	100
13) 水害対策や治水工事にどのくらいの予算が使われているのか興味がある	度数	617	1,291	737	293	58	40	3,036
	(%)	20.3	42.5	24.3	9.7	1.9	1.3	100



「今後起こるかもしれない水害に備えて、浸水実績図(ハザードマップ)を見ておこうと思う」に対して、「非常にそう思う」が約32%で「ややそう思う」が約41%と、両評価をあわせると70%強に達することが確認できた。これ以外の項目の多くが、「非常にそう思う」及び「ややそう思う」という項目の割合が高く、回答者の防災対策に対する関心が高いことが確認できた。

水害リスクの受容意識

		非常に そう思う	やや そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	まったく そう 思わない	無回答	総数
14) 水害の危険性のある地域に住んでいる以上、ある程度までなら河川の氾濫を受容してもよいと思う	度数	121	397	713	559	1,188	58	3,036
	(%)	4.0	13.1	23.5	18.4	39.1	1.9	100
15) 河川の氾濫は自然の営みなので、ある程度までは仕方がない	度数	122	825	837	563	645	44	3,036
	(%)	4.0	27.2	27.6	18.5	21.2	1.4	100
16) 水害が起こった場合、床下浸水までならば、ある程度がまんできる	度数	137	788	667	672	743	29	3,036
	(%)	4.5	26.0	22.0	22.1	24.5	1.0	100

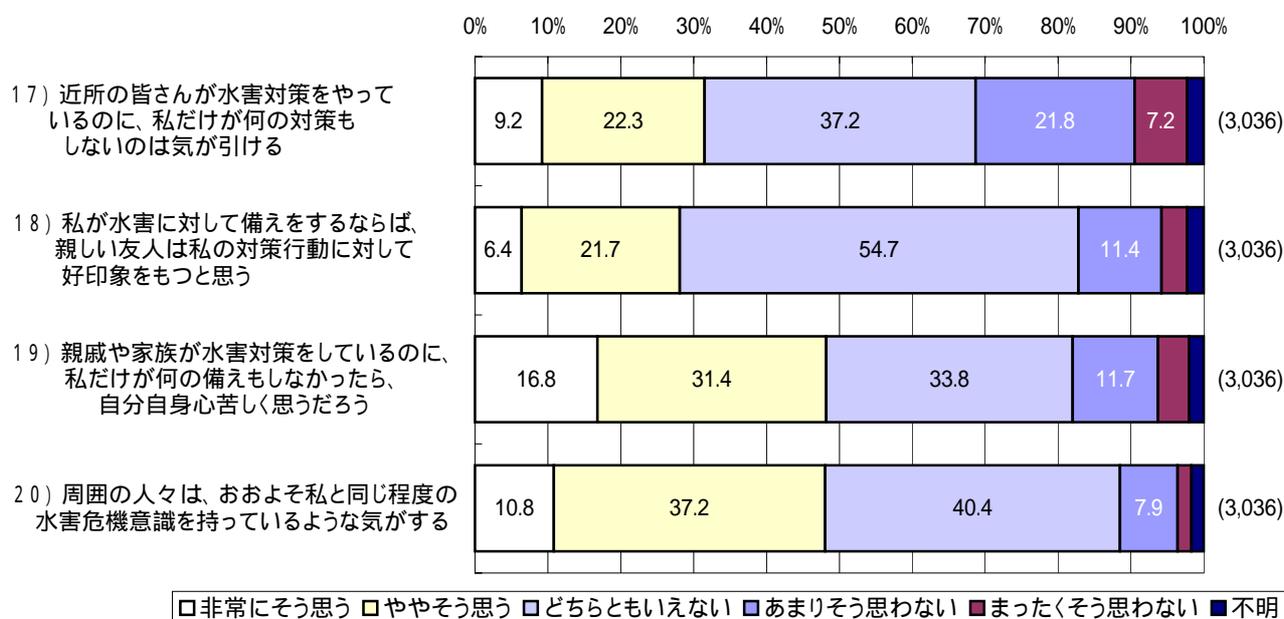


■ 非常にそう思う
 ■ ややそう思う
 ■ どちらともいえない
 ■ あまりそう思わない
 ■ まったくそう思わない
 ■ 不明

「水害の危険性のある地域に住んでいる以上、ある程度までなら河川の氾濫を受容してもよいと思う」に対しては、「まったくそう思わない」が約39%で「あまりそう思わない」が約18%とおよそ6割の回答者が否定的な見解を示していることが分かった。「河川の氾濫は自然の営みなので、ある程度までは仕方がない」に対しては、「非常にそう思う」と「ややそう思う」の割合をあわせるとおよそ3割、「まったくそう思わない」と「あまりそう思わない」の割合をあわせるとおよそ4割だった。「水害が起こった場合、床下浸水までならば、ある程度がまんできる」に対しては、「非常にそう思う」と「ややそう思う」の割合の合計はおよそ3割、「まったくそう思わない」と「あまりそう思わない」の割合の合計は5割弱だった。

水害対策に対する規範意識

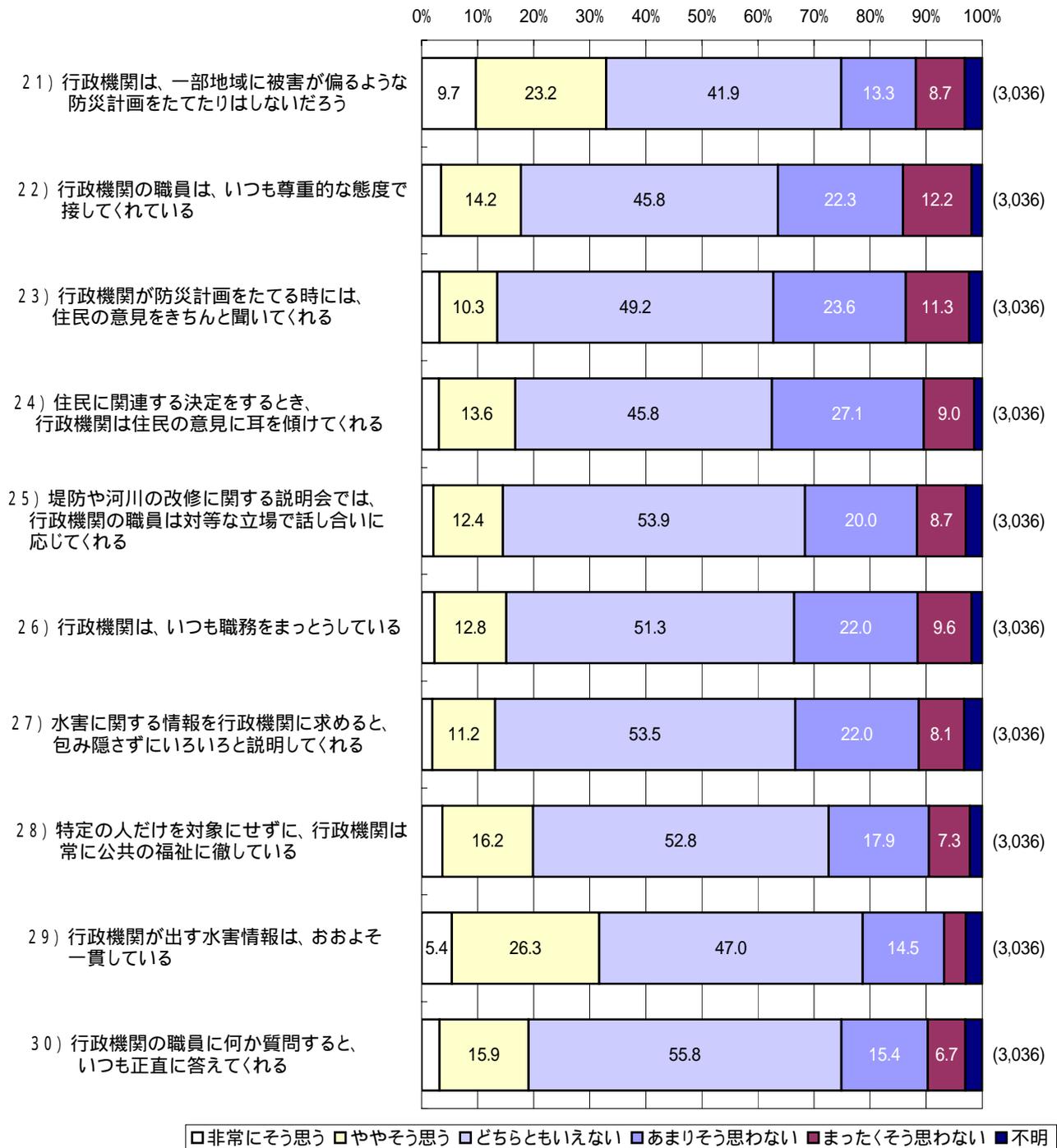
		非常に そう思う	やや そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	まったく そう 思わない	無回答	総数
17) 近所の皆さんが水害対策をやっているのに、私だけが何の対策もしないのは気が引ける	度数	278	678	1,129	662	220	69	3,036
	(%)	9.2	22.3	37.2	21.8	7.2	2.3	100
18) 私が水害に対して備えをするならば、親しい友人は私の対策行動に対して好印象をもつと思う	度数	195	659	1,660	346	106	70	3,036
	(%)	6.4	21.7	54.7	11.4	3.5	2.3	100
19) 親戚や家族が水害対策をしているのに、私だけが何の備えもしなかったら、自分自身心苦しうと思う	度数	511	952	1,027	354	132	60	3,036
	(%)	16.8	31.4	33.8	11.7	4.3	2.0	100
20) 周囲の人々は、おおよそ私と同じ程度の水害危機意識を持っているような気がする	度数	329	1,130	1,227	240	58	52	3,036
	(%)	10.8	37.2	40.4	7.9	1.9	1.7	100



「親戚や家族が水害対策をしているのに、私だけが何の備えもしなかったら、自分自身心苦しうと思うだろう」に対して、「非常にそう思う」が約17%で「ややそう思う」が約31%と、これらの合計は5割弱に達することが分かった。「周囲の人々は、おおよそ私と同じ程度の水害危機意識を持っているような気がする」に対して、「非常にそう思う」が約11%で「ややそう思う」が約37%と。これらを合計は5割弱に達することが分かった。

行政機関に関する意識

		非常に そう思う	やや そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	まったく そう 思わない	無回答	総数
21) 行政機関は、一部地域に被害が偏る ような防災計画をたてたりはしないだろう	度数	296	704	1,272	405	265	94	3,036
	(%)	9.7	23.2	41.9	13.3	8.7	3.1	100
22) 行政機関の職員は、いつも尊重的な 態度で接してくれている	度数	107	431	1,390	678	371	59	3,036
	(%)	3.5	14.2	45.8	22.3	12.2	1.9	100
23) 行政機関が防災計画をたてる時に は、住民の意見をきちんと聞いてくれる	度数	97	313	1,495	717	343	71	3,036
	(%)	3.2	10.3	49.2	23.6	11.3	2.3	100
24) 住民に関連する決定をするとき、行政 機関は住民の意見に耳を傾けてくれる	度数	93	412	1,389	824	274	44	3,036
	(%)	3.1	13.6	45.8	27.1	9.0	1.4	100
25) 堤防や河川の改修に関する説明会で は、行政機関の職員は対等な立場で話し 合いに応じてくれる	度数	65	376	1,637	607	263	88	3,036
	(%)	2.1	12.4	53.9	20.0	8.7	2.9	100
26) 行政機関は、いつも職務をまっとうし ている	度数	71	388	1,558	669	291	59	3,036
	(%)	2.3	12.8	51.3	22.0	9.6	1.9	100
27) 水害に関する情報を行政機関に求め ると、包み隠さずにいろいろと説明してくれ る	度数	58	340	1,625	669	246	98	3,036
	(%)	1.9	11.2	53.5	22.0	8.1	3.2	100
28) 特定の人だけを対象にせずに、行政 機関は常に公共の福祉に徹している	度数	111	491	1,603	542	221	68	3,036
	(%)	3.7	16.2	52.8	17.9	7.3	2.2	100
29) 行政機関が出す水害情報は、おおよ そ一貫している	度数	164	799	1,426	441	119	87	3,036
	(%)	5.4	26.3	47.0	14.5	3.9	2.9	100
30) 行政機関の職員に何か質問すると、 いつも正直に答えてくれる	度数	98	483	1,695	468	202	90	3,036
	(%)	3.2	15.9	55.8	15.4	6.7	3.0	100

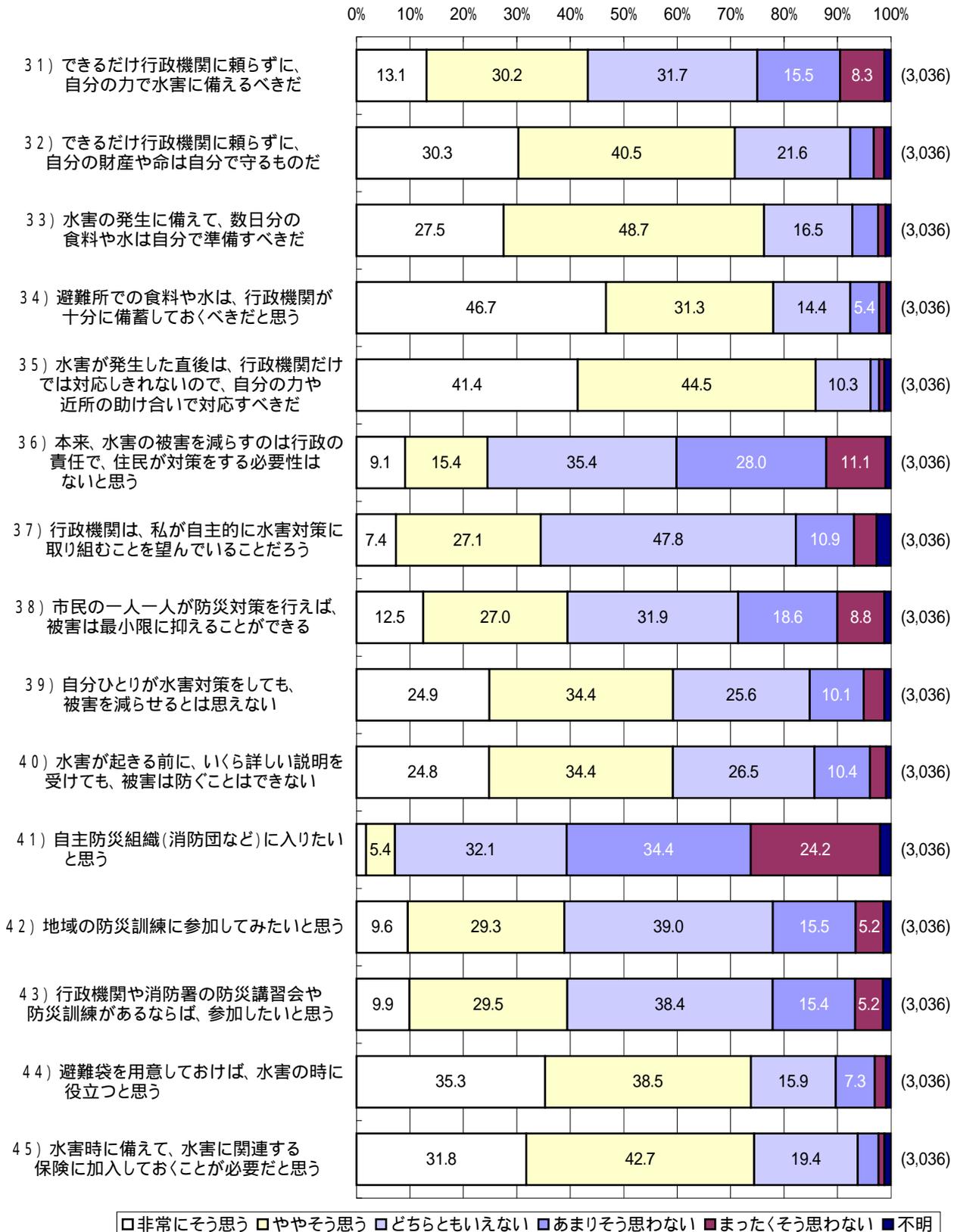


「行政機関は、一部地域に被害が偏るような防災計画をたてたりはしないだろう」に対して、「非常にそう思う」が約10%で「ややそう思う」が約23%だった。「行政機関が出す水害情報は、おおよそ一貫している」に対して、「非常にそう思う」が約5%で「ややそう思う」が約26%だった。これら以外の各項目においては、「どちらでもない」の割合が高かった。

水害対策に関する意識

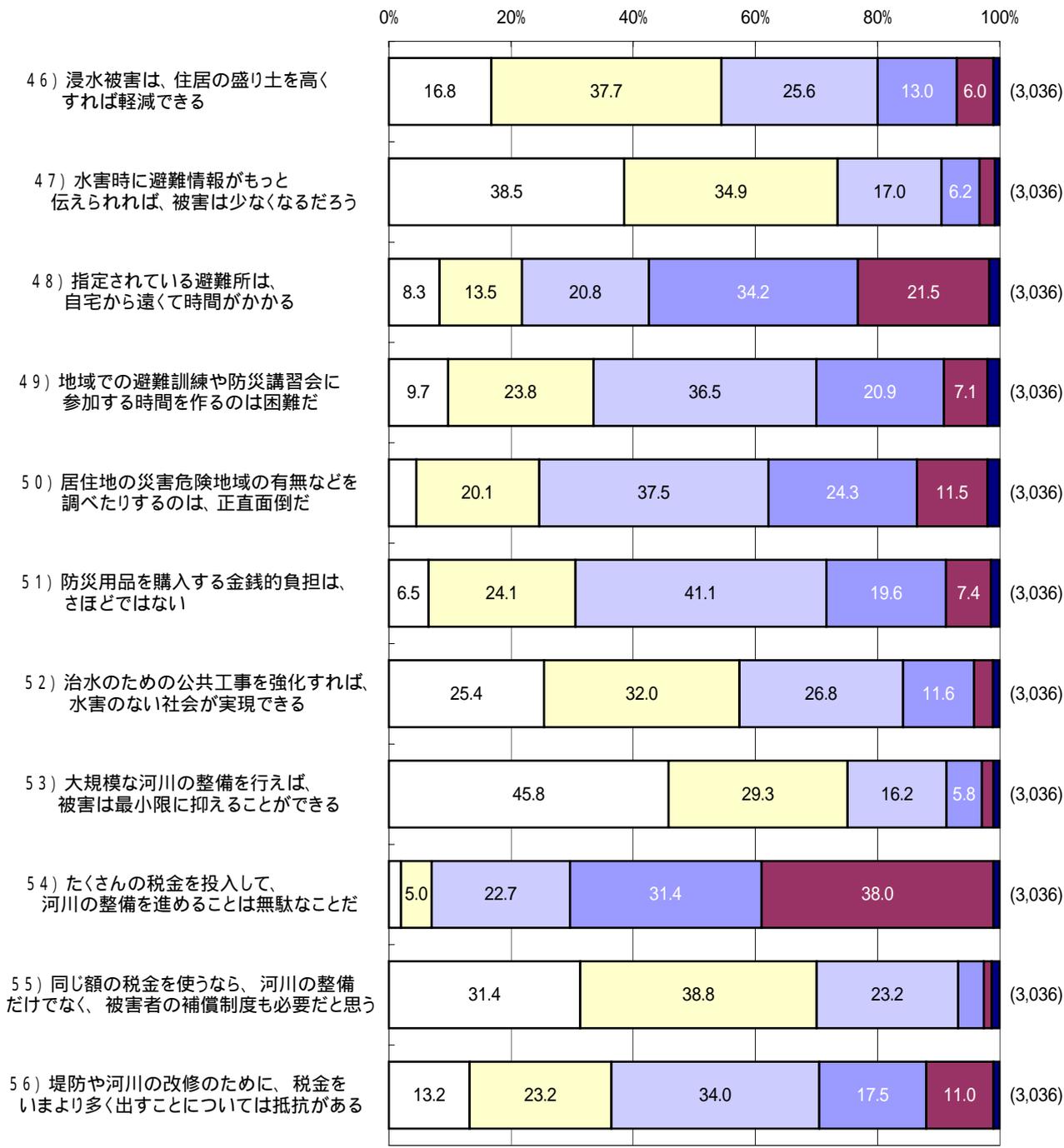
		非常に そう思う	やや そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	まったく そう 思わない	無回答	総数
31) できるだけ行政機関に頼らずに、自分の力で水害に備えるべきだ	度数	397	917	963	470	252	37	3,036
	(%)	13.1	30.2	31.7	15.5	8.3	1.2	100
32) できるだけ行政機関に頼らずに、自分の財産や命は自分で守るものだ	度数	919	1,230	657	134	60	36	3,036
	(%)	30.3	40.5	21.6	4.4	2.0	1.2	100
33) 水害の発生に備えて、数日分の食料や水は自分で準備すべきだ	度数	836	1,480	500	147	42	31	3,036
	(%)	27.5	48.7	16.5	4.8	1.4	1.0	100
34) 避難所での食料や水は、行政機関が十分に備蓄しておくべきだと思う	度数	1,417	951	438	165	41	24	3,036
	(%)	46.7	31.3	14.4	5.4	1.4	0.8	100
35) 水害が発生した直後は、行政機関だけでは対応しきれないので、自分の力や近所の助け合いで対応すべきだ	度数	1,257	1,351	314	50	29	35	3,036
	(%)	41.4	44.5	10.3	1.6	1.0	1.2	100
36) 本来、水害の被害を減らすのは行政の責任で、住民が対策をする必要性はないと思う	度数	276	468	1,076	850	337	29	3,036
	(%)	9.1	15.4	35.4	28.0	11.1	1.0	100
37) 行政機関は、私が自主的に水害対策に取り組むことを望んでいることだろう	度数	224	823	1,451	331	126	81	3,036
	(%)	7.4	27.1	47.8	10.9	4.2	2.7	100
38) 市民の一人一人が防災対策を行えば、被害は最小限に抑えることができる	度数	381	821	967	565	266	36	3,036
	(%)	12.5	27.0	31.9	18.6	8.8	1.2	100
39) 自分ひとりが水害対策をしても、被害を減らせるとは思えない	度数	756	1,044	776	306	117	37	3,036
	(%)	24.9	34.4	25.6	10.1	3.9	1.2	100
40) 水害が起きる前に、いくら詳しい説明を受けても、被害は防ぐことはできない	度数	752	1,043	805	316	92	28	3,036
	(%)	24.8	34.4	26.5	10.4	3.0	0.9	100
41) 自主防災組織(消防団など)に入りたいと思う	度数	56	164	975	1,044	735	62	3,036
	(%)	1.8	5.4	32.1	34.4	24.2	2.0	100
42) 地域の防災訓練に参加してみたいと思う	度数	290	889	1,185	471	159	42	3,036
	(%)	9.6	29.3	39.0	15.5	5.2	1.4	100
43) 行政機関や消防署の防災講習会や防災訓練があるならば、参加したいと思う	度数	301	895	1,167	467	159	47	3,036
	(%)	9.9	29.5	38.4	15.4	5.2	1.5	100
44) 避難袋を用意しておけば、水害の時に役立つと思う	度数	1,072	1,168	483	222	63	28	3,036
	(%)	35.3	38.5	15.9	7.3	2.1	0.9	100
45) 水害時に備えて、水害に関連する保険に加入しておくことが必要だと思う	度数	964	1,296	589	118	34	35	3,036
	(%)	31.8	42.7	19.4	3.9	1.1	1.2	100

水害対策に関する意識



「できるだけ行政機関に頼らずに、自分の財産や命は自分で守るものだ」という自己責任に関する項目、「避難所での食料や水は、行政機関が十分に備蓄しておくべきだと思う」という行政機関の責任を問う項目、「水害が発生した直後は、行政機関だけでは対応しきれないので、自分の力や近所の助け合いで対応すべきだ」という近隣住民との助け合いに関する項目のそれぞれにおいて、「非常にそう思う」及び「ややそう思う」という回答の割合が高かった。

		非常に そう思う	やや そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	まったく そう 思わない	無回答	総数
46) 浸水被害は、住居の盛り土を高くすれば軽減できる	度数	510	1,145	777	394	181	29	3,036
	(%)	16.8	37.7	25.6	13.0	6.0	1.0	100
47) 水害時に避難情報をもっと伝えられれば、被害は少なくなるだろう	度数	1,170	1,059	517	189	77	24	3,036
	(%)	38.5	34.9	17.0	6.2	2.5	0.8	100
48) 指定されている避難所は、自宅から遠くて時間がかかる	度数	253	409	632	1,038	652	52	3,036
	(%)	8.3	13.5	20.8	34.2	21.5	1.7	100
49) 地域での避難訓練や防災講習会に参加する時間を作るのは困難だ	度数	294	723	1,109	634	216	60	3,036
	(%)	9.7	23.8	36.5	20.9	7.1	2.0	100
50) 居住地の災害危険地域の有無などを調べたりするのは、正直面倒だ	度数	137	610	1,140	738	350	61	3,036
	(%)	4.5	20.1	37.5	24.3	11.5	2.0	100
51) 防災用品を購入する金銭的負担は、さほどではない	度数	196	733	1,247	595	224	41	3,036
	(%)	6.5	24.1	41.1	19.6	7.4	1.4	100
52) 治水のための公共工事を強化すれば、水害のない社会が実現できる	度数	770	973	813	353	95	32	3,036
	(%)	25.4	32.0	26.8	11.6	3.1	1.1	100
53) 大規模な河川の整備を行えば、被害は最小限に抑えることができる	度数	1,391	889	492	176	57	31	3,036
	(%)	45.8	29.3	16.2	5.8	1.9	1.0	100
54) たくさんの税金を投入して、河川の整備を進めることは無駄なことだ	度数	60	153	688	952	1,153	30	3,036
	(%)	2.0	5.0	22.7	31.4	38.0	1.0	100
55) 同じ額の税金を使うなら、河川の整備だけでなく、被害者の補償制度も必要だと思う	度数	952	1,179	703	126	38	38	3,036
	(%)	31.4	38.8	23.2	4.2	1.3	1.3	100
56) 堤防や河川の改修のために、税金をいまより多く出すことについては抵抗がある	度数	401	705	1,032	532	335	31	3,036
	(%)	13.2	23.2	34.0	17.5	11.0	1.0	100

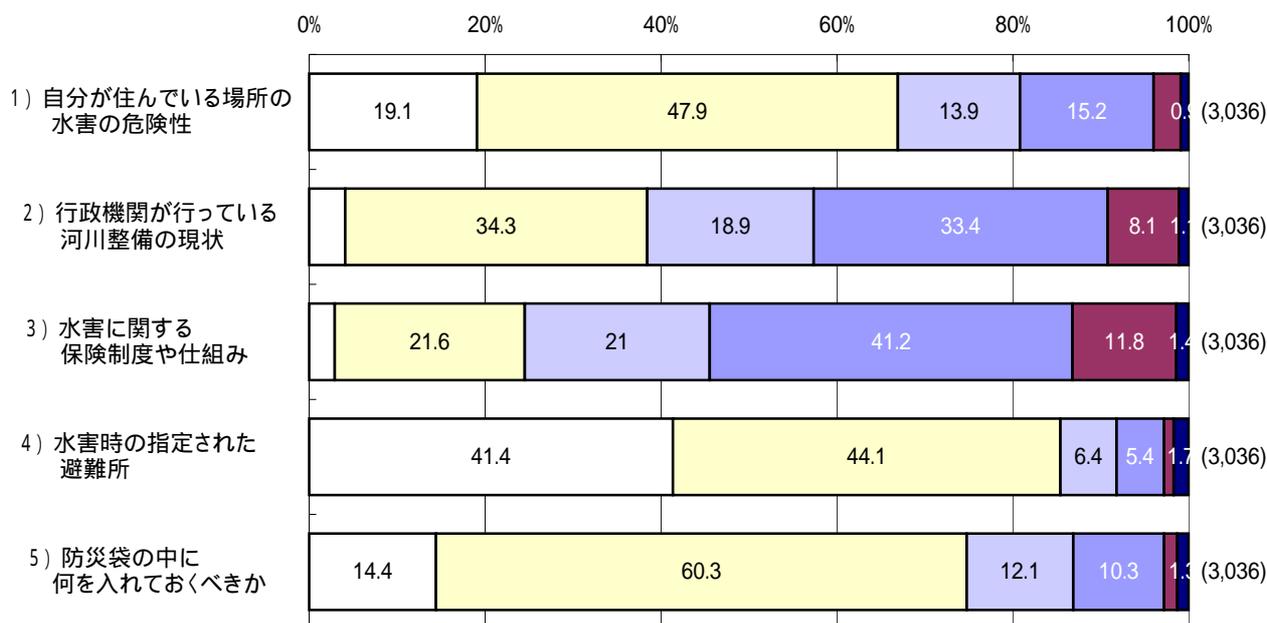


非常にそう思う
 ややそう思う
 どちらともいえない
 あまりそう思わない
 まったくそう思わない
 不明

「浸水被害は、住居の盛り土を高くすれば軽減できる」という事前の備えに関する項目、「水害時に避難情報がもっと伝えられれば、被害は少なくなるだろう」という緊急時の対応に関する項目、「同じ額の税金を使うなら、河川の整備だけでなく、被害者の補償制度も必要だと思う」という被災者補償に関する各項目、「治水のための公共工事を強化すれば、水害のない社会が実現できる」という治水構造物の減災機能に関する項目それぞれにおいて、「非常にそう思う」と「ややそう思う」の割合が高かった。

問11. あなたは、水害に関して、以下の情報についてどのくらい知っていますか。
1) から 5) までの項目それぞれについて、あてはまる番号に をつけてください。

		非常に 知って いる	やや 知って いる	どちらとも いえない	あまり 知らない	まったく 知らない	無回答	総数
1) 自分が住んでいる場所の水害の危険性	度数	580	1,454	422	460	94	26	3,036
	(%)	19.1	47.9	13.9	15.2	3.1	0.9	100
2) 行政機関が行っている河川整備の現状	度数	125	1,041	575	1,015	246	34	3,036
	(%)	4.1	34.3	18.9	33.4	8.1	1.1	100
3) 水害に関する保険制度や仕組み	度数	89	656	638	1,251	358	44	3,036
	(%)	2.9	21.6	21.0	41.2	11.8	1.4	100
4) 水害時の指定された避難所	度数	1,256	1,338	193	164	34	51	3,036
	(%)	41.4	44.1	6.4	5.4	1.1	1.7	100
5) 防災袋の中に何をを入れておくべきか	度数	438	1,832	367	313	47	39	3,036
	(%)	14.4	60.3	12.1	10.3	1.5	1.3	100

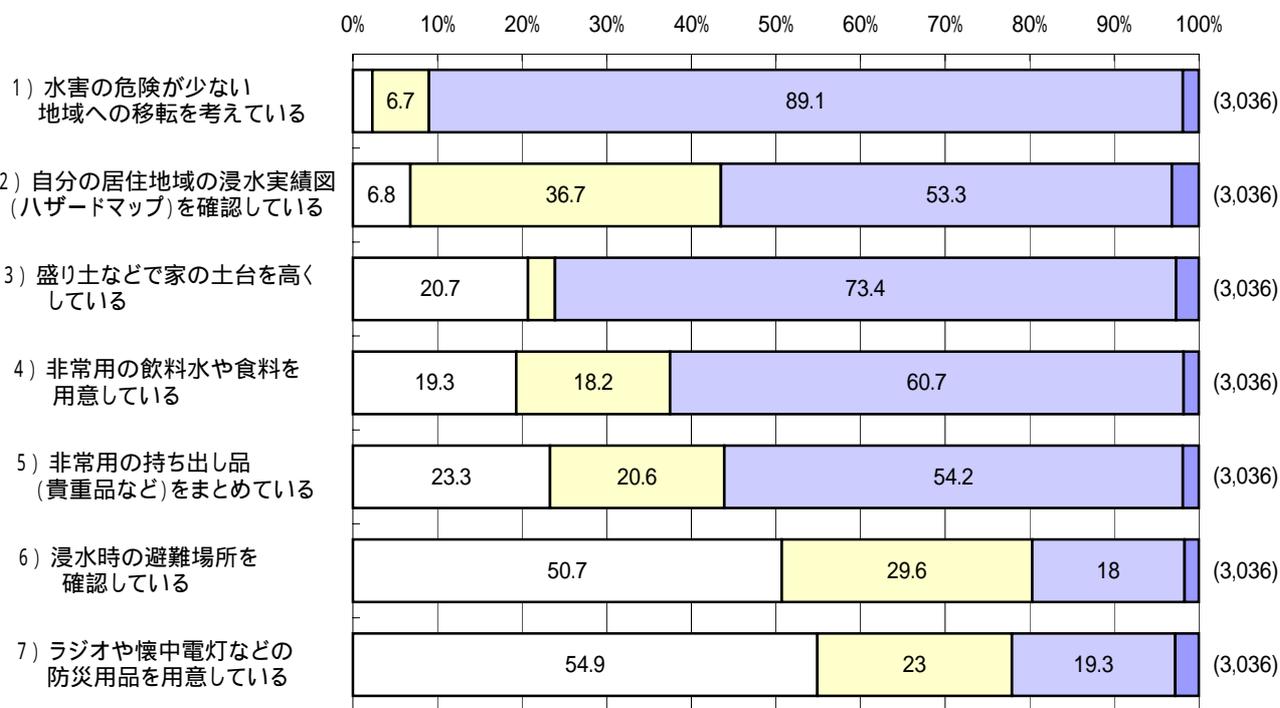


□非常によく知っている □やや知っている □どちらともいえない □あまり知らない □まったく知らない ■無回答

「自分が住んでいる場所の水害の危険性」に対して、「非常に知っている」が約19%で「やや知っている」が約48%と、両評価の合計は7割強に達した。「水害時の指定された避難所」に対して、「非常に知っている」は約41%で「やや知っている」は約44%と、両評価の合計は8割強に達した。「防災袋の中に何をを入れておくべきか」に対しては、「非常に知っている」が約14%、「やや知っている」が約60%と、両評価の合計は7割強に達した。「水害に関する保険制度や仕組み」に対しては、「まったく知らない」が約12%で「あまり知らない」が約41%と、両評価の合計は5割強に達していた。

問12. あなたの家では、水害に対してどのような備えをしていますか。
1) から 7) までの項目それぞれについて、あてはまる番号に をつけてください。

		東海豪雨より 前からしている	東海豪雨の 後にした	現在は していない	無回答	総数
1)水害の危険が少ない地域への移転を考 えている	度数	70	204	2,704	58	3,036
	(%)	2.3	6.7	89.1	1.9	100
2)自分の居住地域の浸水実績図(ハザード マップ)を確認している	度数	207	1,115	1,617	97	3,036
	(%)	6.8	36.7	53.3	3.2	100
3)盛り土などで家の土台を高くしている	度数	628	98	2,228	82	3,036
	(%)	20.7	3.2	73.4	2.7	100
4)非常用の飲料水や食料を用意している	度数	585	552	1,844	55	3,036
	(%)	19.3	18.2	60.7	1.8	100
5)非常用の持ち出し品(貴重品など)をまと めている	度数	708	626	1,644	58	3,036
	(%)	23.3	20.6	54.2	1.9	100
6)浸水時の避難場所を確認している	度数	1,539	899	545	53	3,036
	(%)	50.7	29.6	18.0	1.7	100
7)ラジオや懐中電灯などの防災用品を用 意している	度数	1,667	697	586	86	3,036
	(%)	54.9	23.0	19.3	2.8	100

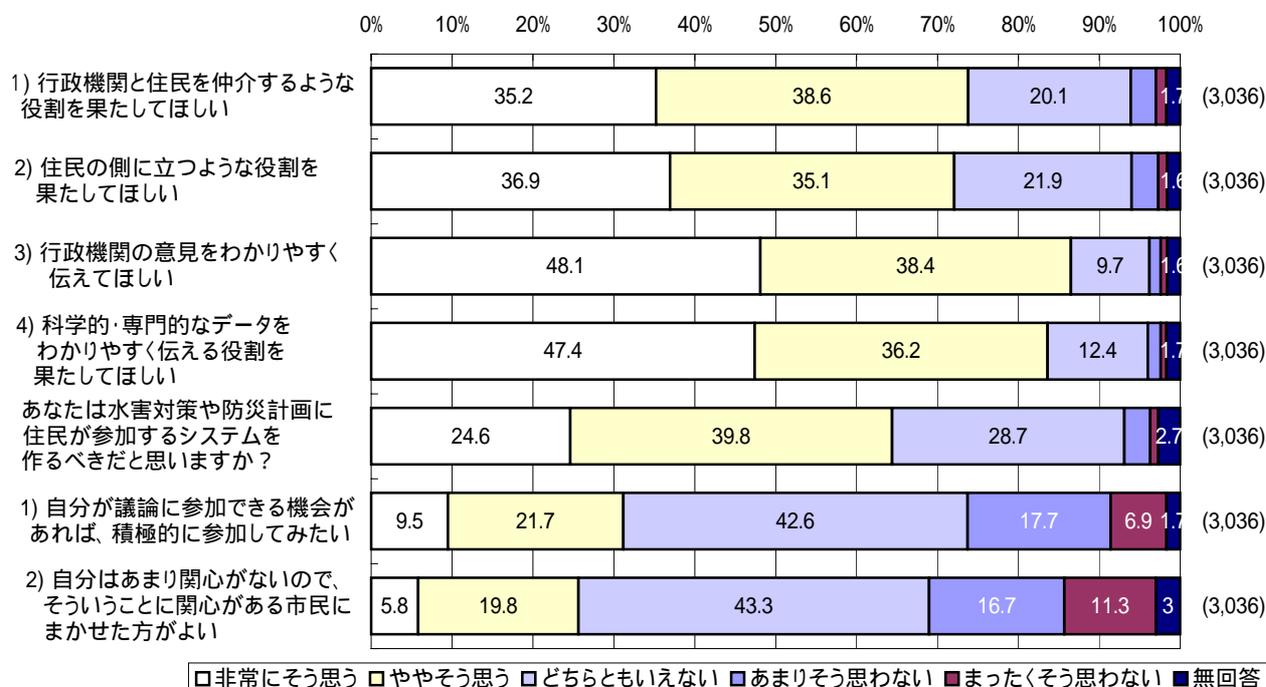


□東海豪雨より前からしている □東海豪雨の後にした □現在はしていない ■無回答

「水害の危険が少ない地域への移転」に対して、「東海豪雨災害前から検討している」と「東海豪雨災害後に検討した」の両評価割合の合計は9%だった。「自分の居住地域の浸水実績図(ハザードマップ)を確認している」に対しては、「東海豪雨災害後に行った」が約37%で「現在はしていない」が約53%だった。「浸水時の避難場所を確認している」に対しては、「東海豪雨災害前から検討している」が約51%、「ラジオや懐中電灯などの防災用品を用意している」に対して、「東海豪雨災害前からしている」が約55%だった。

問13. ダムの建設、遊水地の整備、河川改修工事、排水ポンプ設置など水害対策や地域の防災計画について、行政機関、専門家だけではなく、住民を交えての議論を行うべきだという意見があります。このような意見についてのあなた御自身の考えをお聞かせください。

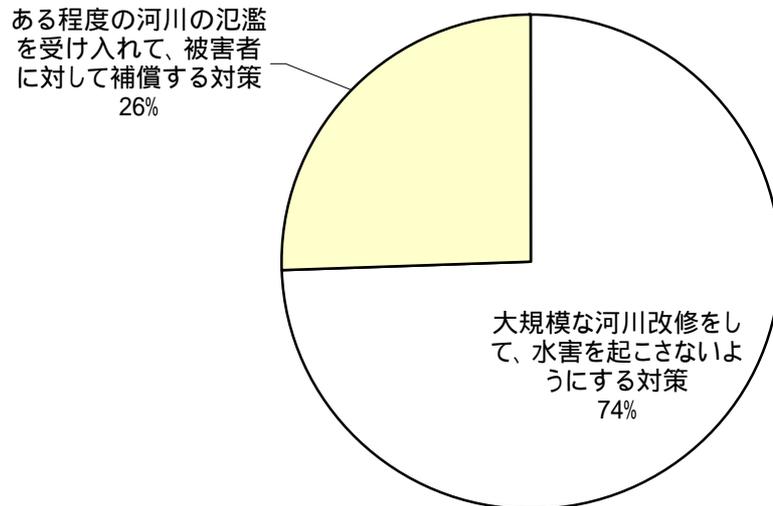
		非常に そう思う	やや そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	まったく そう 思わない	無回答	総数
このような議論においては、専門家はどのような役割を果たしてほしいと思いますか。								
1) 行政機関と住民を仲介する ような役割を果たしてほしい	度数	1,069	1,172	609	93	40	53	3,036
	(%)	35.2	38.6	20.1	3.1	1.3	1.7	100
2) 住民の側に立つような役割を果た してほしい	度数	1,120	1,067	664	101	34	50	3,036
	(%)	36.9	35.1	21.9	3.3	1.1	1.6	100
3) 行政機関の意見をわかりやすく伝 えてほしい	度数	1,459	1,166	295	42	25	49	3,036
	(%)	48.1	38.4	9.7	1.4	0.8	1.6	100
4) 科学的・専門的なデータをわかり やすく伝える役割を果たしてほしい	度数	1,440	1,098	375	48	22	53	3,036
	(%)	47.4	36.2	12.4	1.6	0.7	1.7	100
あなたは水害対策や防災計画に 住民が参加するシステムを作るべき だと思いますか？	度数	747	1,207	870	98	31	83	3,036
	(%)	24.6	39.8	28.7	3.2	1.0	2.7	100
あなた自身は、このような議論に参加してみたいと思いますか？								
1) 自分が議論に参加できる機会が あれば、積極的に参加してみたい	度数	289	658	1,294	536	208	51	3,036
	(%)	9.5	21.7	42.6	17.7	6.9	1.7	100
2) 自分はあまり関心がないので、そ ういうことに関心がある市民にまかせ た方がよい	度数	177	602	1,315	506	344	92	3,036
	(%)	5.8	19.8	43.3	16.7	11.3	3.0	100



「行政機関の意見を分かりやすく伝えて欲しい」、「科学的・専門的なデータを分かりやすく伝える役割を果たして欲しい」の両項目に対して、「非常にそう思う」と「ややそう思う」の両評価はともに高い割合を示していた。また、「行政機関と住民を仲介するよう役割を果たしてほしい」、「住民の側に立つような役割を果たして欲しい」の両項目においても、肯定的評価の割合が高かった。

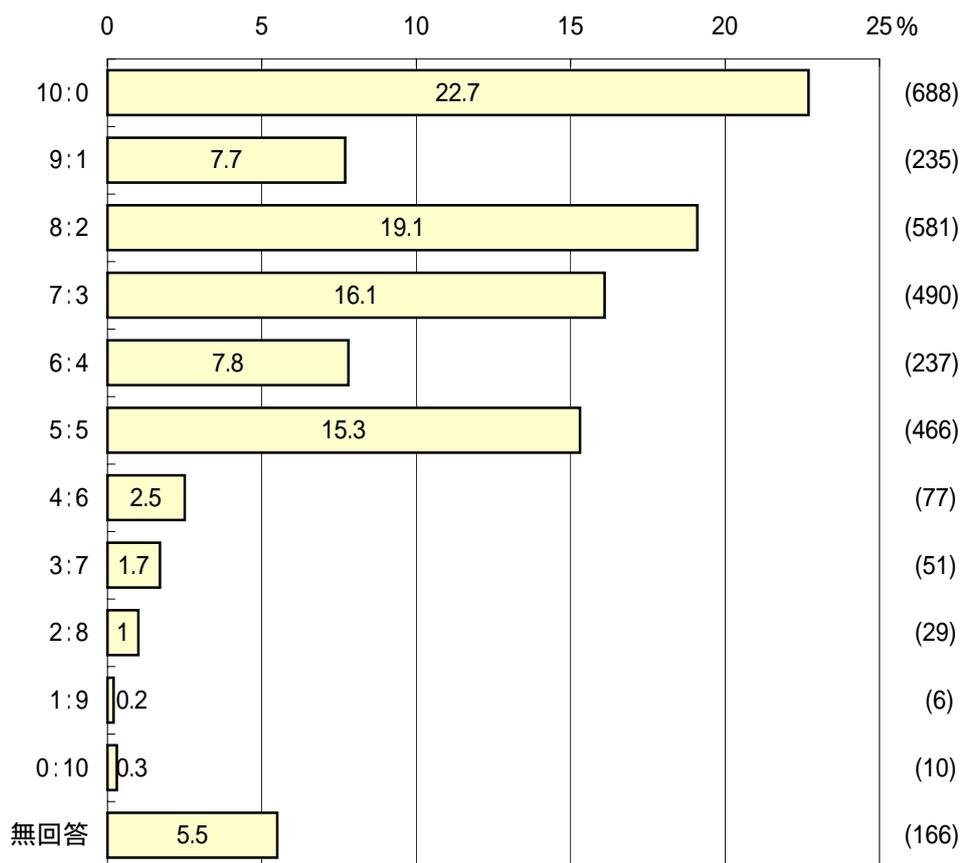
問14 あなたは全治水予算を10として、以下の2つの対策に予算配分するとしたらどのように配分しますか。2つの数字を足して10になるように数字を記入してください。

	総数	構成比(%)
大規模な河川改修をして、水害を起こさないようにする対策	21,350	74.4
ある程度の河川の氾濫を受け入れて、被害者に対して補償する対策	7,350	25.6
合計	28,700	100



「大規模な河川改修をして、水害を起こさないようにする対策」に予算を配分すべきという回答が74%と非常に高い割合を占めていた。

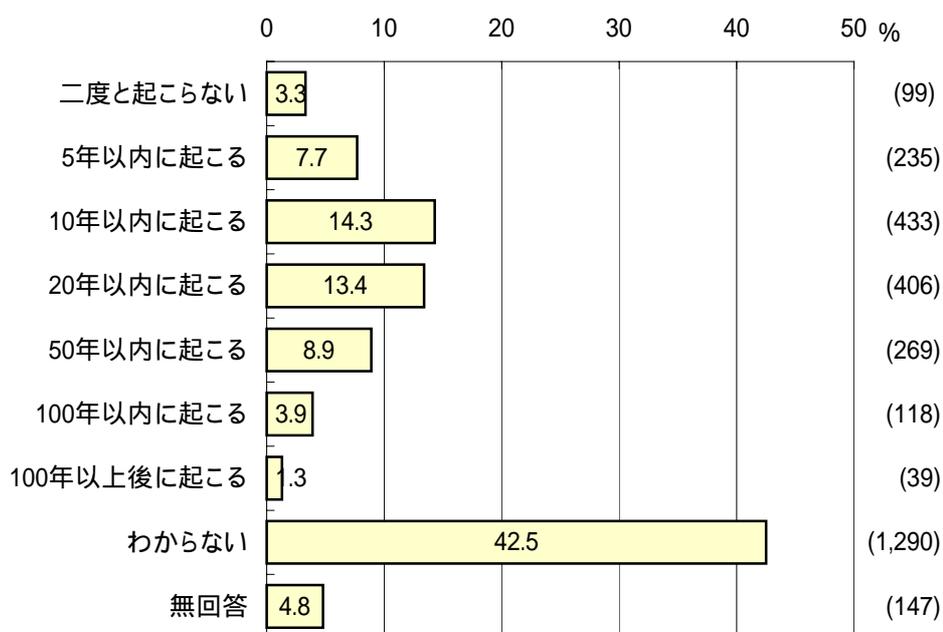
大規模な河川改修をして、 水害を起こさないように する対策	ある程度の河川の氾濫を 受け入れて、被害者に対して 補償する対策	度数	構成比(%)
10	0	688	22.7
9	1	235	7.7
8	2	581	19.1
7	3	490	16.1
6	4	237	7.8
5	5	466	15.3
4	6	77	2.5
3	7	51	1.7
2	8	29	1.0
1	9	6	0.2
0	10	10	0.3
無回答		166	5.5
合計		3,036	100



「大規模な河川改修をして、水害を起こさないようにする対策」に10を費やし、「ある程度の河川の氾濫を受け入れて、被災者に対して補償する対策」には一切費やすべきではないという回答が約23%、前者に8を費やし後者に2を費やすべきという回答は約19%、前者に7後者に3を費やすべきという回答は約16%だった。

問15 この地域で、一昨年（2019年）の東海豪雨のような被害をもたらす大水害は、今後また起こると思いますか？起こるとしたらいつ頃起きると思いますか。

	度数	構成比(%)
二度と起こらない	99	3.3
5年以内に起こる	235	7.7
10年以内に起こる	433	14.3
20年以内に起こる	406	13.4
50年以内に起こる	269	8.9
100年以内に起こる	118	3.9
100年以上後に起こる	39	1.3
わからない	1,290	42.5
無回答	147	4.8
合計	3,036	100

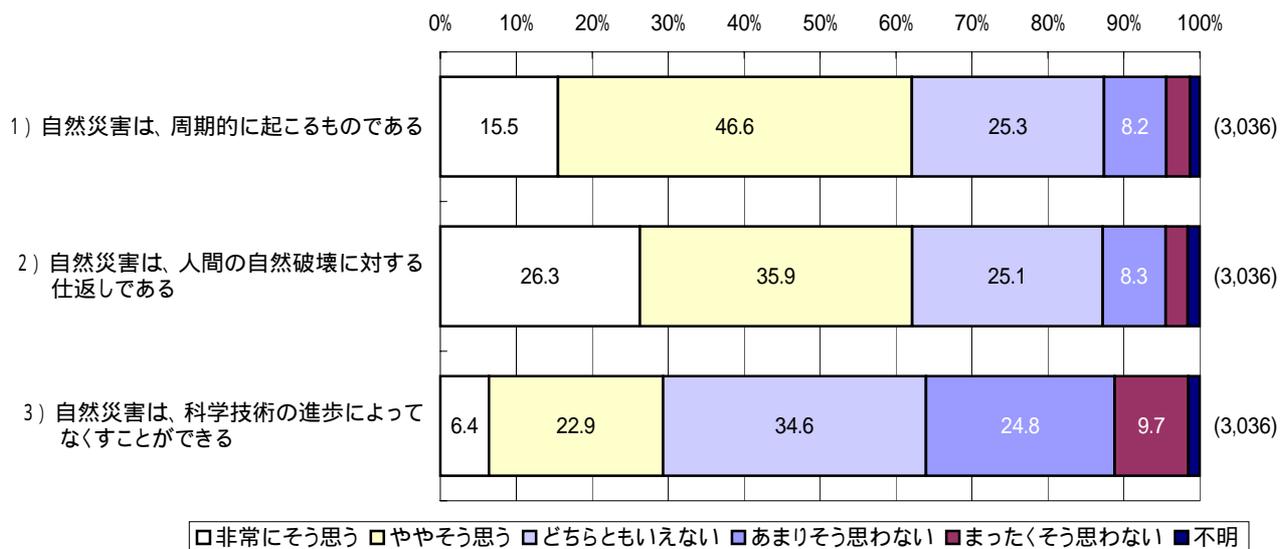


「わからない」が約43%で最も高い割合を示していた。その他、「10年以内」が約14%、「20年以内」の約13%だった。

問16. あなた御自身の考え方についてお伺いします。あまり深く考え込まないで、感じたままをお答えください。以下 1) から 27) までの項目それぞれについて、あてはまる番号をつけてください。

災害観

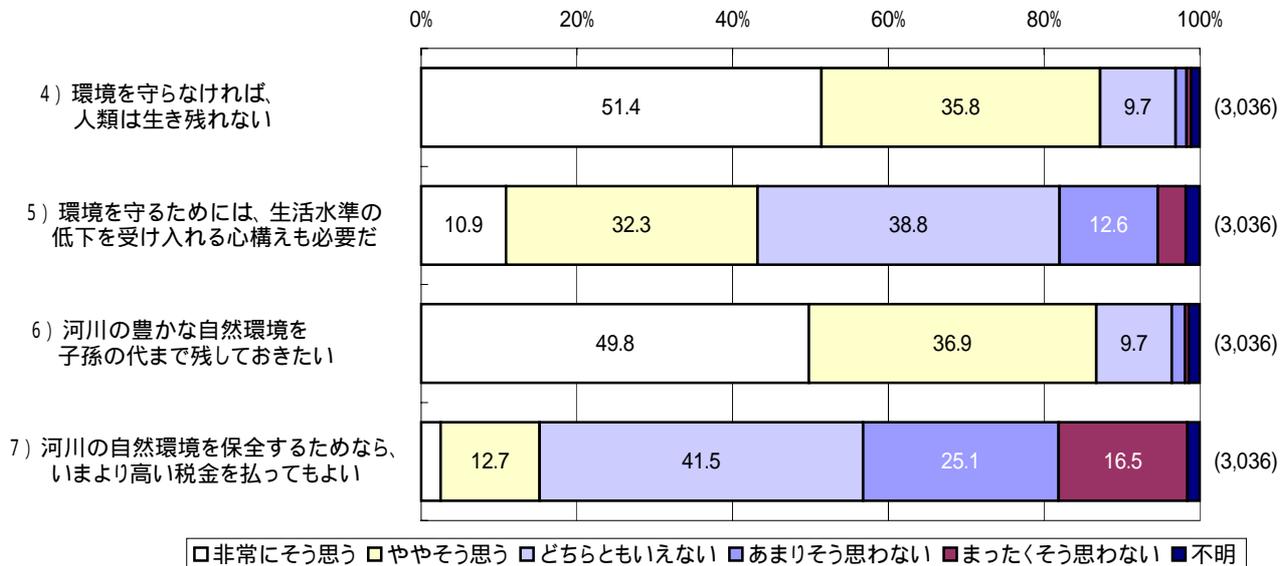
		非常に そう思う	やや そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	まったく そう 思わない	無回答	総数
1) 自然災害は、周期的に起こるものである	度数	471	1,416	767	248	94	40	3,036
	(%)	15.5	46.6	25.3	8.2	3.1	1.3	100
2) 自然災害は、人間の自然破壊に対する仕返しである	度数	797	1,090	761	251	87	50	3,036
	(%)	26.3	35.9	25.1	8.3	2.9	1.6	100
3) 自然災害は、科学技術の進歩によってなくすることができる	度数	195	695	1,050	753	296	47	3,036
	(%)	6.4	22.9	34.6	24.8	9.7	1.5	100



「自然災害は、周期的に起こるものである」に対して、「非常にそう思う」と「ややそう思う」の回答割合の合計が約62%と高い割合を示していた。同様に、「自然災害は人間の自然破壊に対する仕返しである」という項目においても、「非常にそう思う」と「ややそう思う」の回答をあわせて約62%の割合を示していた。

環境への配慮

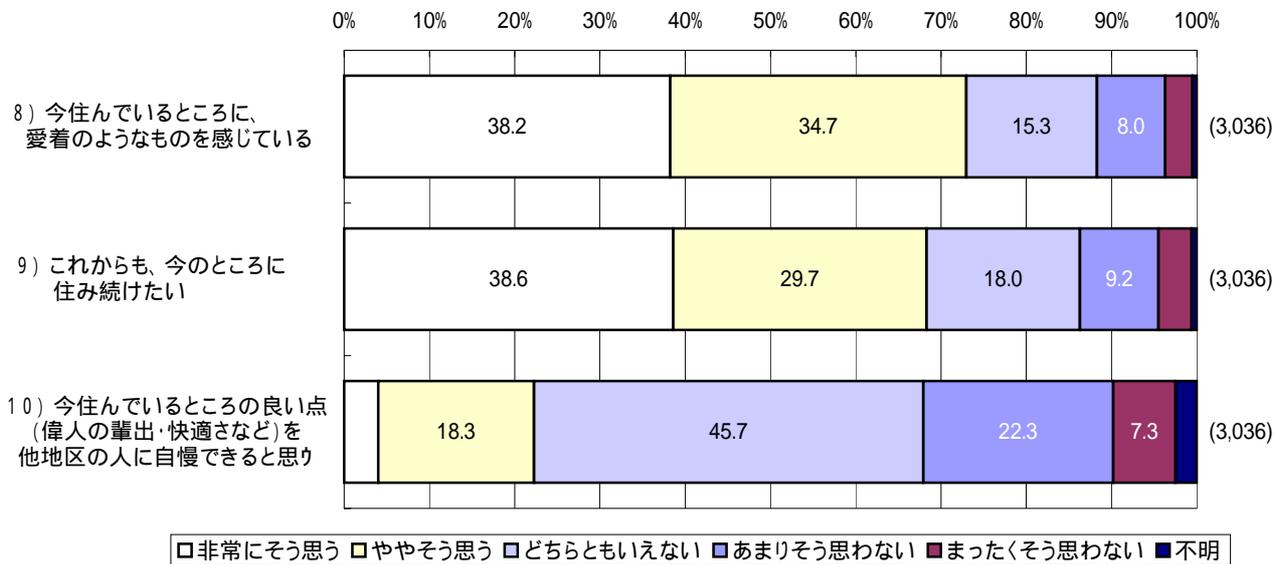
		非常に そう思う	やや そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	まったく そう 思わない	無回答	総数
4) 環境を守らなければ、人類は生き残れない	度数	1,562	1,087	296	41	17	33	3,036
	(%)	51.4	35.8	9.7	1.4	0.6	1.1	100
5) 環境を守るためには、生活水準の低下を受け入れる心構えも必要だ	度数	331	981	1,178	382	108	56	3,036
	(%)	10.9	32.3	38.8	12.6	3.6	1.8	100
6) 河川の豊かな自然環境を子孫の代まで残しておきたい	度数	1,511	1,121	296	52	15	41	3,036
	(%)	49.8	36.9	9.7	1.7	0.5	1.4	100
7) 河川の自然環境を保全するためなら、いまより高い税金を払ってもよい	度数	75	386	1,261	762	502	50	3,036
	(%)	2.5	12.7	41.5	25.1	16.5	1.6	100



「環境を守らなければ人類は生き残れない」に対して、「非常にそう思う」（約51%）と「ややそう思う」（約36%）の回答割合の合計が約87%と非常に高い割合を示していた。「河川の豊かな自然環境を子孫の代まで残しておきたい」に対しては、「非常にそう思う」（約50%）と「ややそう思う」（約37%）の回答割合の合計が約87%を占めていた。「環境を守るためには、生活水準の低下を受け入れる心構えも必要だ」に対しては、「非常にそう思う」（約11%）と「ややそう思う」（32%）の回答割合の合計が約43%だった。「河川の自然環境を保全するためなら、いまより高い税金を払ってもよい」に対しては、「非常にそう思う」（約3%）と「ややそう思う」（約13%）の回答割合の合計が約15%に過ぎなかった。

地域への愛着

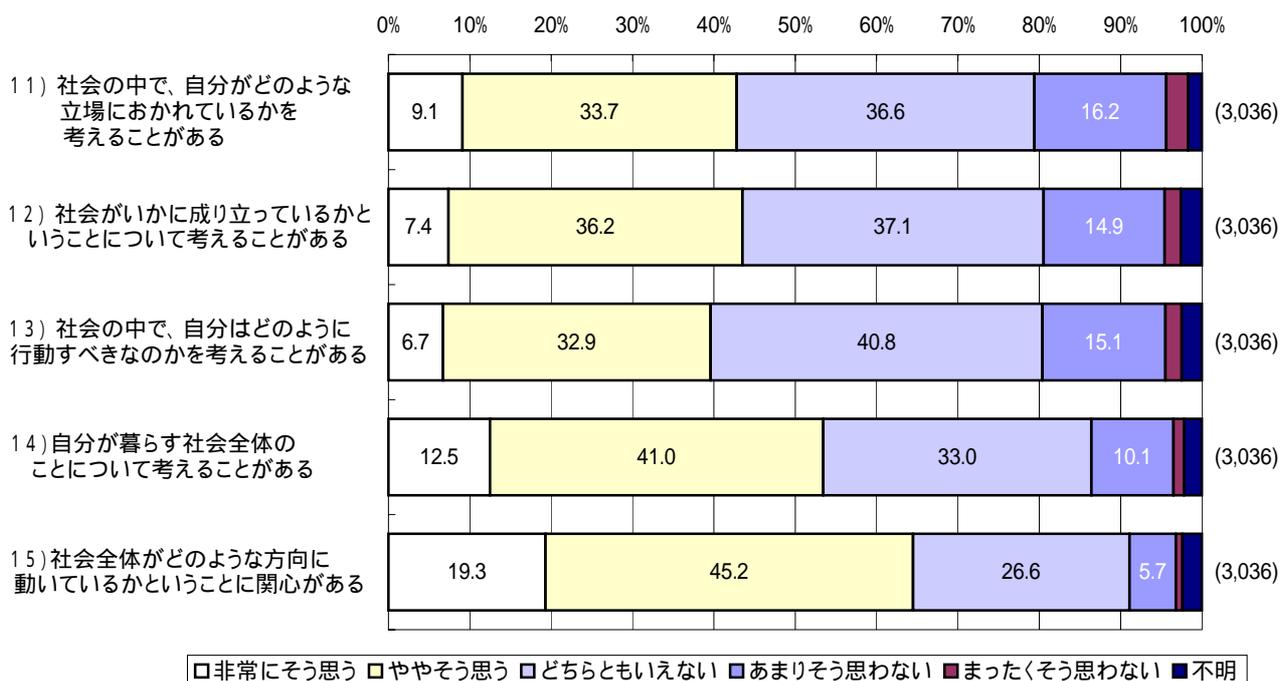
		非常に そう思う	やや そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	まったく そう 思わない	無回答	総数
8) 今住んでいるところに、愛着のようなものを感じている	度数	1,161	1,055	465	243	96	16	3,036
	(%)	38.2	34.7	15.3	8.0	3.2	0.5	100
9) これからも、今のところに住み続けたい	度数	1,172	901	547	280	117	19	3,036
	(%)	38.6	29.7	18.0	9.2	3.9	0.6	100
10) 今住んでいるところの良い点(偉人の輩出・快適さなど)を他地区の人に自慢できると思う	度数	121	555	1,386	676	222	76	3,036
	(%)	4.0	18.3	45.7	22.3	7.3	2.5	100



「今住んでいるところに、愛着のようなものを感じる」に対しては、「非常にそう思う」(約38%)と「ややそう思う」(約35%)の回答割合の合計が約73%と高い割合を示していた。「これからも、今のところに住み続けたい」に対しては、「非常にそう思う」(約39%)と「ややそう思う」(約30%)の回答割合の合計が約69%と高い割合を示していた。

社会に対する意識

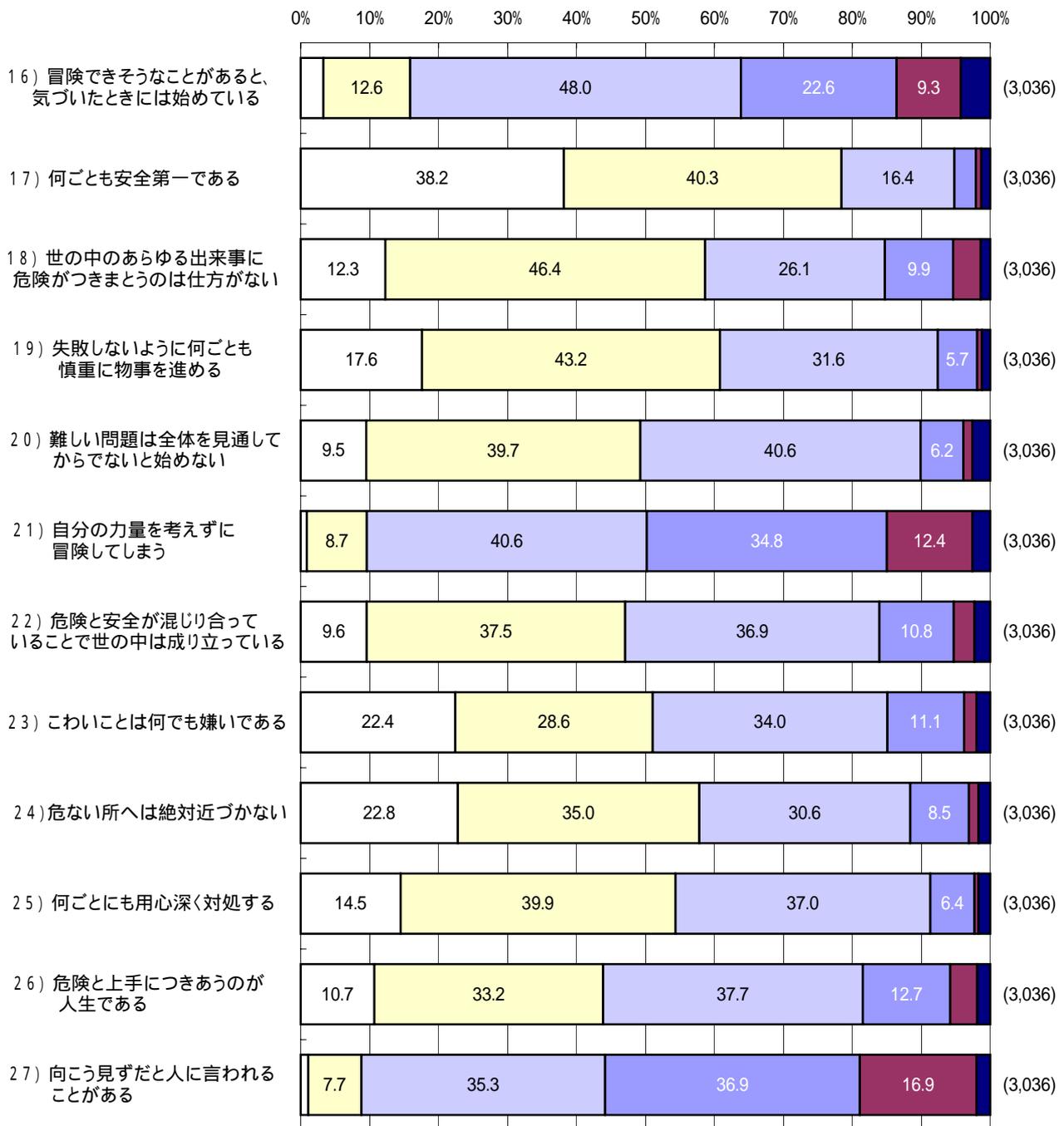
		非常に そう思う	やや そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	まったく そう 思わない	無回答	総数
11) 社会の中で、自分がどのような立場におかれているかを考えることがある	度数	276	1,022	1,111	493	82	52	3,036
	(%)	9.1	33.7	36.6	16.2	2.7	1.7	100
12) 社会がいかに成り立っているかということについて考えることがある	度数	224	1,098	1,125	451	60	78	3,036
	(%)	7.4	36.2	37.1	14.9	2.0	2.6	100
13) 社会の中で、自分はどのように行動すべきなのかを考えることがある	度数	202	1,000	1,239	457	61	77	3,036
	(%)	6.7	32.9	40.8	15.1	2.0	2.5	100
14) 自分が暮らす社会全体のことについて考えることがある	度数	378	1,245	1,003	306	38	66	3,036
	(%)	12.5	41.0	33.0	10.1	1.3	2.2	100
15) 社会全体がどのような方向に動いているかということに関心がある	度数	587	1,371	807	173	25	73	3,036
	(%)	19.3	45.2	26.6	5.7	0.8	2.4	100



「社会の中で、自分がどのような立場におかれているかを考えることがある」に対して、「非常にそう思う」（約9%）と「ややそう思う」（約34%）の回答割合の合計は約43%だった。同様に、「社会がいかに成り立っているかということについて考えることがある」に対して、「非常にそう思う」（約7%）と「ややそう思う」（約36%）の回答割合の合計は約43%だった。「自分が暮らす社会全体のことについて考えることがある」に対して、「非常にそう思う」（約13%）と「ややそう思う」（41%）の回答割合の合計は約54%に達していた。「社会全体がどのような方向に動いているかということに関心がある」に対して、「非常にそう思う」（約19%）と「ややそう思う」（約45%）の回答割合の合計は約64%だった。

リスクに対する意識

		非常に そう思う	やや そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	まったく そう 思わない	無回答	総数
16) 冒険できそうなことがあると、気づいたときには始めている	度数	99	382	1,457	686	282	130	3,036
	(%)	3.3	12.6	48.0	22.6	9.3	4.3	100
17) 何ごととも安全第一である	度数	1,159	1,223	498	94	23	39	3,036
	(%)	38.2	40.3	16.4	3.1	0.8	1.3	100
18) 世の中のあらゆる出来事に危険がつきまとうのは仕方がない	度数	373	1,408	792	301	120	42	3,036
	(%)	12.3	46.4	26.1	9.9	4.0	1.4	100
19) 失敗しないように何ごととも慎重に物事を進める	度数	534	1,312	958	174	22	36	3,036
	(%)	17.6	43.2	31.6	5.7	0.7	1.2	100
20) 難しい問題は全体を見通してからでないと始めない	度数	289	1,205	1,234	189	39	80	3,036
	(%)	9.5	39.7	40.6	6.2	1.3	2.6	100
21) 自分の力量を考えずに冒険してしまう	度数	27	265	1,232	1,056	377	79	3,036
	(%)	0.9	8.7	40.6	34.8	12.4	2.6	100
22) 危険と安全が混じり合っていることで世の中は成り立っている	度数	291	1,139	1,120	327	90	69	3,036
	(%)	9.6	37.5	36.9	10.8	3.0	2.3	100
23) こわいことは何でも嫌いである	度数	680	868	1,032	338	56	62	3,036
	(%)	22.4	28.6	34.0	11.1	1.8	2.0	100
24) 危ない所へは絶対近づかない	度数	691	1,064	930	259	41	51	3,036
	(%)	22.8	35.0	30.6	8.5	1.4	1.7	100
25) 何ごとにも用心深く対処する	度数	440	1,211	1,122	195	17	51	3,036
	(%)	14.5	39.9	37.0	6.4	0.6	1.7	100
26) 危険と上手につきあうのが人生である	度数	326	1,007	1,144	385	117	57	3,036
	(%)	10.7	33.2	37.7	12.7	3.9	1.9	100
27) 向こう見ずだと人に言われることがある	度数	32	235	1,073	1,120	514	62	3,036
	(%)	1.1	7.7	35.3	36.9	16.9	2.0	100



非常にそう思う
 ややそう思う
 どちらともいえない
 あまりそう思わない
 まったくそう思わない
 不明

「何ごととも安全第一である」に対しては、「非常にそう思う」（約38％）と「ややそう思う」（約40％）の回答割合の合計は約78％に達した。「失敗しないように何ごととも慎重に進める」に対しては、「非常にそう思う」（約18％）と「ややそう思う」（約43％）の回答割合の合計が約61％を占めていた。「向こう見ずだと人に言われることがある」に対しては、「まったくそう思わない」（約17％）と「あまりそう思わない」（約37％）の回答割合の合計が約54％で、5割強の回答者が否定的な評価を下していた。

水害に関するアンケート調査

2002年1月

- ◆ このアンケートは、自然災害に対する皆様のご意見をうかがい、これをもとにして「災害に強い社会」を作るための資料として使用いたします。
- ◆ このアンケートは、宛名の方のほか、ご家族の中心となられている方や家事を担当されている方などにご回答いただきますようお願いいたします。
- ◆ ご回答いただきましたアンケート用紙は、**2月上旬から中旬にかけて、社団法人 中央調査社の調査員がいただきにうかがいます。**それまでにご記入、ご保管くださいますようお願いいたします。

1. ご記入は黒または青の鉛筆、ペン、ボールペンでお願いいたします。

2. 回答は、次の要領でご記入ください。

*問1から順に進んでください。ご回答の結果、矢印(⇒)の内容に該当する場合には、その矢印の指示に沿ってお進みください。

*回答項目を用意してあるものは、

あてはまるものの番号(1. 2. 3. ……)を○印で囲んでください。

*あらかじめ用意されている回答項目にあてはまらない場合には、

「その他(具体的に)」の中に、あなたご自身の考えを具体的にご記入ください。

*○印の数は質問文の末尾に(○印はいくつでも)(○印は1つ)といったお願いをしております。その指示に従ってお答えください。

3. 欄外の⑪⑫などの記号は、コンピュータで処理する時の記号です。気になさらずにお答えください。

4. この調査は、独立行政法人 防災科学技術研究所からの委託により、社団法人 中央調査社が実施しています。調査実施上のお問い合わせなどがありましたら、下記実施担当までご連絡ください。

社団法人 中央調査社 名古屋支社

担当：田山 4619
TEL. 052-231-4691

第7216号

支局番号	地点番号	対象番号	調査員名	点検者名
4 0				

①～⑦

問1 あなたの年齢、性別とお宅の世帯人数についてお答えください。

⑧⑨⑩=101

(1)年齢… 歳
⑪ ⑫

(2)性別…1. 男性 2. 女性
⑬

(3)世帯人数…あなたを含めて 人
⑭ ⑮

問2 あなたのご職業についてお答えください。あてはまるもの一つに○をつけてください。

(○印は1つ)

- | | | |
|---------------|--------------|----------------|
| 1. 民間企業などの会社員 | 5. 専業主婦(夫) | 9. 無職(年金など) |
| 2. 公務員 | 6. パート・アルバイト | 10. その他(具体的に) |
| 3. 自営業 | 7. 学生 | ⑯ |
| 4. 農林漁業(専業) | 8. フリーター | |

問3 あなたのお住まいについてお聞きします。

(1)あなたのお住まいは……。 (○印は1つ)

- | | | |
|----------------|--------------|-----------|
| 1. 持地持家 (一戸建て) | 3. 借家 (一戸建て) | 5. 賃貸集合住宅 |
| 2. 借地持家 (一戸建て) | 4. 社宅・社員寮 | 6. 分譲集合住宅 |
- ⑰

(2)あなたのお住まいの構造について、あてはまる番号一つに○をつけて、 内に数字を記入してください。 (○印は1つ)

1. 一戸建てで⇒ 階建ての家に住んでいる
⑱ ⑲ ⑳
2. 集合住宅で⇒ 階建ての 階に住んでいる
⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔

(3)あなたのお住まいの構造は、……。 (○印は1つ)

- | | | |
|-------|-------------------|---|
| 1. 木造 | 2. 非木造(鉄筋や鉄骨造りなど) | ⑳ |
|-------|-------------------|---|

(4)あなたは現在の場所に、……。 (○印は1つ)

- | | |
|----------------------------|---|
| 1. 生まれたときから住んでいる | ⑳ |
| 2. 平成12年9月の東海豪雨災害以前に転入してきた | |
| 3. 東海豪雨災害以降に転入してきた | |

(5)あなたは、現在の場所におよそ何年間住んでいらっしゃいますか。 (○印は1つ)

- | | | |
|---------------|---------------|----------|
| 1. 1年未満 | 4. 20年以上30年未満 | 7. 50年以上 |
| 2. 1年以上10年未満 | 5. 30年以上40年未満 | ㉑ |
| 3. 10年以上20年未満 | 6. 40年以上50年未満 | |

問4 おさしつかえなければ、昨年一年間のおよその世帯収入についてお答えください。 (○印は1つ)

- | | | |
|--------------------|---------------------|---|
| 1. 300万円未満 | 5. 600万円以上～700万円未満 | |
| 2. 300万円以上～400万円未満 | 6. 700万円以上～800万円未満 | ㉒ |
| 3. 400万円以上～500万円未満 | 7. 800万円以上～1000万円未満 | |
| 4. 500万円以上～600万円未満 | 8. 1000万円以上 | |

【101】

問5 あなたは、ご近所やご友人の方々とどのような交流をしていますか。以下の1～11で、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○印はいくつでも)

- | | | |
|---------------------|----------------------|----|
| 1. 婦人会・老人会などの地域活動 | 7. 町内会 | |
| 2. スポーツや趣味などの活動(県内) | 8. 消防団(水防団) | |
| 3. スポーツや趣味などの活動(県外) | 9. 自主防災組織 | ②9 |
| 4. P T Aなどの学校活動 | 10. それ以外の市民活動(具体的に) | ③0 |
| 5. ボランティア活動(県内) | 11. 特にない | |
| 6. ボランティア活動(県外) | | |

問6 災害時の指定された避難所までの距離は、どのくらいですか。(○印は1つ)

- | | | |
|--------------------------|-----------------|----|
| 1. 0.5km (500m) 未満 | 4. 1.5km～2km 未満 | |
| 2. 0.5km (500m) ～1 km 未満 | 5. 2km 以上 | ③1 |
| 3. 1km～1.5km 未満 | 6. わからない | |

問7 防災講習会や避難訓練に、どの程度参加していますか。(○印は1つ)

- | | | |
|------------------------|--|----|
| 1. 毎回必ず出る | | |
| 2. 出ないときもある | | |
| 3. 関心がないので、参加しない | | ③2 |
| 4. 情報が得られないので、参加できない | | |
| 5. 体に障害や病気があるので、参加できない | | |

問8-1 あなたは、平成12年9月の東海豪雨災害以前に水害の経験がありますか。(○印は1つ)

- | | | |
|-------|------------------|----|
| 1. ある | 2. ない | ③3 |
| ↓ | → (問8-2へ進んでください) | |

(1) あなたは、昭和34年(1959年)の伊勢湾台風で、水害による被害を経験しましたか。

(○印は1つ)

- | | | |
|---------------|--------------|------------------|
| 1. 浸水・被害はなかった | 4. 一部損壊・半壊した | 6. 伊勢湾台風は経験していない |
| 2. 床下浸水した | 5. 全壊・流失した | |
| 3. 床上浸水した | | |

③4

(2) あなたは、昭和51年(1976年)の台風17号で、水害による被害を経験しましたか。

(○印は1つ)

- | | | |
|---------------|--------------|------------------|
| 1. 浸水・被害はなかった | 4. 一部損壊・半壊した | 6. 台風17号は経験していない |
| 2. 床下浸水した | 5. 全壊・流失した | |
| 3. 床上浸水した | | |

③5

(3) あなたは、上記の災害のほかに、水害の経験がありますか。ありましたら、もっとも大きかったものについて、()内に具体的にご記入の上、被害状況についてお答えください。

(○印は1つ)

- ・昭和・平成()年に、()を経験した
- | | | |
|---------------|--------------|-------------------|
| 1. 浸水・被害はなかった | 4. 一部損壊・半壊した | 6. その他の水害は経験していない |
| 2. 床下浸水した | 5. 全壊・流失した | |
| 3. 床上浸水した | | |

③6

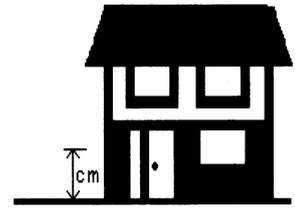
③7

【101】

問 8-2 では、平成 12 年 9 月の東海豪雨災害での被害状況についてお聞きます。

(1) 自宅家屋の浸水状況についてお答えください。あてはまる番号一つに○をつけて、 内に数字を記入してください。(○印は 1 つ)

1. 浸水なし
 2. 床下浸水した ⇨ (玄関前の地面から cm) ③⑨④④①
 3. 床上浸水した ⇨ (玄関前の地面から cm) ④②④③④④
- ③⑧



(2) 家屋の被害状況についてお答えください。(○印は 1 つ)

1. 家屋への被害はなかった
2. 壁や床板など家屋の一部が破損した ④⑤
3. 半壊した
4. 全壊・流失した

(3) あなたの世帯ではテレビや冷蔵庫などの家財に被害がありましたか。(○印は 1 つ)

- 1.被害があった
- 2.被害はなかった ④⑥

(4) あなたの世帯の自動車には被害がありましたか。(あてはまる番号一つに○をつけて、 内に数字を記入してください。)

1. ⇨ 台被害を受けた
 2. 被害を受けなかった ④⑦
- ④⑧④⑨

(5) 次の①～④について、あなたの世帯の水害被害額と、それに対する保険の支払額(補填額)をお答えください。なお、被害額は、被害物を補修、買い換えなどのために支払った金額(ローンなどの予定も含む)をご記入ください。被害のなかったものについては「0. なし」に○をつけてください。また、⑤には被害は受けたが買い換え、補修などをしなかったものの被害額をご記入ください。 ⑧⑨⑩=102

注) 一万円以下は四捨五入

	被害額(買い換え、補修費など) 億 千 百 十 一		保険からの補填額 億 千 百 十 一	
① 家 屋……	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円	0. なし	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円	0. なし
	⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮	⑯	④⑦ ④⑧ ④⑨ ⑤⑩ ⑤⑪	⑤⑫
② 家 財……	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円	0. なし	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円	0. なし
	⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑	㉒	⑤③ ⑤④ ⑤⑤ ⑤⑥ ⑤⑦	⑤⑧
③ 自動車……	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円	0. なし	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円	0. なし
	㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗	㉘	⑤⑨ ⑥⑩ ⑥⑪ ⑥⑫ ⑥⑬	⑥⑭
④ その他				
()…	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円	0. なし	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円	0. なし
	㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝	㉞	⑥⑤ ⑥⑥ ⑥⑦ ⑥⑧ ⑥⑨	⑦⑩
()…	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円	0. なし	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円	0. なし
	㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴	㊵	⑦① ⑦② ⑦③ ⑦④ ⑦⑤	⑦⑥

⑤ 上記以外の被害額(破棄処分後、買い換え、補修などしなかったもの)

()…	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円	0. なし	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円	0. なし
	④① ④② ④③ ④④ ④⑤	④⑥	⑦⑦ ⑦⑧ ⑦⑨ ⑧⑩ ⑧⑪	⑧⑫

【101・102】

(6) あなたの世帯では、水害に備えて何か保険に入っていますか。①、②のそれぞれにお答えください。 ⑧⑨⑩=103

①家屋に関する保険（○印は1つ）

1. 東海豪雨災害より前から加入していた
2. 東海豪雨災害より前から加入していたが、災害以降に、保険会社や保険額などの見直しをした
3. 東海豪雨災害以降に新たに加入した ⑪
4. 加入していない

②家財に関する保険(住宅総合保険などを含む)（○印は1つ）

1. 東海豪雨災害より前から加入していた
2. 東海豪雨災害より前から加入していたが、災害以降に、保険会社や保険額などの見直しをした
3. 東海豪雨災害以降に新たに加入した ⑫
4. 加入していない

問9 東海豪雨災害以降、あなたが「あなた自身」や「周囲」が変化したと感じる点はどのようなことでしょうか。以下の1)から13)までの項目それぞれに、「1 まったくそう思わない」から「5 非常にそう思う」まで、あてはまる番号に○をつけてください。（○はそれぞれ1つずつ）

	まったくそう思わない	あまりそう思わない	どちらともいえない	ややそう思う	非常にそう思う	
1) 天気予報やニュースなどを注意して見るようになった……………	1	2	3	4	5	⑬
2) 自分の住んでいる地域の避難情報に敏感になった……………	1	2	3	4	5	⑭
3) 大雨の時にはなるべく外出を避けるようになった……………	1	2	3	4	5	⑮
4) ラジオや懐中電灯などの防災用品を揃えておくことの重要性を……再認識した	1	2	3	4	5	⑯
5) 近隣住民による自主防災組織に、より積極的に関与したいと思うようになった	1	2	3	4	5	⑰
6) 近隣の住民の皆さんが、水害に対する備えに対して、より力を入れるようになったと思う	1	2	3	4	5	⑱
7) 地域住民が中心になった防災活動が、さらに盛んになってきたと思う	1	2	3	4	5	⑲
8) 行政機関の水害対策が、より盛んになったと思う……………	1	2	3	4	5	⑳
9) 科学技術を用いて堤防や水路を整備しても、必ずしも水害を防げないことを改めて実感した	1	2	3	4	5	㉑
10) 行政機関の防災対策のみで水害を防げないことを改めて認識した…	1	2	3	4	5	㉒
11) 家族や近所の人たちと災害の話題をすることが多くなった……………	1	2	3	4	5	㉓
12) 自分でできる被害軽減策について考えるようになった……………	1	2	3	4	5	㉔
13) 自分自身や周囲の人々も含めて、特に変わった点はないと思う……	1	2	3	4	5	㉕

問10 水害についてのあなたの考えをお聞きします。あまり深く考え込まないで、感じたままをお答えください。以下の1)から56)までの項目それぞれに、「1 まったくそう思わない」から「5 非常にそう思う」まで、あてはまる番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

	まったくそう思わない	あまりそう思わない	どちらともいえない	ややそう思う	非常にそう思う	
1)近所の皆さんが水害対策をやっているのに、私だけが何の対策……もしないのは気が引ける	1	2	3	4	5	②6
2)避難所での食料や水は、行政機関が十分に備蓄しておくべきだ……と思う	1	2	3	4	5	②7
3)自主防災組織(消防団など)に入りたいと思う……	1	2	3	4	5	②8
4)水害の危険性のある地域に住んでいる以上、ある程度までなら……河川の氾濫を受容してもよいと思う	1	2	3	4	5	②9
5)今後起こるかもしれない水害に備えて、浸水実績図(ハザード……マップ)を見ておこうと思う	1	2	3	4	5	③0
6)避難袋を用意しておけば、水害の時に役立つと思う……	1	2	3	4	5	③1
7)大規模な河川の整備を行えば、被害は最小限に抑えることができ……きる	1	2	3	4	5	③2
8)行政機関が行っている水害対策の内容について興味がある……	1	2	3	4	5	③3
9)河川の氾濫は自然の営みなので、ある程度までは仕方がない……	1	2	3	4	5	③4
10)行政機関は、一部地域に被害が偏るような防災計画をたてたり……はしないだろう	1	2	3	4	5	③5
11)私が水害に対して備えをするならば、親しい友人は私の対策行……動に対して好印象をもつと思う	1	2	3	4	5	③6
12)親戚や家族が水害対策をしているのに、私だけが何の備えもし……なかったら、自分自身心苦しく思うだろう	1	2	3	4	5	③7

【103】

	まったくそう思わない	あまりそう思わない	どちらともいえない	ややそう思う	非常にそう思う	
13)できるだけ行政機関に頼らずに、自分の力で水害に備えるべきだ…	1	2	3	4	5	③⑧
14)市民の一人一人が防災対策を行えば、被害は最小限に抑えるこ… とができる	1	2	3	4	5	③⑨
15)水害が起こった場合、床下浸水までならば、ある程度がまんで… きる	1	2	3	4	5	④⑩
16)行政機関の職員は、いつも尊重的な態度で接してくれている…	1	2	3	4	5	④①
17)指定されている避難所は、自宅から遠くて時間がかかる…	1	2	3	4	5	④②
18)新聞で水害に関する記事が載っていると、興味を持って読むこ… とが多い	1	2	3	4	5	④③
19)水害が起こっても、自分の生活には支障はないだろう…	1	2	3	4	5	④④
20)地域での避難訓練や防災講習会に参加する時間を作るのは困難だ…	1	2	3	4	5	④⑤
21)行政機関が防災計画をたてる時には、住民の意見をきちんと聞… いてくれる	1	2	3	4	5	④⑥
22)水害時に避難情報をもっと伝えられれば、被害は少なくなるだ… ろう	1	2	3	4	5	④⑦
23)居住地の災害危険地域の有無などを調べたりするのは、正直面… 倒だ	1	2	3	4	5	④⑧
24)たくさんの税金を投入して、河川の整備を進めることは無駄な… ことだ	1	2	3	4	5	④⑨
25)防災用品を購入する金銭的負担は、さほどではない…	1	2	3	4	5	⑤⑩

	まったくそう思わない	あまりそう思わない	どちらともいえない	ややそう思う	非常にそう思う	
26) 自分の住む地域が水害に遭うことがあるだろう……………	1	2	3	4	5	⑤1
27) 排水路にゴミがつまるなどして雨水を排水できなくなることは、… 堤防の決壊と同様に危険なことだと思う	1	2	3	4	5	⑤2
28) 地域の防災訓練に参加してみたいと思う……………	1	2	3	4	5	⑤3
29) 治水のための公共工事を強化すれば、水害のない社会が実現で… きる	1	2	3	4	5	
30) 雨が降るたびに、「水害が起こるのではないか」という不安に… かられる	1	2	3	4	5	⑤5
31) 本来、水害の被害を減らすのは行政の責任で、住民が対策をす… る必要性はないと思う	1	2	3	4	5	⑤6
32) 水害のことを考えると、どうも落ち着かなくなる……………	1	2	3	4	5	⑤7
33) 水害の発生に備えて、数日分の食料や水は自分で準備すべきだ…	1	2	3	4	5	⑤8
34) 水害のニュースを見ると、人ごとだとは思えない……………	1	2	3	4	5	
35) 堤防や河川の改修のために、税金をいまより多く出すことにつ… いては抵抗がある	1	2	3	4	5	⑥0



もうしばらく、質問は続きます。
恐れ入りますが、今しばらくの
ご協力をお願いします。
→次のページへお進みください。

	まったくそう思わない	あまりそう思わない	どちらともいえない	ややそう思う	非常にそう思う	
36)住民に関連する決定をするとき、行政機関は住民の意見に耳を……1 傾けてくれる	2	3	4	5	⑥1	
37)堤防や河川の改修に関する説明会では、行政機関の職員は対等……1 な立場で話し合いに応じてくれる	2	3	4	5	⑥2	
38)水害対策や治水工事にどのくらいの予算が使われているのか興……1 味がある	2	3	4	5	⑥3	
39)行政機関は、いつも職務をまっとうしている……………1	2	3	4	5	⑥4	
40)自分ひとりが水害対策をしても、被害を減らせるとは思えない……1	2	3	4	5	⑥5	
41)水害に関する情報を行政機関に求めると、包み隠さずにいろいろ……1 りと説明してくれる	2	3	4	5	⑥6	
42)行政機関は、私が自主的に水害対策に取り組むことを望んでい……1 ることだろう	2	3	4	5	⑥7	
43)特定の人だけを対象にせずに、行政機関は常に公共の福祉に徹……1 している	2	3	4	5	⑥8	
44)周囲の人々は、おおよそ私と同じ程度の水害危機意識を持って……1 いるような気がする	2	3	4	5	⑥9	
45)今住んでいるところは、水害が起こりやすい地域だと思う……………1	2	3	4	5	⑦0	
46)水害で、自分の家屋が床上浸水することがあると思う……………1	2	3	4	5	⑦1	
47)行政機関や消防署の防災講習会や防災訓練があるならば、参加……1 したいと思う	2	3	4	5	⑦2	
48)水害が起きる前に、いくら詳しい説明を受けても、被害は防ぐ……1 ことはできない	2	3	4	5	⑦3	

【103】

	まったくそう思わない	あまりそう思わない	どちらともいえない	ややそう思う	非常にそう思う	
49) 浸水被害は、住居の盛り土を高くすれば軽減できる……………	1	2	3	4	5	⑦④
50) 行政機関が出す水害情報は、おおよそ一貫している……………	1	2	3	4	5	⑦⑤
51) 水害時に備えて、水害に関連する保険に加入しておくことが必… 要だと思う	1	2	3	4	5	⑦⑥
52) 水害が発生した直後は、行政機関だけでは対応しきれないので、… 自分の力や近所の助け合いで対応すべきだ	1	2	3	4	5	
53) 行政機関の職員に何か質問すると、いつも正直に答えてくれる…	1	2	3	4	5	⑦⑧
54) 指定されている避難所は、浸水の被害の受けやすい場所にある… と思う	1	2	3	4	5	⑦⑨
55) できるだけ行政機関に頼らずに、自分の財産や命は自分で守る… ものだ	1	2	3	4	5	⑧⑩
56) 同じ額の税金を使うなら、河川の整備だけでなく、被害者の補… 償制度も必要だと思う	1	2	3	4	5	⑧⑪



ありがとうございます。お疲れの場合には
ちょっと休憩してからご回答ください。

→次のページへお進みください。

問 11 あなたは、水害に関して、以下の情報についてどのくらい知っていますか。1) から 5) までの項目それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

(○印はそれぞれ1つずつ)

	まったく知らない	あまり知らない	どちらともいえない	やや知っている	非常に知っている	
1)自分が住んでいる場所の水害の危険性……………	1	2	3	4	5	⑪
2)行政機関が行っている河川整備の現状……………	1	2	3	4	5	⑫
3)水害に関する保険制度や仕組み……………	1	2	3	4	5	⑬
4)水害時の指定された避難所……………	1	2	3	4	5	⑭
5)防災袋の中に何を入れておくべきか……………	1	2	3	4	5	⑮

問 12 あなたの家では、水害に対してどのような備えをしていますか。1) から 7) までの項目それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。(○印はそれぞれ1つずつ)

また、「その他に水害に対する備えとして、していること」がありましたら、8)にご記入ください。

	東海豪雨より前からしている	東海豪雨の後にした	現在はしていない	
1)水害の危険が少ない地域への移転を考えている……………	1	2	3	⑯
2)自分の居住地域の浸水実績図(ハザードマップ)を確認している……………	1	2	3	⑰
3)盛り土などで家の土台を高くしている……………	1	2	3	⑱
4)非常用の飲料水や食料を用意している……………	1	2	3	⑲
5)非常用の持ち出し品(貴重品など)をまとめている……………	1	2	3	⑳
6)浸水時の避難場所を確認している……………	1	2	3	㉑
7)ラジオや懐中電灯などの防災用品を用意している……………	1	2	3	㉒

8)その他に、水害に対する備えとして、していることがございましたら、下記の()内にご記入ください。

()

㉓

問 13 ダムの建設、遊水池の整備、河川改修工事、排水ポンプ設置などの水害対策や地域の防災計画について、行政機関、専門家だけではなく、住民を交えて議論を行うべきだという意見があります。このような意見についてのあなたご自身の考えをお聞かせください。以下の各設問のそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

(○印はそれぞれ1つずつ)

まったくそう思わない
 あまりそう思わない
 どちらともいえない
 ややそう思う
 非常にそう思う

①このような議論において、専門家には

どのような役割を果たしてほしいと思いますか？

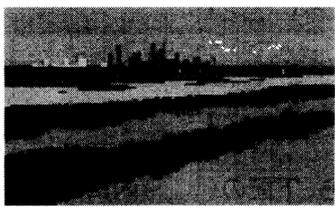
- | | | | | | | |
|------------------------------------|---|---|---|---|---|----|
| 1) 行政機関と住民を仲介するような役割を果たしてほしい…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 2) 住民の側に立つような役割をしてほしい…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | ②⑤ |
| 3) 行政機関の意見をわかりやすく伝えてほしい…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | ②⑥ |
| 4) 科学的・専門的なデータをわかりやすく伝える役割を果たして……… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | ②⑦ |
- ほしい

②あなたは、水害対策や防災計画に

住民が参加するシステムを作るべきだと思いますか？…………… 1 2 3 4 5 ②⑧

③あなた自身は、このような議論に参加してみたいと思いますか？

- | | | | | | | |
|------------------------------------|---|---|---|---|---|----|
| 1) 自分が議論に参加できる機会が与えられれば、積極的に参加し……… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| てみたい | | | | | | |
| 2) 自分はあまり関心がないので、そういうことに関心がある市民……… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | ③⑩ |
| にまかせた方がよい | | | | | | |



お疲れのところ、恐れ入ります。
あと少しです。

→次のページへお進みください。

	まったくそう思わない	あまりそう思わない	どちらともいえない	ややそう思う	非常にそう思う	
10) 自然災害は、周期的に起こるものである……………	1	2	3	4	5	④5
11) 社会がいかに成り立っているかということについて考えること…… がある	1	2	3	4	5	④6
12) 難しい問題は全体を見通してからでないと始めない……………	1	2	3	4	5	④7
13) 社会の中で、自分はどのように行動すべきなのかを考えること…… がある	1	2	3	4	5	
14) 河川の豊かな自然環境を子孫の代まで残しておきたい……………	1	2	3	4	5	④9
15) 自分が暮らす社会全体のことについて考えることがある……………	1	2	3	4	5	⑤0
16) 自分の力量を考えずに冒険してしまう……………	1	2	3	4	5	⑤1
17) 危険と安全が混じり合っていることで世の中は成り立っている……	1	2	3	4	5	⑤2
18) こわいことは何でも嫌いである……………	1	2	3	4	5	⑤3
19) 今住んでいるところの良い点（偉人の輩出・快適さなど）を他…… 地区の人に自慢できると思う	1	2	3	4	5	1
20) 危ない所へは絶対近づかない……………	1	2	3	4	5	⑤5
21) 社会全体がどのような方向に動いているかということに関心がある	1	2	3	4	5	⑤6
22) 何ごとにも用心深く対処する……………	1	2	3	4	5	⑤7
23) 自然災害は、人間の自然破壊に対する仕返しである……………	1	2	3	4	5	⑤8
24) 危険と上手につきあうのが人生である……………	1	2	3	4	5	⑤9

【104】

	まったくそう思わない	あまりそう思わない	どちらともいえない	ややそう思う	非常にそう思う	
25)向こう見ずだと人に言われることがある……………	1	2	3	4	5	⑥0
26)自然災害は、科学技術の進歩によってなくすことができる……………	1	2	3	4	5	⑥1
27)河川の自然環境を保全するためなら、いまより高い税金を払っ…… てもよい	1	2	3	4	5	⑥2

(裏面もお忘れなくご記入お願いいたします。)

問 17 我々のプロジェクトチームでは、水害に強いまちづくりを推進するため、今後も、一年に一回程度、アンケート調査やインタビュー調査によって、住民の皆さんのご意見を幅広くお聞きしていく予定です。今後、このような調査を行う場合に、ご協力いただけるかどうか、お答えください。（○印は①②③それぞれ1つずつ）

- ①訪問によるインタビュー調査を …………… 1. 受けてもよい 2. 受けたくない ⑬③
- ②電話によるインタビュー調査を …………… 1. 受けてもよい 2. 受けたくない ⑬④
- ③郵送によるアンケート調査に …………… 1. 回答してもよい 2. 回答したくない ⑬⑤

問 18 調査にご協力いただくと回答された方は、お名前とご住所をお書きください。

（②電話によるインタビュー調査を「受けてもよい」とお答えの方は電話番号もお願いします。）

ご住所	愛知県	市・郡	区・町
電話番号	市外局番		
	()	- ()	- ()
お名前			

問 19 そのほかに、水害に関してや、このアンケート調査について、ご意見、ご感想などがございましたらご自由にお書きください。

※ 以上で、調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。